平成２６年度　七ヶ浜町花渕浜地区避難所　建築及び環境整備工事

株式会社　関・空間設計

意匠図

図面番号	図面名称	縮尺
A-000	図面リスト	―――
A-001	建築概要・付近見取図	―――
A-002	特記仕様書（1）	―――
A-003	特記仕様書（2）	―――
A-004	特記仕様書（3）	―――
A-005	特記仕様書（4）	―――
A-006	敷地求積図	1/600
A-007	各室面積表・平均地盤面算定	1/100 、1/200
A-008	敷地全体図	1/400
A-009	配置図・屋根伏図	1/100
A-010	外部仕上表	―――
A-011	内部仕上表	―――
A-012	平面図	1/100
A-013	立面図	1/100
A-014	断面図	1/100
A-015	天井伏図	1/100
A-016	矩計図（1）	1/50
A-017	矩計図（2）	1/50
A-018	矩計図（3）	1/50
A-019	平面詳細図（1）	1/50
A-020	平面詳細図（2）	1/50
A-021	展開図（1）	1/50
A-022	展開図（2）	1/50
A-023	展開図（3）	1/50
A-024	展開図（4）	1/50
A-025	建具表	1/100
A-026	家具図	1/20 、1/30
A-027	雑詳細図（1）	1/5 、1/10
A-028	雑詳細図（2）	1/5 、1/10
A-029	外構図	1/100
A-030	外構詳細図	1/5 、1/10
A-031	サイン計画図	1/2 、1/3 、1/5 、1/10
A-032	仮設計画図	1/400
A-033	雨水排水計画図	1/100
A-100	法規チェック図	1/200

図面番号	図面名称	縮尺

構造図

図面番号	図面名称	縮尺
S-01	構造設計標準仕様	―――
S-02	鉄筋コンクリート工事標準図（1）	―――
S-03	鉄筋コンクリート工事標準図（2）	―――
S-04	木造標準図（1）	―――
S-05	木造標準図（2）	―――
S-06	スラブ伏図	1/100 、1/30
S-07	基礎伏図、基礎詳細図	1/100 、1/30
S-08	土台伏図	1/100 、1/30
S-09	耐力壁位置図	1/100 、1/30
S-10	梁伏図	1/100 、1/30
S-11	軸組図（1）	1/100 、1/30
S-12	軸組図（2）	1/100 、1/30
S-13	軸組図（3）	1/100 、1/30
S-14	フレーム詳細図	1/30 、1/10

電気設備図

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	電気設備工事特記仕様書	―――
E-02	構内配線図	1/150
E-03	照明器具姿図・盤結線図・引き込み参考図	―――
E-04	コンセント設備　配線図	1/100
E-05	電話配管･ﾃﾚﾋﾞ受信･ﾄｲﾚ呼び出し配線図	1/100
E-06	非常照明・誘導標識・非常警報設備　配線図	1/100

機械設備図

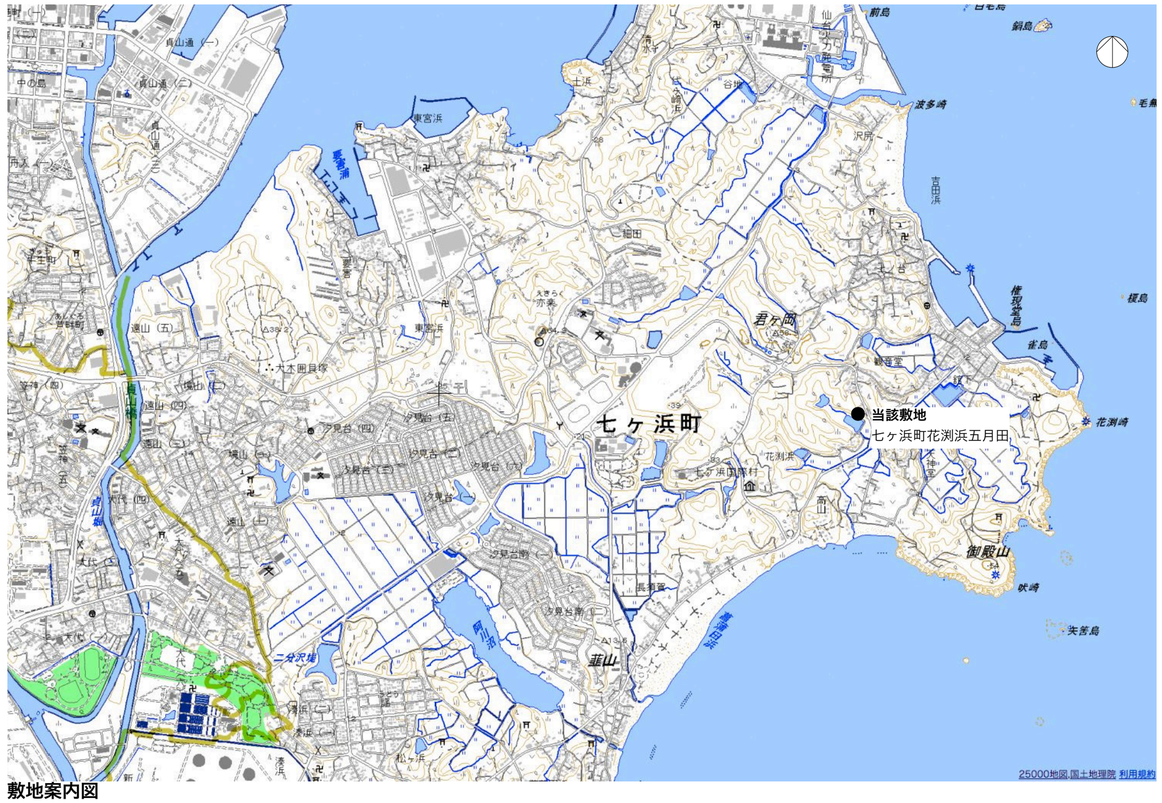
図面番号	図面名称	縮尺
M-01	機械設備工事特記仕様書	―――
M-02	給排水設備機器・器具表	―――
M-03	給排水設備　配置平面図	1/100
M-04	給排水設備　詳細図	1/100
M-05	冷暖房・換気設備機器表	―――
M-06	冷暖房換気設備　平面図	1/100

備　考

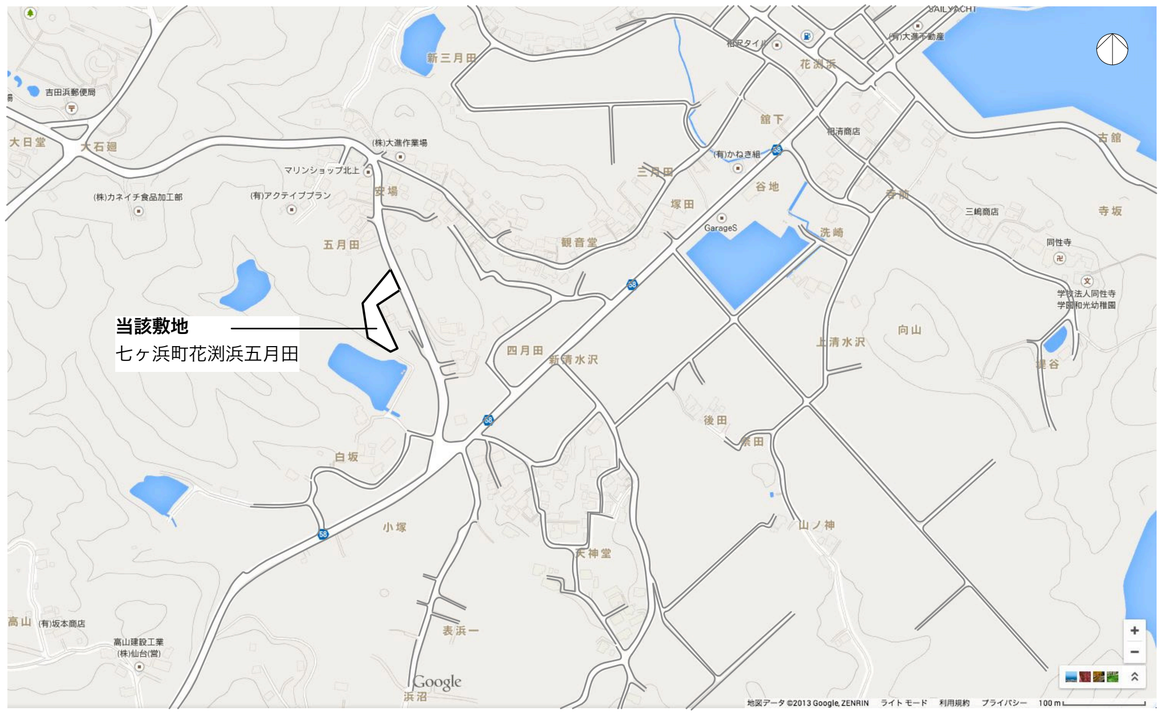
Spirit Of Place
関・空間設計
宮城県知事登録
第 11X10168 号
管理建築士
一級建築士　渡辺 宏
登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全葉
渡辺	木皿	斎藤･八島	H25.10	

工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-000
図面名称	図面リスト	Scale	



敷地案内図



附近見取図

概要			
業務名称	平成26年度　花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事		
建設地（地名地番）	宮城県宮城郡七ヶ浜町花渕浜字五月田15-3の一部、50-26の一部、50-27の一部、50-30の一部、50-40、50-41の一部、50-42の一部、76-1の一部、77-1の一部、78-1の一部、79の一部		
主要用途	地区避難所		
工事種別	新築		
建築主	七ヶ浜町長　渡邊　善夫		
	郵便番号：985–8577		
	住所：宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5番地の１		
	電話：022-357-2111		
敷地面積	1800.28㎡		
建築面積	（申請部分）	298.38	㎡
	（申請以外の部分）	0.00	㎡
	（合計）	298.38	㎡
延べ面積	（申請部分）	298.38	㎡
	（申請以外の部分）	0.00	㎡
	（合計）	298.38	㎡
容積対象面積	298.38	㎡	
建ぺい率	16.58%（基準建ぺい率　70%）		
容積率	16.58%（基準容積率　200%）		
構造	木造		
階数	地上1階		
基礎	布基礎		
軒の高さ	6.907	m	
最高高さ	7.047	m	

都市計画	
都市計画	都市計画区域内
用途地域	指定なし
建ぺい率	70%
容積率	200%
高さ制限	
外壁の後退距離	なし
絶対高さ	なし
道路斜線	1.5L
隣地斜線	31m+2.5L
高度地区による斜線制限	なし
日影規制	―――
防火指定	なし
法22、23	法22条地域
前面道路	東側：町道　君ケ岡線　法４２条第１項１号　幅員６m
その他地域地区	
積雪荷重	垂直積雪量　40cm
凍結深度	―――

| 備考 | | |

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
2　工　事　場　所　　宮城郡七ヶ浜町花渕浜字五月田15-3の一部、50-26の一部、50-27の一部、50-30の一部、50-40、50-41の一部、50-42の一部、76-1の一部、77-1の一部、78-1の一部、79の一部
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙　内　・　外）　用途地域（指定なし/市街化調整区域）
　防火地域等（・　防火　・　準防火　・　指定なし　⊙　２２条　）
　その他の地域・地区（
4　主　要　用　途　　集会所
5　敷　地　面　積　　1,800.28㎡
6　工 事 の 概 要　　建築面積　（申請部分）　298.38　㎡
　（申請以外の部分）　0.00　㎡
　（合計）　298.38　㎡
　延床面積　（申請部分）　298.38　㎡
　（申請以外の部分）　0.00　㎡
　（合計）　298.38　㎡
　容積対象面積　298.38　㎡
　建ぺい率　16.58%
　容積率　16.58%
　構造　木造　地上１階
　基礎　布基礎
　軒の高さ　6.907m
　最高高さ　7.047m
7　別 途 工 事
8　そ　の　他
9　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印ものて構成する。
⊙　構造特記仕様書　・　外構工事特記仕様書　・　植栽工事特記仕様書
・　解体工事特記仕様書　⊙　電気設備工事特記仕様書　⊙　機械設備工事特記仕様書
・　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

１．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)［平成26年3月改定］」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築木造工事標準仕様書（平成25年版」（以下、「木造標準仕様書」という。）「公共建築改修工事標準仕様書（平成25年版）［平成26年3月改定］」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
２．特記仕様
１）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
２）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙　請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙　施工体系図を現場に掲示すること。 ・　工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※　図示
	②．適用基準等	⊙　建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成25年9月1日施行） ⊙　建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版） ⊙　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版）及び工事写真の撮り方<建築編> 第２編 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・　建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成25年版）
	３．概成工期	工事工期より　　日前　(1.2.1)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※　適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・　適用しない
	５．発生材の処理等	発生材の処理　(1.3.8) ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
・　セメントコンクリート塊			
・　アスファルトコンクリート塊			
・　建設発生木材			
・　建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型）（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型）（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

	⑥．電気保安技術者	・　適用する　※　適用しない　(1.3.3)
	⑦．事故報告	(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧．建築材料等	(1.4.2) 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
		環境への配慮　(1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
		ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 １）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 ２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ３）次の表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	⑨．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9) 試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※　ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3　・　0.08ppm） ※　ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3　・　0.05ppm） ※　ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3　・　0.07ppm） ※　ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　3,800μg/m3　・　0.88ppm） ※　ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3　・　0.20ppm） 測定する室等：（　　集会室、和室、調理室　　） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 ａ測定結果 ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） ｃ試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・　総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
	10．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑪．建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11～13.2)(16.14.5)

適用工事	建築基準法の指定
⊙　長尺金属板葺　・　折板葺	風速(V0)　※３０　・
・　粘土瓦葺　・　アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・　ガラスブロック・　ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・有　・無
・　押出成形セメント板外壁パネル	
・　重量シャッター・　軽量シャッター	
・　オーバーヘッドドア	

	⑫．設計G.L.	※　図　示　　・　現状平均地盤高
	⑬．技　能　士	(1.5.2) ・　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	⊙とび（とび作業）
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工（型枠工事作業）
	⊙コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業）
	・とび（とび作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	⊙防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）

1 一般共通事項	木工事	⊙建築大工（大工工事作業）
	屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）
		・スレート施工（スレート工事作業）
	金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
		⊙建築板金（内外装板金作業）
	左官工事	⊙左官（左官作業）
	建具工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
		・ガラス施工（ガラス工事作業）
		・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業）
		・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
		・ガラス施工（ガラス工事作業）
	塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
	内装工事	⊙内装仕上施工（・ブラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ⊙ボード仕上工事作業　）
		⊙表装（壁装作業）
	排水工事	⊙配管（建築配管作業）
	舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
	植栽工事	・造園（造園工事作業）
	⑭．完成図等	営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。 ※　完成原図　１部 ※　マイクロフィルム（県指定様式）　１部 ※　青焼２つ折製本　１部 ※　青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※　青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部 ※　完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚
	⑮．完成写真	※　作成する　・　作成しない 宮城県建築工事写真撮影要領により，完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお，原版を電子媒体とする場合は，CD等で提出すること。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー・白黒	※Ｌ・２Ｌ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部・　部	※工事用アルバムA4版・ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）・

	⑯．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑰．火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※　火災保険　※　建設工事保険 保険期間　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで
	18．住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）
2 仮設工事	①．仮囲い	※　設ける　・　設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ゲートは、災害公営住宅にて設置済。
	②．危害防止	※　シート張り　・　金網養生
	③．交通誘導員	⊙　配置する（ 60 日　×　1 人　＝　60 人日）　※　配置しない
	④．監督職員事務所	※　設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・　設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否） 備品（　　）
	⑤．工事表示板	※　設置する（設置枚数　１枚）　・　設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑥．事業コスト表示板	・　設置する（設置枚数　※　１枚　・　枚）　※　設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑦．工事用水	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
	⑧．工事用電力	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
	⑨．工事用通路	※　指定しない　・　指定する（図示）
	⑩．足場等	(2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	11．その他の仮設	・
3 土工事	①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1) Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所
	②．建設発生土の処理	・　構外に搬出し適切に処理する。　(3.2.5) ⊙　構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km）　町指定の受け入れ場所　現場から2km未満 ・　構内指示の場所に敷きならす。 ・　構内指示の場所にたい積する。 ⊙　現場に掘削土を仮置き。
	３．山　留　め	・　設置する　・設置しない　(3.3.1) ・　存置する　・存置しない　(3.3.3)
4 地業工事	１．既製コンクリート杭・鋼杭地業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・　プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・

(4.3.2)

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備考
試験杭	⊗					
本杭	○					

継　手　※　アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手　(4.3.6)(4.4.5)
・
先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法
・　掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　(4.3.3)(4.4.3)
杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－５０mm程度
・　セメントミルク工法　(4.3.4)(4.4.3)
・　特定埋込杭工法　(4.3.5)(4.4.4)
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類
ハンマーの種別　※　油圧パイルハンマー　・　ドロップハンマー
パイルドライバー　※　三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・　行う　※　行わない

	２．場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　(4.5.3)(表4.5.1) 掘削工法　・　アースドリル工法　※　安定液使用　(4.5.4) ・　リバース工法 ・　オールケーシング工法 孔内の水張り　※　行う　・　行わない
	３．地盤改良	工　法（・　）
	④．床下防湿層	(4.6.5) ※　設ける　地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。 ・　設けない
	⑤．土間スラブ（土間コン）下断熱材	※　設ける　Ａ種ポリスチレンフォーム３種b　厚25mm＋砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。 ⊙　設けない
	⑥．砂利地業	※　再生クラッシャラン　・　（　）(4.6.2～3)
5 鉄筋工事	①．鉄筋の種別	(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径（mm）
鉄筋コンクリート用棒鋼	※　ＳＤ２９５Ａ	※　Ｄ１６以下
	~~※　ＳＤ３４５~~	~~※　Ｄ１９以上~~

	２．溶接金網	※　JIS G 3551のJIS表示認証製品　(5.2.2) 線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100 使用箇所（　）

	③．鉄筋の継手	(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※　重ね継手	Ｄ１６以下	
~~※　ガス圧接~~	~~Ｄ１９以上~~	

	４．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.6の値に加える寸法(mm)

	⑤．各部配筋	各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。(5.3.7)
	６．柱の帯筋	※　Ｈ形　・　Ｗ－Ｉ形　・ＳＰ形　(参考図 図2.2)
	７．耐震壁を除く壁の開口部補強	・　Ａ形　※　Ｂ形　(参考図 表4.3～4.4)
	８．はり貫通孔の補強	補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(参考図 表7.1～7.3)
	９．圧接完了後の抜取試験	試験方法　※　超音波探傷試験　・　引張り試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	①．レディーミクスコンクリート	種　別　※　Ⅰ類　・　Ⅱ類　(6.2.1)(表6.2.1) ・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ) （アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験） ・コンクリート単位水量測定を実施する。
	②．設計基準強度	普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品）　(6.2.2)

Ｆｃ（N/mm2）	適用箇所
⊙　２４	
※　２１	
・　１８	

	③．スランプ	基礎，基礎梁，土間スラブ　※　１５cm　・　１８cm (6.2.4)(表6.2.2) 柱，梁，スラブ，壁　※　１８cm
	④．打放し仕上げの種類	(6.2.5)(表6.2.4)

種別	施工箇所
⊙　Ａ種	
※　Ｂ種	
・　Ｃ種	

	⑤．セメントの種類	※　普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.1)

備考　〈平成２６年５月版　建築工事特記仕様書〉

Spirit Of Place　関・空間設計　宮城県知事登録　第 11X10168 号
管理建築士　一級建築士　渡辺　宏　登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全葉
渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10	

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-002
図面名称	特記仕様書(1)	Scale	

6 コンクリート工事

⑥. 型枠 (6.8.3)

せき板の種類	板　厚(mm)	適用箇所	備　考
※ 合　板	※ １２　・		・宮城県グリーン製品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※　適用しない　・　適用する

⊙ ひび割れ誘発目地 (6.8.2)
目地寸法　※　図示
位　置　※　図示
⊙ その他、構造特記による。

7. 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（ｔ／m3）

8. 寒中コンクリート (6.11.2～4)
初期養生期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/㎜２に達するまで行うこと。

9. 無筋コンクリート 適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。 (6.14.1)

適　用　範　囲

10. 流動化コンクリート (6.15.1)(6.15.3)

種　別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０・１２・１５	・１８　・２１	

7 鉄骨工事

1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)
※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2. 施工管理技術者 ※ 適用する　・　適用しない (7.1.3)

3. 鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)

材　質	規　格
・SS400　・SSC400　・STK400　・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4. 高力ボルト (7.2.2)
※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※　２種(S10T)　・
・ ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類　※　２種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種(F8T相当)　・

5. 溶接部の試験 完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 (7.6.11)

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備　考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６　・	
現場溶接			

6. 錆止め塗装 ※ 適用する (7.8.3)(7.8.4)(表18.3.1)(表18.3.2)
(標準仕様書18章3節による)
・ 適用しない

7. 耐火被覆 (7.9.2)(7.9.4～7)

種　別	材料及び工法製造所	備　考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたもの	※半乾式　・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8. アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種　別	適　用　箇　所
・　Ａ　種	
※　Ｂ　種	
・　Ｃ　種	

9. 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種　別	適　用　箇　所	柱底均しモルタル
※　Ａ　種		※無収縮モルタル
・　Ｂ　種		※無収縮モルタル

10. 溶融亜鉛めっき (7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適　用　箇　所
※　Ａ　種	

8 押出成型セメント板工事 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル

1. 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類 (8.2.2)
※ 空洞ブロック　１６　・

2. コンクリートブロック帳壁及び塀 ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　１６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック ０８とすることができる）

3. ＡＬＣパネル (8.4.2)(8.4.3～5)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火性能(時間)
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種		・ 1
・間仕切壁パネル工法				・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種		・ 1
・屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		屋根 ・ 0.5 床 ・１・２

4. 押出成形セメント板 (8.5.2～4)(表8.5.1)(表8.5.2)

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火性能
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種		建築基準法施行令第107条の規定に基づく技術基準
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種		

9 防水工事

1. アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～9)

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
・Ａ－		・ＡＩ－	
・Ｂ－		・ＢＩ－	
・Ｄ－		・ＤＩ－	
・Ｅ－１	屋内(便所・浴室)		

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※　３種
・ 押さえ金物　(※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　)
・ 断熱材　※　Ａ種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板３種ｂ(スキンあり)
・ 脱気装置　(種類・数量：ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の指定とする)
・ 溶接金網　(規格　)
・ 伸縮調整目地　(※成形伸縮目地　・　) (表9.2.1)

2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1～3)

種　別	施　工　箇　所	シートの厚さ
・AS－T		(表9.3.1～3)による
・AS－J		
・ASI－T		
・ASI－J		

改質アスファルトシートの種類　JIS A6013のJIS表示認証製品
・ 押さえ金物　(材質及び形状：　)
・ 断熱材　※　Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板２種１号又は２号(透湿係数を除く規格に適合するもの)
・ 脱気装置　(種類・数量：改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の指定とする)

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ (mm)	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(※発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料（　）

4. 塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種　別	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・ウレタンゴム系	・Ｘ－１ バルコニー	※カラー　・シルバー
	・Ｘ－２ ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－１ 地下外壁	
	・Ｙ－２ 室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製　・　)
(設置数量：　箇所)

5. ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2)(9.6.3)(表9.6.2)

種　別	施　工　箇　所
※Ｃ－ＵＩ ・Ｃ－ＵＰ	(表9.6.1)による

6. シーリング ※　被着体との組み合わせは（表9.7.1）による。 (9.7.2)

7. 防水保証
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

10 石工事

1. 石　材 (10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品　質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2. 清掃 床のワックスかけ　・　行う　・行わない (10.1.5)

11 タイル工事

1. 陶磁器質タイルの品質 JIS A 5209のJIS表示認証製品 (11.2.2)(11.3.2)(11.4.2)

施工箇所	形状寸法(mm)	うわ薬 無	うわ薬 施	役物 なし	役物 有	色 標準	色 注文
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う
タイルの試験張り　※　行わない　・　行う

2. タイル下地コンクリート あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理 (11.2.7)(11.3.7)
・ 行う（下記のいずれかとする）　・　行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適　用　箇　所
ＭＣＲ工法	(15.2.5(c))による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	(15.2.5(e))による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし(6.8.3(e))による。
目荒し工法の高圧水洗は(15.2.4(c))による。
ポリマーセメントモルタルの調合は(15.2.3(d))による。

3. セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り 内装タイルの工法 (11.2.7)(表11.2.3)
※ 改良積上げ張り　施工箇所（　）
外装タイルの工法
※ 密着張り　施工箇所（　）
・ 改良圧着張り　施工箇所（　）
ユニットタイルの工法
※ マスク張り

4. 接着剤による陶磁器質タイル張り 内装タイルの工法 (11.3.7)(表11.3.2)
・ 接着剤張り　施工箇所（　）
接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品 (11.3.3)

5. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 ※　(表11.1.1)による　・図示 (11.1.3)

6. 接着力試験 ※　(表11.1.2)による (11.1.5)

12 木工事

①. 木　材 表面仕上げの程度　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (12.1.4)(表12.1.1)
含水率　下地材　※　Ａ種　・　Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.1)
造作材　※　Ａ種　・　Ｂ種
造作材の材面の品質　※　Ａ種　・　Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.2)
代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※　なし　・　あり（　）

②. 造作用集成材 造作用集成材12.2.1.(c)による (12.2.1)

見付け材面等級	ＪＡＳによる集成材	その他
	※　１等　・　２等	※　ＪＡＳ集成材１等同等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

③. 床張り用合板等 床下貼り用合板 (12.2.1)
※　JASの構造用合板　特類　２等以上　C－D以上
・（　）

④. 防腐・防蟻・防虫処理 木材の防腐・防蟻処理の方法は、土台は防腐注入材、柱その他は耐久性区分Ｄ１材使用とする。 (12.3.1)
工場における処理は加圧式とし十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて防腐剤を塗布する。 (12.3.2)

⑤. 木製巾木 高　さ（mm）　⊙　４０

⑥. 接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

13 屋根及びとい工事

①. 長尺金属板葺 (13.2.2)(表13.2.1)

材　種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備　考
・カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	JIS G 3312	※0.4　・	※瓦棒葺（心木なし）	
・ガルバリウム鋼板（※無塗装）	JIS G 3321	※0.4　・	・	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※フッ素塗装鋼板	JIS G 3322	※0.4　⊙ 0.35	⊙長尺立平葺	AL55%
・		・	・	

※監督員の承諾する業者とする。

②. 折板葺 JIS A 6514のJIS表示認証製品 (13.3.2)

材　種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8	・ 0920	・有（　mm）	・有（30分耐火）
・カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322		・ 1525	・無	・無
・ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744		・ 1730		
・			・		

・形　式（・ 重ね形　・ はぜ締め形）
・軒先面戸（　）

③. 粘土瓦葺 JIS A 5208の表示認証製品 (13.4.2)

種　類	大きさ	産　地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する ・ 提出しない

④. とい といの材質 (13.5.2)(13.5.3)(表13.5.1)(表13.5.3)(表13.5.4)

材　種	防　露
・配管用鋼管（ＳＧＰ）	※　(表13.5.4)により行う　・　行わない
⊙フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板製とい	

鋼管製といの防露巻き工法
※　(表13.5.5)による
・ 樋受石（材質・規格　）
※ 第一桝まで接続

⑤. ルーフドレン ※ 鋳鉄製 (表13.5.2)
※ 縦型　・ 横型

14 金属工事

1. あと施工アンカー 引抜き耐力の確認試験　・ 行う　※ 行わない (14.1.3)

②. ステンレス表面処理 ※ ＨＬ　・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種　類	施　工　箇　所	色　合
・　－　種		
・　－　種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

種　類	施　工　箇　所
・　種	
・　種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※ 行わない　・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※ 行わない　・ 行う

5. 軽量鉄骨天井下地 野縁などの種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※　１９型　・　２５型（室名：　）
屋外　・　１９型　※　２５型

耐震性を考慮した補強 (14.4.3)(14.4.4)
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6. 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7. 金属成形板張り 種　別（　） (14.6.2)(14.6.3)
表面処理（　）
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・ 設ける　・ 設けない

8. アルミニウム製笠木 表面処理　※　B-1種　・　B-2種 (14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

⑨. 手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	⊙ 鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地材 ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

15 左官工事

1. モルタル塗り 既製目地材　・ 設ける（施工箇所：　形状：図示による） (15.2.2)
・ 設けない
床目地　・ 設ける（押し目地工法）・設けない (15.2.5)

2. セルフレベリング材 種別　・ 石こう系　・ セメント系 (15.4.2)(表15.4.1)
塗厚　※ 10mm　・

③. 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工　法	上塗り材
⊙薄付け仕上げ塗材	⊙外装薄塗材　Ｅ	・砂壁状	・吹付け	無機有機特殊ポリマーセメント薄付仕上材
	・内装薄塗材　Ｅ	・砂壁状じゅらく	・ローラー	
	・可とう形外装薄塗り材　Ｅ	⊙平坦状	⊙こて	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材　Ｃ	・	※吹付け・こて	
	・内装厚塗材　Ｃ			
	・外装厚塗材　Ｅ			
	・			
※複層仕上塗材	・複層塗材　ＣＥ	※ゆず肌	・吹付け	溶剤 ※水系・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
	※複層塗材　Ｅ	・凸部処理	※ローラー	
	・複層塗材　ＲＳ	・凸凹模様		
	・複層塗材　ＲＥ			
	・複層塗材　Ｓｉ			
	・防水形複層塗材　Ｅ			
	・防水形複層塗材　ＲＳ			
	・			
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け	
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　⊙　１種　・　２種　※　３種

4. ロックウール吹付け 吹付け厚さ（mm）　※　図示による　・ (15.8.3)

16 建具工事

1. 一般事項 防火戸の指定 (16.1.3)
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号の二の規定に定められたもの又は認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない

防火戸との連動 (16.1.3)
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構　・ ヒューズ装置　・ 熱感知器　・ 煙感知器
※ 適用しない

見本の作成等 (16.1.4)
製　作　※　行わない　・　行う（建具表による）
仮　組　※　行わない　・　行う（建具表による）

防犯建物部品　※　使用しない　・　使用する（建具表による） (16.1.6)

②. アルミニウム製建具 外部に面する建具性能等級等 (16.2.2)(表16.2.1)(表16.2.4)(表14.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ 住宅用	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３	建具表による
・ Ａ 種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、１００）
・ Ｂ 種	Ｓ－５			
・ Ｃ 種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

③. 網戸 使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式 (16.2.3)

⊙防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂

・防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

備　考 〈平成２６年５月版　建築工事特記仕様書〉

Spirit Of Place 関・空間設計
宮城県知事登録 第 11X10168 号
管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号

承　認	調　査	設　計	設計年月	全　葉
渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10	

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-003
図面名称	特記仕様書(2)	Scale	

16 建具工事

4．樹脂製建具

外部に面する建具性能等級 (16.3.2)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(㎜)
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	※建具表による
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５	
・Ｃ種	Ｓ－６			

※　適用箇所は図示による

防音ドアセット，防音サッシ (表16.3.2)
・適用する（適用範囲は図示による）　※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－Ａ種　・　Ｔ－Ｂ種

断熱ドアセット，断熱サッシ (表16.3.3)
・適用する（適用範囲は図示による）　※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－Ａ種　・　Ｈ－Ｂ種

表面色 (16.3.4)
・標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）

⑤．鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2)(16.4.4)(表16.4.1)(表16.4.2)
※　使用する（適用箇所は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５　・　Ｓ－６

鋼　板 (16.4.3～4)
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)

建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (㎜)
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.4.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.4.2)に同じ

標準型鋼製建具　※　使用する　・　使用しない (16.4.6)

6．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～4)(表16.5.1)
※　使用する(適用箇所は図示による)
気密性　※　Ａ－３　・
・　使用しない

戸の鋼板　※　表面処理亜鉛めっき鋼板
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※　使用する　・　使用しない (16.5.6)
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※　鋼製　・　アルミ製

7．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.6.2～5)
※　使用する（適用箇所は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５　・　Ｓ－６

表面処理　※　ＨＬ　・
鋼板の曲げ加工　※　普通曲げ　・　かど出し曲げ

⑧．木製建具

(16.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※　新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※　戸ぶすま　工法（・　在来型　・　チップ型）

⑨．建具用金物

(16.8.2)(表16.8.1)

金物の種類	型式	製造所
シリンダー箱錠		
本締り付きモノロック		
モノロック		
シリンダー本締り錠		
グレモン錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	ピボット形	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所
戸あたり	あおり止め付き	

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの作成　⊙　要　・　不要 (16.8.4)
・　不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

10．自動ドア開閉装置

性能　・　スライディングドア (16.9.2)(表16.9.1～2)
・　スイングドア

センサーの種類　・　光線（反射）スイッチ (16.9.3)(表16.9.3)
・　マットスイッチ式
・　タッチスイッチ
・
※センサーの種類によらず補助センサー併用とする

凍結防止装置　・　要　※　不要
全半開装置　※　設ける（半開幅＝　　）
・　設けない

16 建具工事

11．重量シャッター

(16.11.2)(表16.11.1)

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・一般シャッター	※　設ける ・　設けない	建具表及び図示による	※　上部電動式(手動併用) ・　上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※　設ける ・　設けない
・防火シャッター ・　外壁用 ・　屋内用	※　設ける ・		※　上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・防煙シャッター				

スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

12．軽量シャッター

(16.12.2～4)(表16.12.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※　手動式 ・　上部電動式(手動併用)	※　設ける ・　設けない	建具表及び図示による	※　インターロッキング型 ※　オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※　設ける ・　設けない

スラットの材質 (16.12.3)
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13．オーバーヘッドドア

(16.13.2)(16.13.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※　バランス式 ・　チェーン式 ・　電動式	※　スタンダード形 ・　ローヘッド形 ・　ハイリフト形 ・　バーチカル形	・　５０ ・　７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※　溶融亜鉛メッキ鋼板 ・　ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※　設ける　・　設けない

⑭．ガラス

(16.14.2)(16.14.3)(表16.14.1)
※　外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。

※　ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・　Ⅰ類　・　Ⅱ－１類　・　Ⅱ－２類　・　Ⅲ類

強化ガラスの特性
・　Ⅰ類　・　Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能　・　１類　・　２類
色調　・　ブルー　・　グレー　・　ブロンズ

複層ガラス
性能　⊙　１種　・　２種
・　３種　(・　Ｕ３－１　・Ｕ３－２)
・　４種　・　５種
封止の加速耐久性による区分
※　Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・　１種　・　２種　・　３種
耐久性　・　Ａ類　・　Ｂ類
色調　・　ブルー　・　グレー　・　ブロンズ
・　シルバー
反射皮膜　・　内側　・　外側
映像調整　・　行う　・　行わない

ガラスの留め材
※　シーリング　・　ガスケット（可動アルミ製建具に限る）

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、(表16.14.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

15．ガラスブロック（中空）

(16.14.5)

表面形状(JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)		厚さによる区分
正方形	・１２５×１２５	・１６０×１６０	・　８０
	・２００×２００	・３２０×３２０	・　９５
長方形	・２５０×１２５	・３２０×１６０	・１２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・一般ガラス ・乳白ガラス ・カラーガラス ・熱線反射ガラス	・無 ・有	・白 ・グレー	・アルミニウム製(表面処理　) ・ステンレス製(表面仕上　)	・規定しない ・有(　分間)

17 カーテンウォール工事

1．カーテンウォールの種別

カーテンウォール種別
・　メタルカーテンウォール
・　ＰＣカーテンウォール

2．カーテンウォールの性能等

(17.1.2～3)(17.2.2～3)(17.3.2～3)

材種	
耐風圧性	
耐震性	
水密性	
気密性	
耐火性	
耐温度差性	
遮音性	
断熱性	
材質等性能の確認方法	適切な資料により、監督員の承諾を受ける
層間変異追従性	
シーリング材	
構遮ガスケット	
ガラス	
断熱材	
摩擦低減材・取付金物	カーテンウォール製作所の仕様による
表面仕上げ	

18 塗装工事

①．一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 (18.1.3)

②．素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ (18.2.2～7)

木部	※Ａ種（不透明塗料塗）	※Ｂ種（透明塗料塗）
鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	・Ｃ種
モルタル・プラスター面	・Ａ種　※Ｂ種	
コンクリート・ALC面	・Ａ種　※Ｂ種	
ボード面	※Ａ種（継目処理工法）	※Ｂ種（その他）

③．錆止め塗料塗り

塗料の種別 (18.3.2)

鉄鋼面	※Ａ種	※Ｂ種（標準仕様書8節の場合）
~~亜鉛めっき鋼面~~	~~※Ａ種　・Ｂ種~~	~~※Ｃ種(標準仕様書8節の場合)~~

錆止め塗料塗り (18.3.3)

鉄鋼面	※Ａ種（見え掛り）	※Ｂ種（見え隠れ）
~~亜鉛めっき鋼面~~	~~※Ａ種（鋼製建具等）~~	~~・Ｂ種　※Ｃ種(その他)~~

④．合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別　※１種　・２種 (18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3～5)

鉄鋼面	・Ａ種	※Ｂ種
木部	※Ａ種（屋外）	※Ｂ種（屋内）

⑤．クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部　・Ａ種　※Ｂ種 (18.5.2)

⑥．アクリル樹脂非分散系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

コンクリート・モルタル面　・Ａ種　※Ｂ種 (18.6.2)

⑦．耐候性塗料塗り(屋外)（ＤＰ）

上塗りの等級 (18.7.2～4)(表18.7.1～3)

鉄鋼面	※１級	・２級	・３級
亜鉛めっき鋼面	※１級	・２級	・３級

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別
※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

⑧．つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面　・Ａ種　※Ｂ種 (18.8.2～4)
鉄鋼面（屋内）　・Ａ種　※Ｂ種

⑨．合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面　・Ａ種　※Ｂ種 (18.9.2)

10．合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面(屋内)　・Ａ種　※Ｂ種 (18.10.2)

⑪．ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部　・Ａ種　※Ｂ種 (18.11.2)

12．ラッカーエナメル塗り（ＬＥ）

木部　・Ａ種　※Ｂ種 (18.12.2)

⑬．木材保護塗料塗り（ＷＰ）

木部　・Ａ種　※Ｂ種 (18.14.2)

19 内装工事

①．ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	色柄	厚さ(㎜)	特殊機能	工法
※　発泡層のないもの	・ＦＳ ・ＴＳ	※無地 ・マーブル	※　2.0 ・　2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け
・　発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・	・	・	・

②．化粧ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(㎜)	特殊機能	工法
ＦＳ	※　木目調 ・　石目調	※　2.0 ・　2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

③．ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	寸法	暑さ(㎜)	特殊機能
※　コンポジションビニル床タイル	※ＫＴ	※300×300	※　2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・　ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・　2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

19 内装工事

④．ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・　帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
・　帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454）1×10^10オーム未満
・　帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454）1×10^7オーム未満
⊙　超防汚仕様

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

⑤．視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(㎜)
・　塩化ビニル系　⊙　せっ器質タイル系	３００×３００

⑥．ビニル幅木

材種　※　軟質　・　硬質　・　溶接 (19.2.2)
高さ(㎜)　⊙　４０　※　７５　・　１００
厚さ(㎜)　・　１．５　※　２．０

7．カーペット敷き

・　タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(㎜)	工法	品質	帯電性
			※　全面接着工法 ・　グリッパー工法		(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・　タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※　6.5 ・	製造所の仕様による

8．合成樹脂塗床

材料の種類 (19.4.2)
・　厚膜型塗床材
・　弾性ウレタン樹脂系塗床材
・　エポキシ樹脂系塗床材
・　薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類 (19.4.3)
・　平滑仕上げ　・　防滑仕上げ

⑨．フローリング張り

・単層フローリング (19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

種別	樹種	厚さ(㎜)	工法	塗装
・　フローリングボード	※ナラ ・	※１５幅　７５ ・　長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り
・　フローリングブロック	※ナラ ・	※１５ 303×303 ・	・モルタル埋込み工法 ・接着工法	・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・　モザイクパーケット	※ナラ ・	・６　・８　・９ ・	・接着工法	

⊙複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※　複合１種フローリング ・　複合２種フローリング ・　複合３種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	⊙釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ⊙既塗装品
・　大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法(体育館床)	

10．畳敷き

畳の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種 (19.6.2)(表19.6.1)
※　Ｃ種　・　Ｄ種（　　）

⑪．石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)(表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚さ(㎜)		規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	⊙　6(不燃) ・　8(不燃) ・　10(不燃) ・　12(不燃)	JIS A 5430(タイプ2)
		天井	⊙　6(不燃) ・　12(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料）ＤＲ	※　内部用 ・　軒天用	普通	※　9(不燃) ・　12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・　12(不燃) ・　15(不燃) ・　19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品)ＧＢ－Ｒ		壁	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・　15(不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品)ＧＢ－Ｓ		壁	◯12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品)ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色　※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品)ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き)特殊模様	天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　※　継目処理工法　・　突き付けＶ目地工法
・　突き付け工法　・　目透し工法

備考　〈平成２６年５月版　建築工事特記仕様書〉

Spirit Of Place
関・空間設計
宮城県知事登録 第 11X10168 号

管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全業
渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10	

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-004
図面名称	特記仕様書(3)	Scale	

19 内装工事

12. 遮音シール材　・アクリル系シーリング材　※　ジョイントコンパウンド　(19.7.2)

13. 壁紙張り　(19.8.2)

施工箇所	品質	防火種別
図示	掲示用クロス	・不燃 ・準不燃 ⊙その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

品質は参考商品名である。

14. 断熱材　断熱材の打込み及び現場発泡工法　(19.9.2)(19.9.3)

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法2種b		・25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（A種）	⊙1種b ・3種b（スキン層あり）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部	※ 25 ⊙ 50 ⊙ 70	
・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・	・	
・フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	⊙床上部外壁 ⊙集会室外壁	※ 20 ⊙ 40 ⊙ 50	JIS A 9526による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	・	

※　施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※A種押出法2種b	下記以外		
	※A種押出法3種b（スキン層あり）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・グラスウール保温材	※24K品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※　グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※　被覆品　・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り　(重ね100)

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部　※　一般部分の仕様に準ずる　・　図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み)パネル　※　なし
・　有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2. 可動間仕切（パーテーション）　(20.2.3)

構造形式による種類　スタッド式（内蔵）
構成材の種類　アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）　t＝0.5以上
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃

3. 移動間仕切（スライディングドア）　(20.2.4)

パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）　t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース　(20.2.5)

表面材　メラミン化粧板（標準色）
幅木　ステンレス製 H＝６０
フレーム　アルミ製
扉　厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め（ノンスリップ）　(20.2.6)

材種　ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法　※　接着工法　・　埋込み工法

⑥. 床目地棒　(20.2.7)

ステンレスＦＢ（SUS304）　t５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7. 黒板及びホワイトボード　(20.2.8)

形式　・　平面　・　曲面

⑧. 鏡　(20.2.9)

耐湿鏡　t＝５

⑨. 表示　(20.2.10)

衝突防止表示　図示
誘導標識　市販品
室名札　図示

10. 煙突ライニング材　(20.2.11)

煙突用成形ライニング材　安全使用温度　４００℃

11. ブラインド　(20.2.12)

形式		
スラット	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
開閉方式	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
スラットの成形（mm）	※ ギヤ式　・コード式	※ ２本操作コード方式
	※ ２５　・	・ ８０　・ １００

12. ロールスクリーン　(20.2.13)

操作方式　・ スプリング式　※ チェーン式　・電動式
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン　(20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引　・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引　・ひも引 ・電動

14. カーテンレール　(20.2.14)

材質　※ ステンレス製　・ アルミニウム製
形状　※ Ｄ型又は角型　・ Ｃ型

15. アルミニウム製カーテンボックス　表面処理　※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種　(表14.2.1)

16. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ ４５０×４５０ ・ ６００×６００	※◎ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般形點物用 ・ 一般形充填用

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

18. ステンレス流し台

※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型　）トラップ付
⊙家具図による

19. コンロ台

※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型　）バックガード（※有　・無）
⊙家具図による

20. つり戸棚

※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型　）
⊙家具図による

21. 水切棚

※ １段　・ ２段

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品　彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形式　※ テーパー式　・ 同一断面式　Ｈ＝
材種　※ アルミニウム合金　・　m
操作方式　※ ハンドル式　・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品　アルミニウム製枠　表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外　※ コンクリート製　・ 磁器質タイル（※ １００角　・ １５０角）

26. 出隅面取材

材種　※ アルミニウム合金製　・
高さ　※ 天井まで　・ １.８m程度

27. かぎ箱

市販品　フック数（本）　⊙ ３０　・ ４０
・ ６０　・ １００　・

28. 消火器ボックス

鋼製　既製品

29. ピクチャーレール

アルミ製　既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

30. 郵便受

図示

31. 身障者用手すり

⊙L型　⊙可動　⊙小便器用

32. 館名板

⊙管理規約表示（図示）　⊙館名板（図示）

21 排水工事

①. グレーチング　※ 鋼製　・ ステンレス製　(21.2.2)

2. 鋳鉄製マンホールふた　簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。　(21.2.2)

③. 縁石及び側溝　地業の材料　・再生クラッシャラン　・　(21.4.2)

22 舗装工事

1. 再生材　※ 使用する　・ 使用しない　(22.1.3)

2. 盛土材料　路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(22.2.3)

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料　遮断層　※ 川砂・海砂又は良質な山砂　(22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床安定処理　路床安定処理添加材料　(22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
※ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントＢ種
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・１号）　・ 消石灰（・特号　・１号）

⑤. 砂の粒度試験　※ 行わない　・ 行う　(22.2.3)

⑥. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※ 行わない　・ 行う（※ 乱した土　・ 乱さない土）　(22.2.5)

⑦. 路床の締固め度の試験　・ 行わない　※ 行う（箇所：埋戻し及び盛土部）　(22.2.5)

8. 路盤材料　※ 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　(22.3.3)(表22.3.2)
（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン　Ｃ－４０
・ クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

⑨. 路盤の締固め度の試験　※ 行う　(22.3.5)

10. アスファルト舗装　加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.2)(22.4.4)(表22.4.5)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 細粒度アスファルト混合物（１３） ・	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・ 粗粒度アスファルト混合物（２０） ・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)

⑪. コンクリート舗装　早強セメント　・ 使用する ※ 使用しない　(22.5.3)
溶接金網　※ あり　・ なし
コンクリート版の厚さの試験　・ 行う　※ 行わない　(22.5.6)

⑫. カラー舗装　(22.6.2)

種類		部位		厚さ(mm)
加熱系	※ アスファルト混合物	⊙ 車道部	⊙ 歩道部	図示による
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部	・ 歩道部	
	・ 樹脂系混合物	・ 車道部	・ 歩道部	５～１０
常温系	・ ニート工法	・ 車道部	・ 歩道部	３～５
	・ 塗布工法	・ 車道部	・ 歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　）　(22.6.3)

13. ブロック系舗装　・ コンクリート平板舗装　※ 砂目地　(22.9.2)(表22.9.1)
・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装　基層　※ コンクリート舗装　・ アスファルト舗装

⑭. 砂利敷き　・ Ａ種　※ Ｂ種　・　(22.10.2)

⑮. 区画線　※ ＪＩＳＫ５６６５　３種１号
・

23 植栽工事

1. 植栽地の確認等　透水性及び土壌硬度の確認　※ 行う　・ 行わない　(23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験　・ 行う　※ 行わない

②. 植栽基盤　⊙ 適用する　※ 適用しない　(23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
⊙ Ａ種	樹木	⊙ 適用する　※ 適用しない
・ Ｂ種	芝，地被類木	※ 適用する　・ 適用しない
・ Ｃ種		
・ Ｄ種		

③. 植込み用土　※ 現場発生の良質土　・ 客土　(23.2.3)

④. 土壌改良材　※ 適用する　・ 適用しない　(23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

⑤. 芝　種別　※ こうらい芝の類　⊙ 野芝の類　(23.4.2)

6. 屋上緑化　(23.5.2)(23.5.3)

工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ ６ｃｍ ・ １２ｃｍ ・ ３０ｃｍ	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材 ・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の仕様による	

各工事の区分表

工事項目	建築	電気	機械	外構	備考
構造躯体のスリーブ及び箱入れ	○	○	○		各工事に必要なスリーブは各々の工事とする
同上　貫通の開口補強	○				
同上　スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○		
天井付各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強・補修	※	○	○		※下地補強のみ建築
屋上、屋外及び屋内設置機器類の基礎	○				
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ、埋込み		○	○		
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び取付調整	○				
同上　ダクト接続			○		
同上　電源用配管、配線及び接続		○			
キッチンキャビネット及び据付工事	○				
同上への配管接続			○		
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	○				
同上への照明用電源配線及び接続		○			
洗面器及び据付			○		
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○				
同上　配管接続			○		
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○			
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			○		
ダクト用ベントキャップ及び取付			○		
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○				設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付、配線		※	○		※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付			○		
非常用照明		○			
誘導標識	○				
消火器			○		
同上　表示			○		
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部のシーリング打ち		○	○		
機器類取付後の出入口廻り（壁、床、枠等）仕上工事	○				
竪樋、ドレン、受け樋	○				
竪樋から第一桝までの接続	○				
同上　第一桝以降の排水設備（桝、側溝等）			○	○	
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※	○	○		※タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事		○			受信柱も電気設備工事
プロパンボンベ基礎	○				
同上　配管工事			○		
便所の手すり	○				便器一体型の手すり除く
便所のペーパーホルダー			○		
屋外駐車場、歩道工事				○	
雨水排水側側溝設置工事				○	
同上　配水管接続				○	

設備工事に伴う建築工事リスト

梁貫通スリーブ（給排水）に伴う補強		75φ×2	
		150φ×2	
天井開口補強			
和室	天井埋込型換気扇用	390×390	×1
	天井カセット形エアコン	1060×670	×2
男女便所	天井埋込型換気扇用	310×310	×2
多目的便所	天井埋込型換気扇用	260×260	×1
多目的玄関	給気口	φ220	×1
天井点検口	天井点検口	450×450	×2

備考　〈平成２６年５月版　建築工事特記仕様書〉

Spirit Of Place　関・空間設計　宮城県知事登録 第 11X10168 号
管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全業
渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10	

工事名　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事　No A-005
図面名称　特記仕様書(4)　Scale

求積表

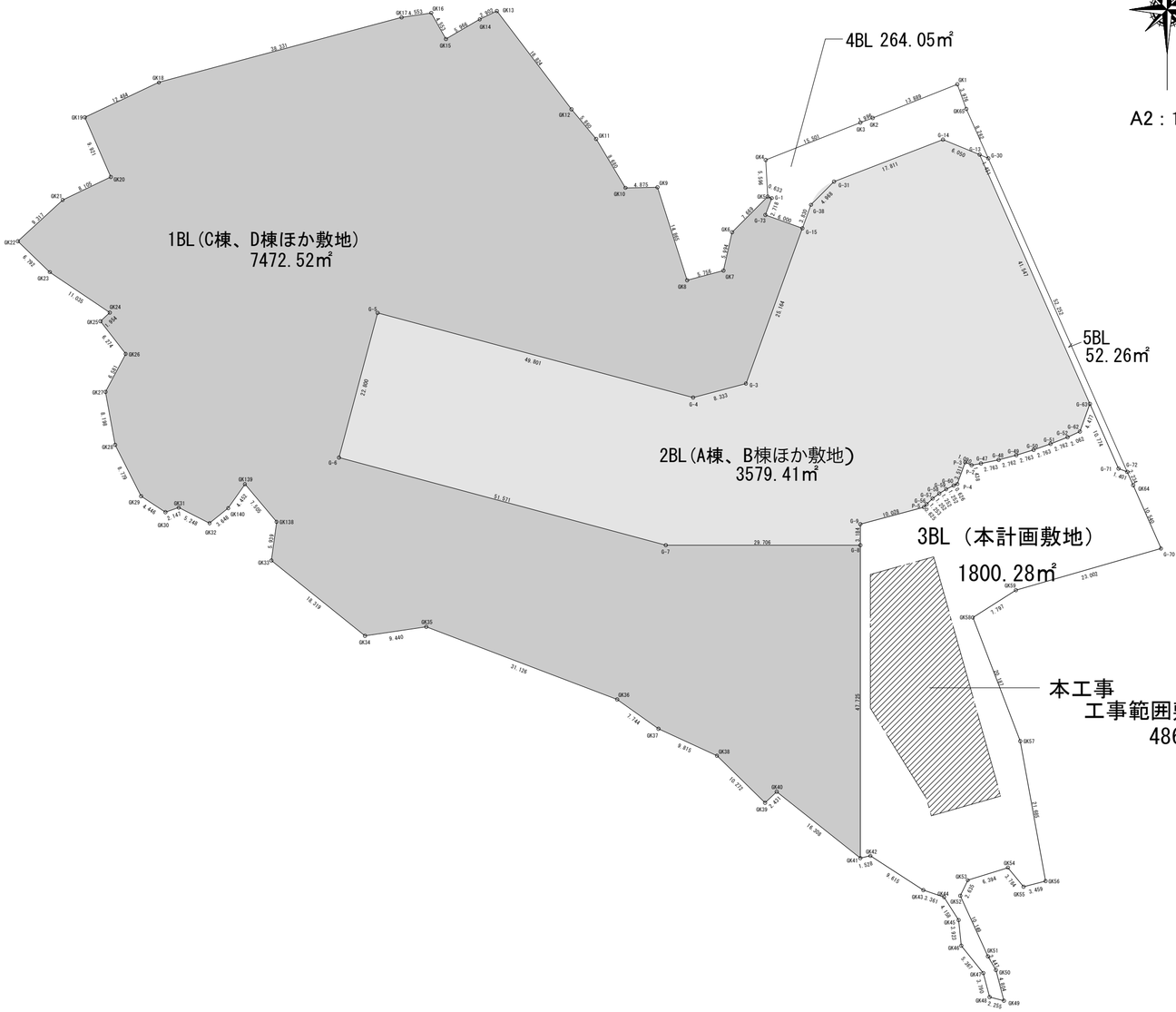
地番	1BL			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn=E(Yn+1-Yn-1)
GK5	-188477.893	21264.424	-6.013	1133317.570609
GK6	-188483.320	21259.006	-6.735	1269435.160200
GK7	-188489.168	21257.689	-6.884	1297559.422512
GK8	-188490.632	21252.122	-10.076	1899231.608032
GK9	-188476.467	21247.613	-9.384	1768662.166328
GK10	-188476.536	21242.738	-9.367	1765459.712712
GK11	-188469.109	21238.246	-8.211	1547519.853999
GK12	-188464.580	21234.527	-15.124	2850338.307920
GK13	-188449.604	21223.122	-14.015	2641121.200060
GK14	-188450.872	21220.512	-7.786	1467278.489392
GK15	-188453.838	21215.336	-7.398	1394181.493524
GK16	-188449.864	21213.114	-6.721	1266571.535944
GK17	-188450.561	21208.615	-41.524	7825221.094964
GK18	-188460.400	21171.590	-48.324	9107164.235520
GK19	-188465.789	21160.291	-7.358	1386731.275462
GK20	-188474.894	21164.232	-3.376	636291.242144
GK21	-188478.381	21156.915	-14.173	2671304.093913
GK22	-188484.690	21150.059	-1.952	367922.114880
GK23	-188489.389	21154.963	14.043	-2646956.489727
GK24	-188495.574	21164.102	7.695	-1450473.441930
GK25	-188496.890	21172.658	2.411	-454466.001790
GK26	-188501.840	21166.513	0.791	-149104.955440
GK27	-188507.664	21163.449	-1.585	298784.647440
GK28	-188515.727	21164.928	5.425	-1022697.818975
GK29	-188523.569	21168.874	7.668	-1445598.727092
GK30	-188526.001	21172.598	5.752	-1084401.557752
GK31	-188525.301	21174.626	6.716	-1266135.921516
GK32	-188527.664	21179.512	7.529	-1419424.782256
GK140	-188525.378	21182.155	5.390	-1016151.787420
GK139	-188521.727	21184.702	7.372	-1389782.171444
GK138	-188527.475	21189.527	4.033	-760331.306675
GK33	-188533.361	21188.735	13.497	-2544634.773417
GK34	-188544.824	21203.024	23.630	-4455314.191120
GK35	-188543.458	21212.365	38.433	-7246290.721314
GK36	-188554.526	21241.457	35.400	-6674830.220400
GK37	-188559.012	21247.765	15.227	-2871188.167086
GK38	-188563.115	21256.684	16.277	-3069241.822855
GK39	-188570.283	21264.042	9.106	-1717120.996998
GK40	-188566.593	21265.790	14.528	-2739524.519104
GK41	-188578.724	21278.570	12.780	-2410036.092720
G-8	-188530.999	21278.570	-29.706	5600501.856294
G-7	-188530.999	21248.864	-79.520	14991985.040480
G-6	-188517.651	21199.050	-43.913	8278375.608363
G-5	-188495.628	21204.951	54.005	-10179706.390140
G-4	-188508.518	21253.055	56.153	-10585318.811254
G-3	-188506.361	21261.104	16.670	-3142401.037870
G-15	-188482.720	21269.725	2.984	-562432.436480
G-73	-188480.664	21264.088	-4.706	886990.004784
G-1	-188478.110	21265.019	0.336	-63328.644960
			合計	-14945.042259
			合計面積	7472.5211295
			地積	7472.52 ㎡

地番	2BL			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn=E(Yn+1-Yn-1)
G-13	-188471.498	21296.729	-22.416	4224777.099168
G-14	-188469.180	21291.141	-22.210	4185900.487800
G-31	-188475.578	21274.519	-20.104	3789113.020112
G-38	-188479.122	21271.037	-4.794	903568.910868
G-15	-188482.720	21269.725	-9.933	1872198.857760
G-3	-188506.361	21261.104	-16.670	3142401.037870
G-4	-188508.518	21253.055	-56.153	10585318.811254
G-5	-188495.628	21204.951	-54.005	10179706.390140
G-6	-188517.651	21199.050	43.913	-8278375.608363
G-7	-188530.999	21248.864	79.520	-14991985.040480
G-8	-188530.999	21278.570	29.706	-5600501.856294
G-9	-188527.815	21278.570	9.692	-1827211.582980
P-5	-188525.240	21288.262	10.109	-1905801.651160
G-56	-188524.775	21288.679	1.323	-249418.277325
G-57	-188523.909	21289.585	1.895	-357252.807555
G-58	-188523.141	21290.574	2.051	-386660.962191
G-59	-188522.477	21291.636	2.186	-412110.134722
G-60	-188521.926	21292.760	1.705	-321429.883830
P-4	-188521.694	21293.341	1.775	-334626.006850
P-3	-188518.392	21294.535	2.193	-413420.833656
P-2	-188518.827	21295.534	2.415	-455272.967205
G-47	-188518.578	21296.950	4.119	-776508.014544
G-48	-188518.003	21299.653	5.377	-1013661.302131
G-49	-188517.312	21302.327	5.316	-1002158.030592
G-50	-188516.504	21304.969	5.246	-988957.579984
G-51	-188515.581	21307.573	5.164	-973494.460284
G-52	-188514.543	21310.133	4.436	-836250.512748
G-62	-188513.686	21312.009	3.424	-645470.860864
G-63	-188509.485	21313.557	-15.280	2880424.930800
			合計	-7158.827986
			合計面積	3579.4139930
			地積	3579.41 ㎡

地番	3BL			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn=E(Yn+1-Yn-1)
G-63	-188509.485	21313.557	-5.912	1114468.075320
G-62	-188513.686	21312.009	-3.424	645470.860864
G-52	-188514.543	21310.133	-4.436	836250.512748
G-51	-188515.581	21307.573	-5.164	973494.460284
G-50	-188516.504	21304.969	-5.246	988957.579984
G-49	-188517.312	21302.327	-5.316	1002158.030592
G-48	-188518.003	21299.653	-5.377	1013661.302131
G-47	-188518.578	21296.950	-4.119	776508.014544
P-2	-188518.827	21295.534	-2.415	455272.967205
P-3	-188518.392	21294.535	-2.193	413420.833656
P-4	-188521.694	21293.341	-1.775	334626.006850
G-60	-188521.926	21292.760	-1.705	321429.883830
G-59	-188522.477	21291.636	-2.186	412110.134722
G-58	-188523.141	21290.574	-2.051	386660.962191
G-57	-188523.909	21289.585	-1.895	357252.807555
G-56	-188524.775	21288.679	-1.323	249418.277325
P-5	-188525.240	21288.262	-10.109	1905801.651160
G-9	-188527.815	21278.570	-9.692	1827211.582980
G-8	-188530.999	21278.570	0.000	0.000000
GK41	-188578.724	21278.570	1.490	-280982.298760
GK42	-188578.384	21280.060	9.565	-1803752.242960
GK43	-188583.604	21288.135	11.266	-2124582.882664
GK44	-188584.660	21291.326	5.422	-1022506.026520
GK45	-188588.169	21293.557	2.600	-490329.239400
GK46	-188592.075	21293.926	3.747	-706654.505025
GK47	-188596.246	21297.304	4.350	-820393.670100
GK48	-188599.909	21298.276	3.162	-596352.912258
GK49	-188600.445	21300.466	0.958	-180679.226310
GK50	-188595.802	21299.234	-2.467	465265.843534
GK51	-188593.689	21297.999	-5.455	1028778.573495
GK52	-188584.459	21293.779	-3.062	577445.613458
GK53	-188582.092	21294.937	7.256	-1368351.659552
GK54	-188580.169	21301.035	8.527	-1608023.101063
GK55	-188583.070	21303.464	5.778	-1089632.978460
GK56	-188582.204	21306.813	-0.524	98817.074896
GK57	-188560.868	21302.940	-11.113	2095476.926084
GK58	-188542.024	21295.700	-0.651	122740.857624
GK59	-188537.856	21302.289	28.699	-5410847.929344
G-70	-188531.511	21324.399	17.849	-3365098.939839
GK64	-188521.871	21320.138	-5.167	974092.507457
G-72	-188519.829	21319.232	-2.217	417948.460893
G-71	-188519.336	21317.921	-5.675	1069847.231800
			合計	-3600.579073
			合計面積	1800.2895365
			地積	1800.28 ㎡

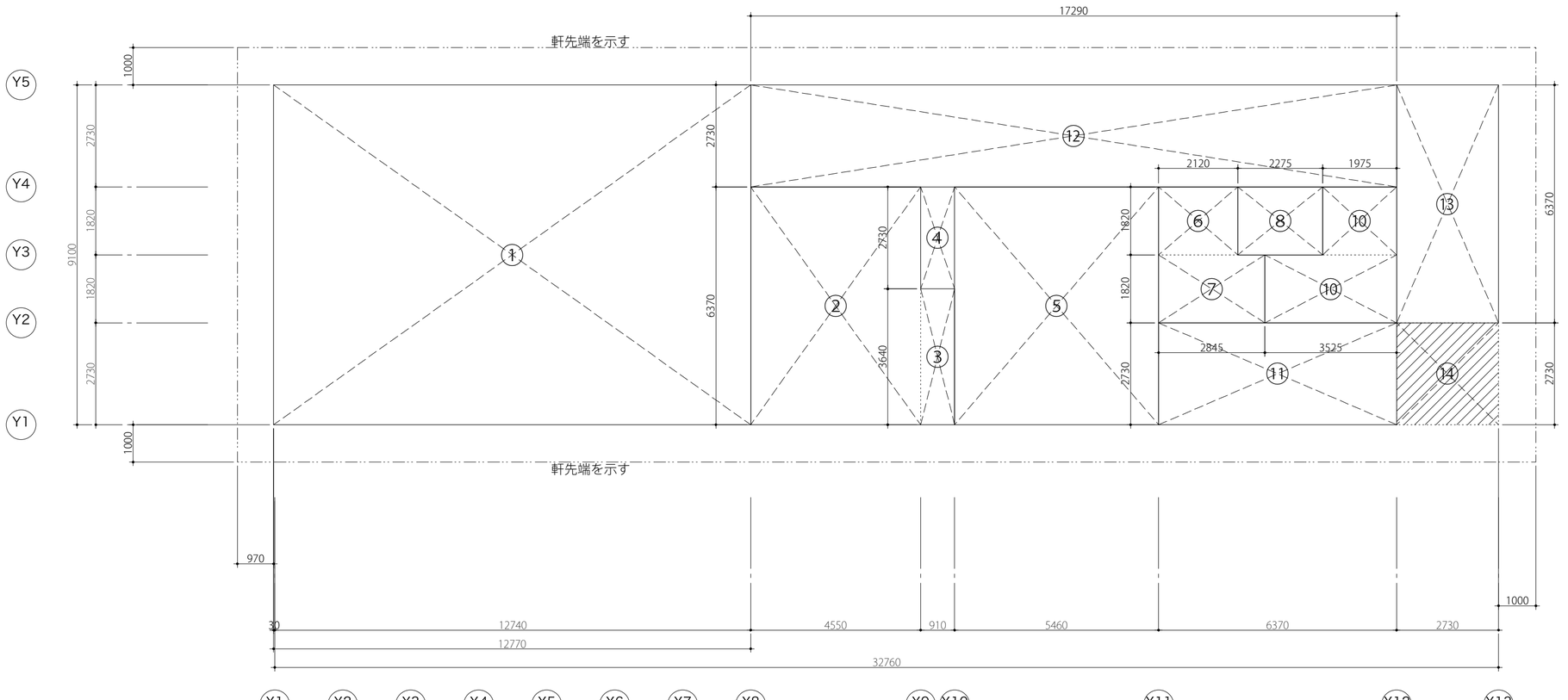
地番	4BL			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn=E(Yn+1-Yn-1)
GK1	-188460.774	21293.335	-14.302	2695365.989748
GK2	-188465.885	21280.421	-14.775	2784583.450875
GK3	-188466.607	21278.560	-16.277	3067670.962139
GK4	-188472.394	21264.144	-14.136	2664244.489344
GK5	-188477.893	21264.424	0.875	-164918.156375
G-1	-188478.110	21265.019	0.336	63328.644960
G-73	-188480.664	21264.088	4.706	-886990.004784
G-15	-188482.720	21269.725	6.949	-1309766.421280
G-38	-188479.122	21271.037	4.794	-903568.910868
G-31	-188475.578	21274.519	20.104	-3789113.020112
G-14	-188469.180	21291.141	22.210	-4185900.487800
G-13	-188471.498	21296.729	6.928	-1305730.538144
G-30	-188472.054	21298.069	-2.006	378074.940324
GK65	-188464.500	21294.723	-4.734	892190.943000
			合計	-528.118973
			合計面積	264.0594865
			地積	264.05 ㎡

地番	5BL			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn=E(Yn+1-Yn-1)
G-30	-188472.054	21298.069	-22.503	4241186.631162
G-13	-188471.498	21296.729	15.488	-2919046.561024
G-63	-188509.485	21313.557	21.192	-3994893.006120
G-71	-188519.336	21317.921	5.675	-1069847.231800
G-72	-188519.829	21319.232	-19.852	3742495.645308
			合計	-104.522474
			合計面積	52.2612370
			地積	52.26 ㎡



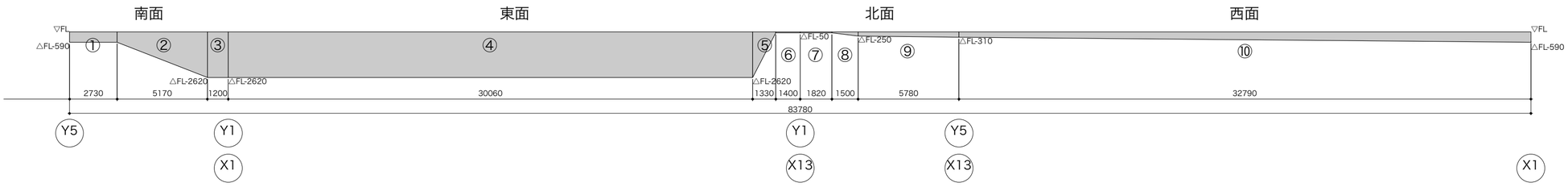
※1BL～3BLは建築基準法上の敷地境界線、敷地面積を示す。

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 敷地求積図	No A-006 / Scale 1/600
		Spirit Of Place			渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10			



面積表

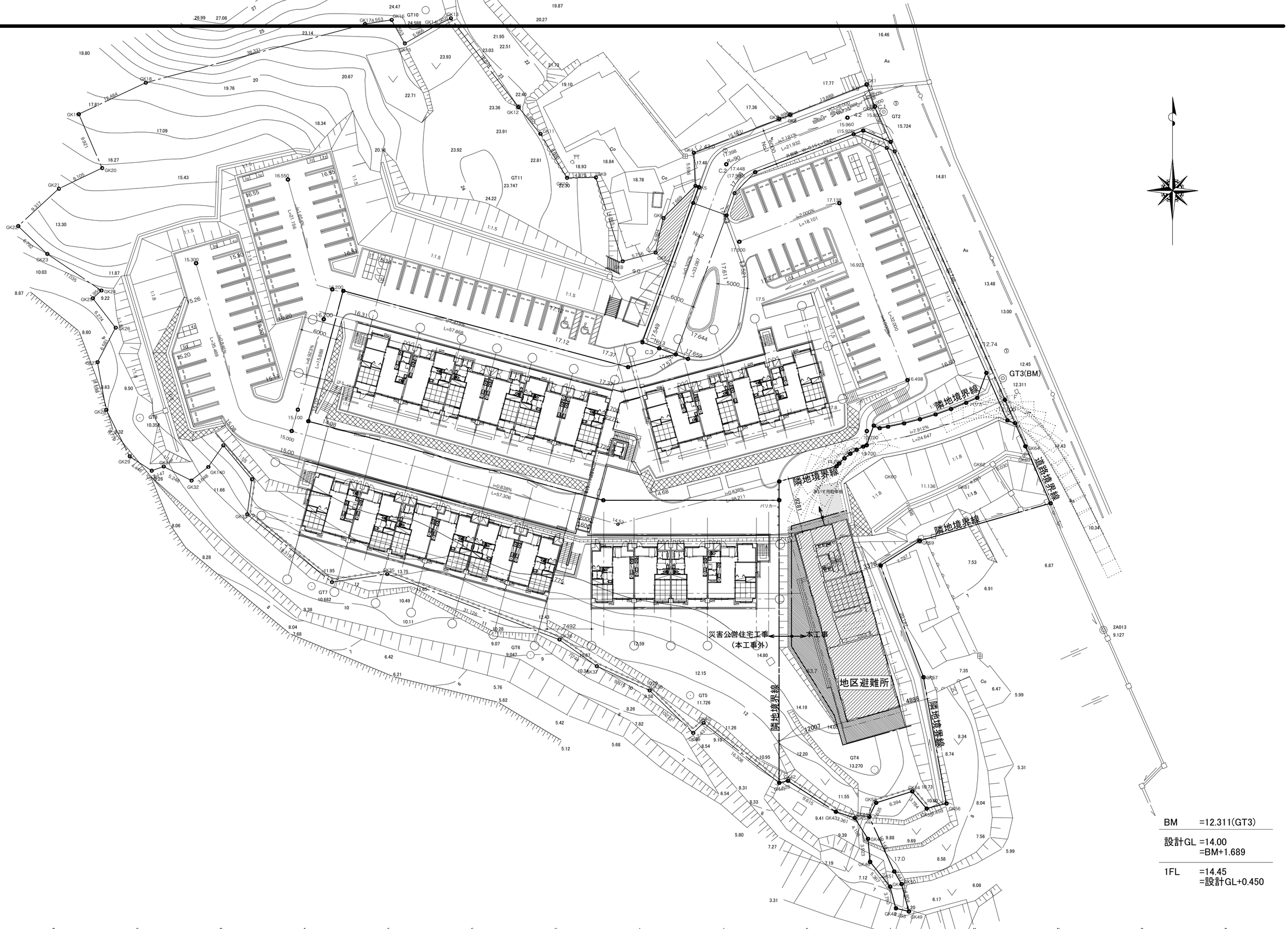
室名	符号	面積		室面積
集会室	①	12.770×9.100	116.2070	116.20
調理室	②	4.550×6.370	28.9835	
	③	0.910×3.640	3.3124	32.29
押入・収納	④	0.910×2.730	2.4843	2.48
和室	⑤	5.460×6.370	34.7802	34.78
女子便所	⑥	2.120×1.820	3.8584	
	⑦	2.845×1.820	5.1779	9.03
多目的便所	⑧	2.275×1.820	4.1405	4.14
男子便所	⑨	1.975×1.820	3.5945	
	⑩	3.525×1.820	6.4155	10.01
倉庫	⑪	6.370×2.730	17.3901	17.39
ホール	⑫	17.290×2.730	47.2017	47.20
多目的玄関	⑬	2.730×6.370	17.3901	17.39
寄り付き	⑭	2.730×2.730	7.4529	7.45
延べ面積	①〜⑭		298.3890	298.38㎡
建築面積	①〜⑭		298.3890	298.38㎡



平均地盤面算定

室名	符号	面積	
南面	①	0.590×2.770	1.610700
	②	(0.590+2.620)×5.170÷2	8.297850
	③	2.620×1.200	3.144000
東面	④	2.620×30.060	78.757200
	⑤	(2.620+0.050)×1.330÷2	1.775550
	⑥	0.050×1.400	0.070000
北面	⑦	0.050×1.820	0.091000
	⑧	(0.050+0.250)×1.500÷2	0.225000
	⑨	(0.250+0.310)×5.780÷2	1.618400
西面	⑩	(0.310+0.590×32.790÷2	14.755500
合計面積			110.345200
		110.3452÷83.780	1.3170
平均地盤面			FL-1.317m

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 各室面積表・平均地盤面算定	No A-007 / Scale 1/100 1/200



備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築および環境整備工事 / 図面名称 敷地全体図 / No A-008 / Scale 1/400

災害公営住宅

隣地境界線

外構別途工事

外構本工事

<<U字側溝：災害公営住宅工事>>

ひろば
OF-3

63.7

縁側
OF-2

屋根
OR-1

棟換気笠木（A-025図 ED-3）

棟笠木（A-025図 ED-6）

ED-6 ED-3

ED-3 ED-6

1500

FL+2,400

FL+5,730

FL+4,065

転落防止手すり

雪止め

内樋

軒先端を示す

本工事

別途工事

アプローチ
OF-3

シンボルツリー用地
客土(t900)

<<モルタル吹付法面保護：造成工事>>

<<排水側溝：造成工事>>

<<ブロック積擁壁：造成工事>>

21.685

20.187

32760

12740 4550 910 5460 6370 2730 1000

1000 2730 1820 9100 1820 2730 1000

1:1.8

i=8.0%

i=0.838%

L=38.211

L=24.6

i=7.912

14.200

13.700

13.700

11.098

GK57 GK59 GK60

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13

Y1 Y2 Y3 Y4 Y5

駐輪場A

駐輪場

N

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 配置図・屋根伏図	No A-009 / Scale 1/100

本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。　　凡例・共通事項・材料表に記載の事項は本表以外の設計図にも適用する。

仕上凡例

床	RC型	コンクリート型枠外しのまま(C種)		M	モルタル下地	塗料	DP	耐候性塗料塗り(フッ素樹脂塗料)
壁	RC化	コンクリート化粧打放し(A種)		PC壁	プレキャストコンクリート		CL	クリアクラッカー
天井	RC直	コンクリート金ゴテ押さえ	巾木				UC	ウレタンワニス
	MK	モルタル金ゴテ押さえ	天井見切	V	ビニル見切り縁		OS	オイルステン・アルコール溶性着色剤
	CB	軽量コンクリートブロック		W	木製見切り縁 OP		WS	水性ステイン
	CT	コンポジションビニル床タイル(半硬質)					WP	木材保護塗装(外部用)
	CTS	コンポジションビニル床タイル(軟質)	防水	S防水	合成樹脂シート防水		木材保護塗装	木材保護塗装(内部用)
	NC	ビニル床シート		M防水	モルタル防水			
	DR	岩綿吸音板				吹付材料	C−T	セメント系薄付け仕上げ塗材(外装薄塗材C)
	GB−R	石膏ボード(不燃)	塗料	EP	合成樹脂エマルジョンペイント (汚染防止用特殊アクリル樹脂塗装)		E−T	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(複層塗材E)
	GB−S	シージング石膏ボード(不燃)					RE	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (複層塗材RE凸部処理仕上)
	GB−T	化粧石膏ボード トラバーチン模様		EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント			
	GB−R−H	普通硬質石膏ボード(不燃)		SOP	合成樹脂調合ペイント		RS−T	合成樹脂溶液系複層仕上塗材(複層塗材RS)
	GB−F	強化石膏ボード		VP	塩化ビニル樹脂エナメル		DB	断熱ボード
				U−BE	ウレタン樹脂エナメル(焼付型)			
	FB	フレキシブルボード		PE	フタル酸樹脂エナメル			
	FK	ケイ酸カルシウム板		FU	フッ素樹脂塗料(常温型)			
	吹付R	吹付けロックウール		OC	オイルフィニッシュ			

不燃材料等一覧表

名 称(符号)	品質・規格・寸法など	認定番号	名 称(符号)	品質・規格・寸法など	認定番号
石膏ボード	t12.5mm,15mm,21mm	NM−8619	有孔石膏ボード	t9.5mm　t12.5mm	QM−9827
不燃化粧石膏ボード	t9.5mm	NM−8613	ロックウール吸音板(岩綿吸音板)	t12mm	NM−9972
石膏ボード(準不燃石膏ボード)	t9.5mm,12.5mm	QM−9828	ロックウール保温材(岩綿保温板)	(1,2,3,4号)	NM−8600
化粧石膏ボード(準不燃化粧石膏ボード)	t9.5mm	QM−9824	吹付岩綿		NM−8601
シージング石膏ボード	t9.5mm　t12.5mm	QM−9826	繊維混入けい酸カルシウム板	(1,2,3,4号)	NM−8578
普通硬質石膏ボード(不燃)	t9.5mm,12.5mm	NM−9645	塗料 EP,VP,OP		NM−8585
強化石膏ボード	12.5mm,15.0mm,21.0mm	NM−8615	ガラス繊維ネット入／セメントモルタル板	t12.5mm	NM−2083
不燃石膏吸音ボード(スクエア柄)	t9.5mm	NM−0879			

共通事項

下記事項は共通とし指示がなくとも適用する。
但し異なる指示のある場合を除く。

【鉄筋コンクリート工事】

- 躯体床レベルは仕上表による。
- 見掛り部コンクリート壁・柱の増打ち寸法は、外部25mm,内部10mmを基本とする。
  また、型枠緊結金物はコーン付きのものとし、コーン跡は既成セメント系充填用コーンを樹脂ノロにて充填する。
  不良箇所はすみやかに、ケレン及びモルタル補修を行う。
  見掛り部スラブ下・梁下については、目地を設置する場合は、25mm増打ちとし、それ以外は10mm増打ちを基本とする。
- コンクリート化粧打放し仕上の増打ちは内外とも25mmとし、型枠緊結金物の処理は前記に従う。
  軒天・スラブ下・梁下については、水切り目地等を設ける場合は増打ち25mmとし、それ以外は10mmとする。
  ウレタン樹脂塗装型枠(新品)t12を使用し、施工計画割付け図作成のこと。
- コンクリート打放し面の補修
  不陸2.0mm／M以内とする。化粧打放し面の補修は、吉田ニチエー式、又は再打設とする。
  ただし、補修個所と方法については事前に監督員と協議すること。
- コンクリート化粧打放し面には化粧(伸縮)目地を設けること。@3600程度
- コンクリート壁にはコンクリート化粧打放し面を除き、隠し目地(シールの上、パテ処理)を約@5000内外でとること。
- コンクリート壁にはコンクリート打放しの壁・柱コーナー部はピン角を基本とするが、人が衝突する可能性のある部分は、監督員と協議の上、コーナーをとるなどの対処を施すこと。

【鉄骨工事】

- 外部に使用する部材は溶融亜鉛メッキを施すこと。

【防水工事】

- 室内防水押え等のコンクリートには溶接金網(6.0φ 100□)を打ち込む。
- 外壁に取り付ける金物雨掛かり部周囲は、シール材(特記無き限りSR−2)を充填する。

【金属工事】

- 内外部に使用するステンレスは、特記無き限りSUS304とする。(ステンレス流しも含む)
- ステンレス金物はヘアーライン仕上を原則とし、鏡面仕上げの場合800#程度とする。
- 床の仕上材の異なる部分には、特記無き限りステンレスFB−6×32を使用する。

【左官工事】

- コンクリート直押えはコンクリート打設時に特記無き限り金ゴテ押えとする。但し仕上げ厚さは仕上げ及びコンクリートの増打ちで合計10mmとする。

【塗装工事】

- 壁面の塗装はローラー仕上げとする。
- 天井の塗装はローラー仕上げとする。
- サッシ額縁、木枠、木建枠の塗装はSOPを基本とする。

【内装工事】

- 床仕上げレベルは仕上表による。
- ビニルシート等は樹脂ワックス仕上げを行う。
- ボード張り、石膏プラスターのコーナー部はコーナービートを使用する。
- 天井岩綿吸音板の下張りは石膏ボードt9.5(不燃材)とする。
- 特記無き限り異種材取合い部は、目透かし処理をすること。
- 化粧石膏ボード(スクエア柄、トラバーチン柄)は、910×910を使用し、イモ目地貼りとする。

【その他】

- 建材・内装材・家具類等でホルムアルデヒドの放出を伴う材料については、監督員に資料を提出し、確認を受けること。
- 建材・内装材・家具類等については基本的に F☆☆☆☆以上のものを使うこと。
- 接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性のものとする。

記号表

区分	記号	名 称	区分	記号	名 称
床	F-1	鉱物骨材配合散布型美装床仕上げ材 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え	天井	C-1a	EP GB-R(t9.5+9.5)下地
	F-2a	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(t2.0) 捨張り合板(t5.5) 構造用合板(t24) 木下地		C-1b	EP 石膏吸音ボード(t9.5)+GB-R(t9.5)下地
	F-2b	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(t2.0)(抗菌・耐尿汚染仕様) 捨張り合板(t5.5) 構造用合板(t24) 木下地		C-2a	化粧石膏ボード(トラバーチン柄)(t9.5)
	F-3a	ラワン合板(t12) 下地構造用合板(t24) 木下地		C-2b	化粧石膏ボード(木目柄)(t9.5)
	F-3b	複層フローリング(t12)(ガラスコーティング品)下地構造用合板(t24) 木下地		C-3	EP-G GB-R(t9.5+9.5)下地
	F-4	畳敷き(t55) 下地構造用合板(t24) 木下地			
巾木	H-1	木製巾木 SOP　H-2 ビニルソフト巾木　H-3 タタミ寄せ　H-4 雑巾摺り			
壁	W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地			
	W-2	抗菌ポリエステル化粧ケイ酸カルシウム板 (t6.0)(シール工法)GB-S(t12.5)下地			
	W-3	化粧石膏ボード(木目調)(t12.5)			
	W-4	掲示用クロス 構造用合板(t12+9)下地			
	W-5	EP-G GB-R(t12.5+9.5)下地			

外部仕上表

区分	部位	記号	仕上	区分	部位	記号	仕上
屋根	一般	OR-1	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板(カラー)(t0.4) 長尺立平葺	断熱材	屋根		押出し法ポリスチレンフォーム保温板(1種)(t50)※集会室部分のみ(t70)
			アスファルトルーフィング(t1.0) GB-S(t9.5) 木毛セメント板(t15) 垂木				
			構造用合板(t12)　(木下地)		外壁		現場発泡ウレタン(ノンフロン)吹付 (t40) ※集会室部分のみ(t50)
					床下		押出し法ポリスチレンフォーム保温板(1種)(t50)
							注記:現場発泡ウレタン(ノンフロン)吹付けは経時熱伝導率(23℃)の改正JIS A9526
							基準値0.034W/mKを用いた厚みとする。
				外部建具	アルミサッシュ		シルバーツヤ消し処理 陽極酸化複合被膜(B−1) 9μ+7μ
					スチールドア		内部 SOP塗装 外部 DP塗装
軒天	一般	OC-1	ケイカル板(t8) 目透し貼 EP 木下地	ガラス	ガラス		複層ガラス
		OC-2	木毛セメント板(野地板表し) EP				
				笠木	水切り		アルミ製、t=2.0
外壁	立面図に図示の部分	OW-1	無機有機特殊ポリマーセメント薄付仕上材 ガラス繊維ネット入／セメントモルタル板(t12.5)	雑金物	軒樋	勾配屋根	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板製　内樋、落ち葉対策ネット
			通気胴縁(t21) 透湿防水シート 構造用合板(t9) (木下地)				
		OW-2	コンクリート化粧打放し(A種) アクリルシリコン塗装		竪樋		フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板製　75A
		OW-3	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板(カラー)(t0.4) 平葺				
			構造用合板(t12) 通気胴縁(t21) 透湿防水シート 構造用合板(t9) (木下地)				内部防露巻き
						共通	第一桝 建築工事　外構桝接続まで建築工事
							※第一桝が工区外の場合、タテ樋第一桝接続までは本工事とする
外部床	寄り付き	OF-1	鉱物骨材配合散布型美装床仕上げ材 コンクリート金ゴテ押え				
	縁側	OF-2	再生木デッキ(t25)(鋼製束・根太)				
	ひろば	OF-3	カラーアスファルト舗装				
	犬走り	OF-4	コンクリート金ゴテ押え 伸縮目地@3000		転落防止手すり		スチール 溶融亜鉛メッキ処理(仕上げ塗装は詳細図による)
							(熱伸縮対策として、@9000内外でエキスパンションを設けること)

備考

Spirit Of Place
関・空間設計
宮城県知事登録 第11X10168 号

管理建築士
一級建築士　渡邉 宏
登録第152538 号

承認	調査	設計	設計年月	全葉
渡邉	木皿	斎藤・八島	H.25.10	

工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No.	A - 010
図面名称	外部仕上表	Scale	

内部仕上表

位置	室名	(記号)	床	仕上レベル	(記号)	巾木	(高さ)	(記号)	壁	見切縁	(記号)	天井	天井高	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	暗幕ﾚｰﾙ	横ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ付	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ	備考
1階	多目的玄関	F-1	鉱物骨材配合散布型美装床仕上げ材 コンクリート下地	FL=±0	H-1	木製巾木 SOP	H=40	W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地	V	C-1a	EP GB-R(t9.5+9.5) 木下地	2400						SUS床見切、下足棚
		F-3b	複合フローリング(t12) 下地構造用合板(t24) 木下地	~-30			~-70	W-4	掲示用クロス 構造用合板(t12+9)下地										木製手すり
			ガラスコーティング品																
	ホール	F-3b	複合フローリング(t12) 下地構造用合板(t24) 木下地	FL=±0	H-1	木製巾木 SOP	H=40	W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地	V	C-1a	EP GB-R(t9.5+9.5) 木下地	2400	○					木製手すり
	(災害時受付事務・広報スペース)		ガラスコーティング品					W-4	掲示用クロス 構造用合板(t12+9)下地										
	倉庫	F-2a	ビニル床シート(t2.0) 捨て張り合板(t5.5) 木下地	FL=-30	H-2	ビニルソフト巾木	H=40	W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地	V	C-2a	化粧石膏ボード(トラバーチン柄)t9.5 木下地	2400						棚
			下地構造用合板(t24)																
	男子便所	F-2b	ビニル床シート(t2.0)(抗菌・耐尿汚染仕様) 木下地	FL=±0	H-2	ビニルソフト巾木	H=40	W-2	抗菌ポリエステル化粧ケイ酸カルシウム板(t6.0) GB-S(t12.5)下地	V	C-2a	化粧石膏ボード(トラバーチン柄)t9.5 木下地	2400						L型手すり、小便器用手すり、洗面化粧台
			捨て張り合板(t5.5) 下地構造用合板(t24)																
	多目的便所	F-2b	ビニル床シート(t2.0)(抗菌・耐尿汚染仕様) 木下地	FL=±0	H-2	ビニルソフト巾木	H=40	W-2	抗菌ポリエステル化粧ケイ酸カルシウム板(t6.0) GB-S(t12.5)下地	V	C-2a	化粧石膏ボード(トラバーチン柄)t9.5 木下地	2400						L型手すり、可動手すり、ベビーベッド
			捨て張り合板(t5.5) 下地構造用合板(t24)																
	女子便所	F-2b	ビニル床シート(t2.0)(抗菌・耐尿汚染仕様) 木下地	FL=±0	H-2	ビニルソフト巾木	H=40	W-2	抗菌ポリエステル化粧ケイ酸カルシウム板(t6.0) GB-S(t12.5)下地	V	C-2a	化粧石膏ボード(トラバーチン柄)t9.5 木下地	2400						L型手すり、洗面化粧台
			捨て張り合板(t5.5) 下地構造用合板(t24)																
	和室(救護室兼仮眠室)	F-4	畳敷き(t55) 下地構造用合板(t24) 木下地	FL=±0	H-3	畳寄せ		W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地	V	C-1b	EP 石膏吸音ボード(t9.5)+GB-R(t9.5) 木下地	2400	○					
	押入	F-3a	ラワン合板(t12) 下地構造用合板(t24) 木下地	FL=±0	H-4	雑巾刷り		W-3	化粧せっこうボード(木目調)(t12.5)	V	C-2b	化粧石膏ボード(木目調)t9.5 木下地	2400						棚
	調理室	F-2a	ビニル床シート(t2.0) 捨て張り合板(t5.5) 木下地	FL=±0	H-2	ビニルソフト巾木	H=40	W-2	抗菌ポリエステル化粧ケイ酸カルシウム板(t6.0) GB-S(t12.5)下地	V	C-3	EP-G GB-R(t9.5+9.5) 木下地	2450	○					流し台・コンロ台・吊り戸棚、食器棚
			下地構造用合板(t24)					W-5	EP-G GB-R(t12.5+9.5)下地										
	集会室	F-3b	複合フローリング(t12) 下地構造用合板(t24) 木下地	FL=±0	H-1	木製巾木 SOP	H=40	W-1	EP GB-R(t12.5+9.5)下地	V	C-1b	EP 石膏吸音ボード(t9.5)+GB-R(t9.5) 木下地	2645~5376	○					
			ガラスコーティング品									梁現し部分:木材保護塗装	平均3874						

備考											
	関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第152538 号	承認 渡邉	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H.25.10	全業	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No. A-011
									図面名称	内部仕上表	Scale

災害公営住宅

隣地境界線

<<U字側溝：災害公営住宅工事>>

外構別途工事

本工事

ひろば
OF-3

縁側
OF-2
FL-10

縁側
OF-2

集会室
(116.20㎡)
F-3b
FL±0

ホール（災害時受付事務・広報スペース）
(47.20㎡)
F-5c
FL±0

調理室
(32.29㎡)
F-2a
FL±0

和室（救護室兼仮眠室）
(34.78㎡)
F-4
FL±0

押入
F-3a
FL±0

女子便所
(9.03㎡)
F-2b
FL±0

多目的便所
(4.14㎡)
F-2b
FL±0

男子便所
(10.01㎡)
F-2b
FL±0

多目的玄関
(17.39㎡)
F-1

倉庫
(17.39㎡)
F-2a
FL-30

多目的スペース付き
OF-1

アプローチ

シンボルツリー用地
客土(t900)

転落防止手すり

<散水栓：機械設備工事>

SUS丸環（縁側床下設置）

木製手すり

下足棚

流し台

コンロ台

食器棚

<<冷蔵庫>>

駐輪場

<<モルタル吹付法面保護：造成工事>>

<<排水側溝：造成工事>>

延焼のおそれのある範囲

床下点検口　600×600 アルミ目地

プロパンボンベ基礎 800×400×100

駐輪場A

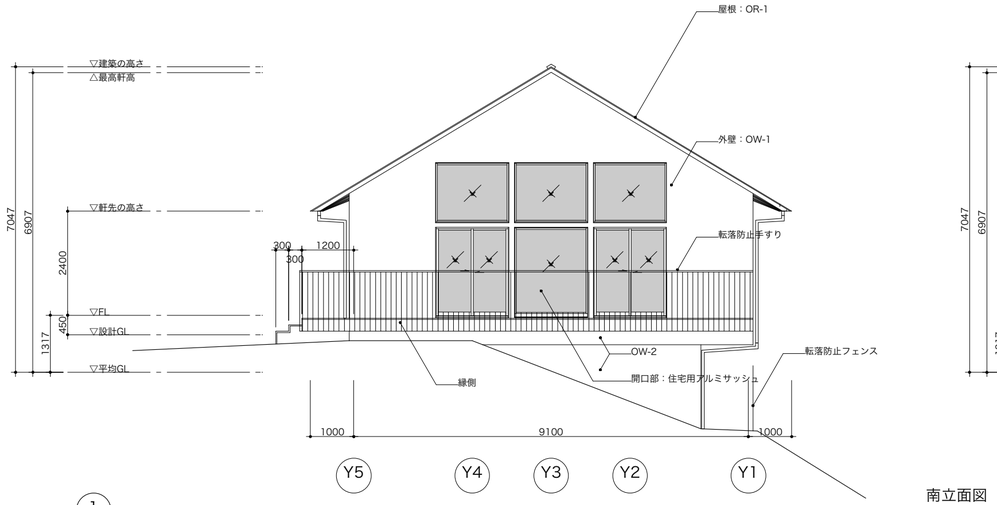
FL-715
FL-667
FL-450
FL-435
FL-380
FL-310
FL-2620
FL±0
FL-30
FL-50
FL-100

縁側下の接地高さFL-590
縁側下の接地高さFL-590
縁側下の接地高さFL-2620

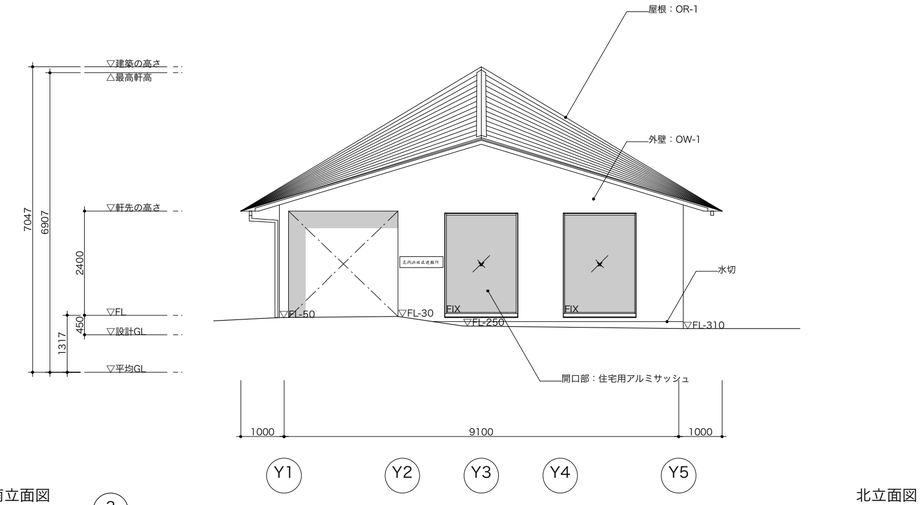
L=38.211
i=0.838%
i=8.0%
i=7.912
L=24.6

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉

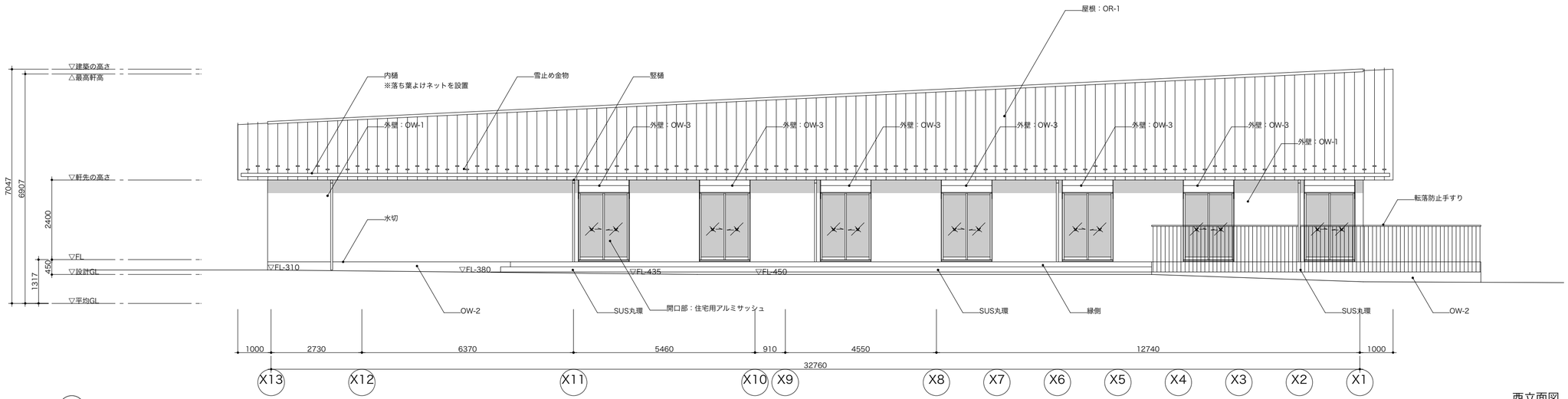
工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-012
図面名称	平面図	Scale	1/100



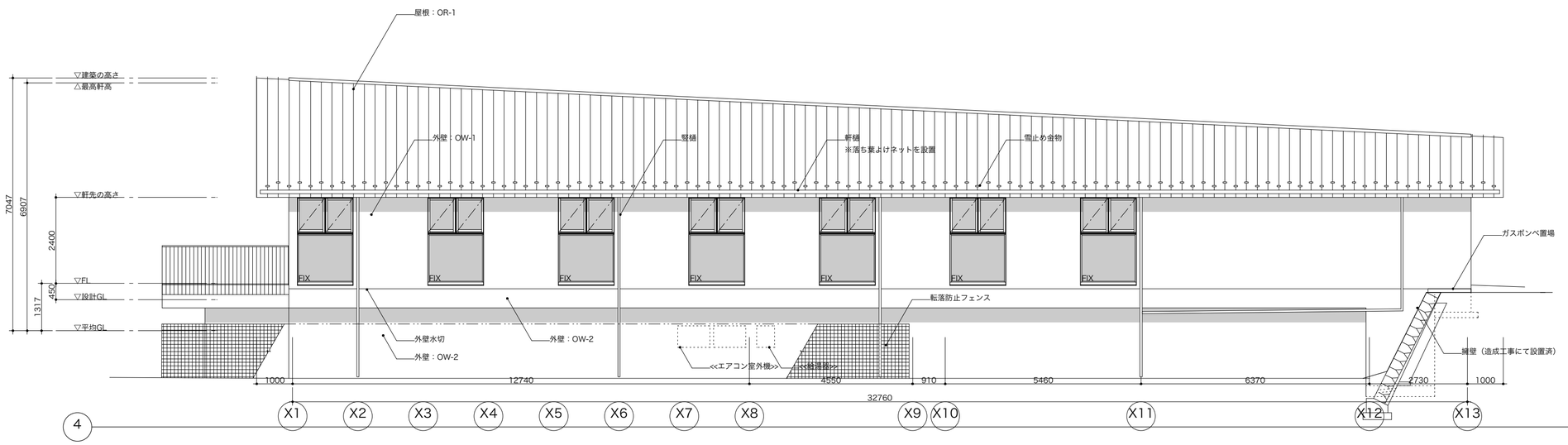
1 南立面図



3 北立面図



2 西立面図

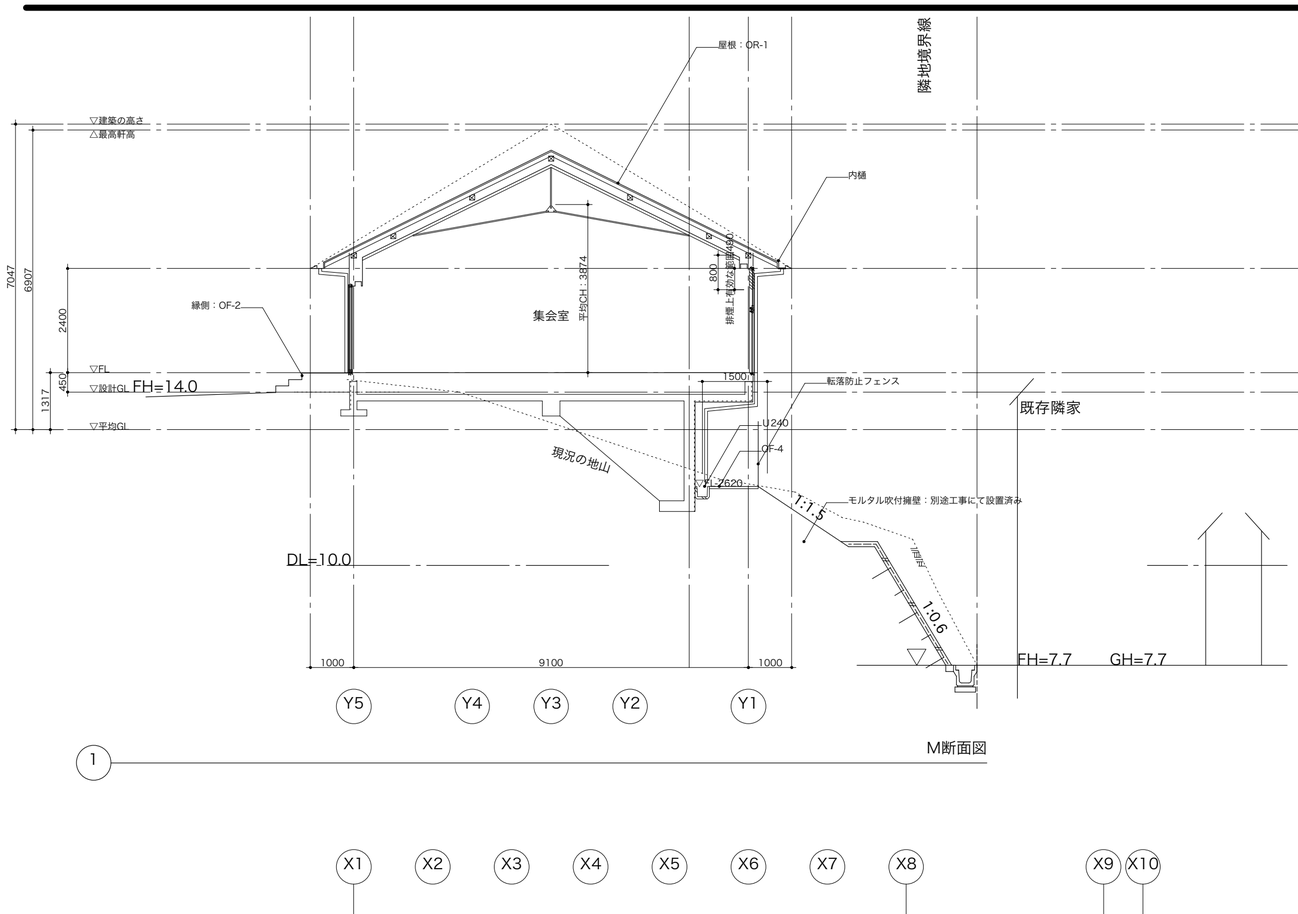


4 東立面図

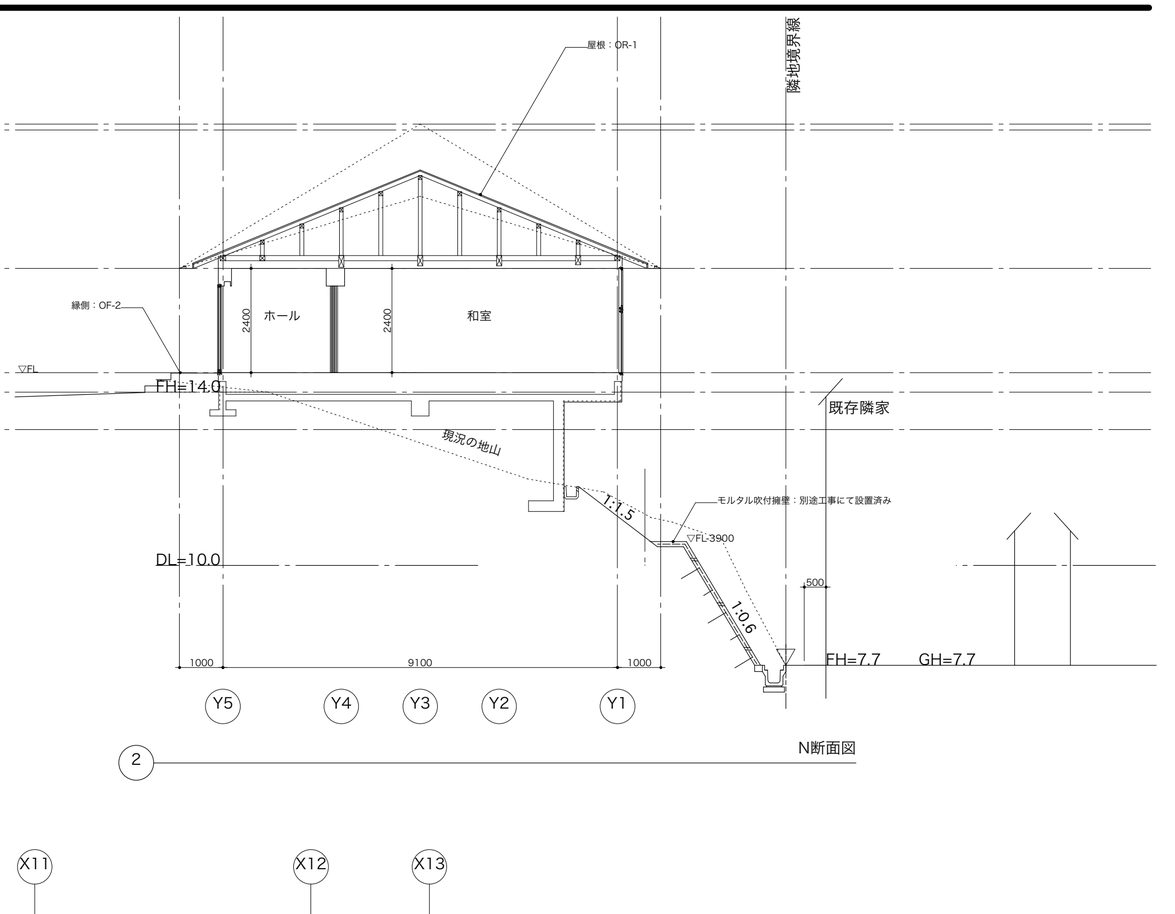
備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
									図面名称	立面図

No A-013

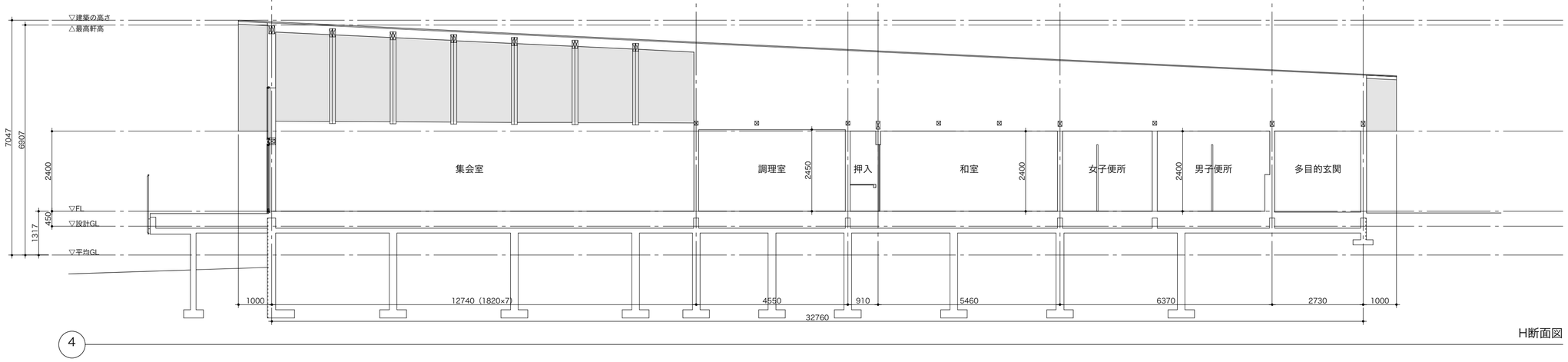
Scale 1/100



1 M断面図

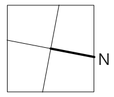


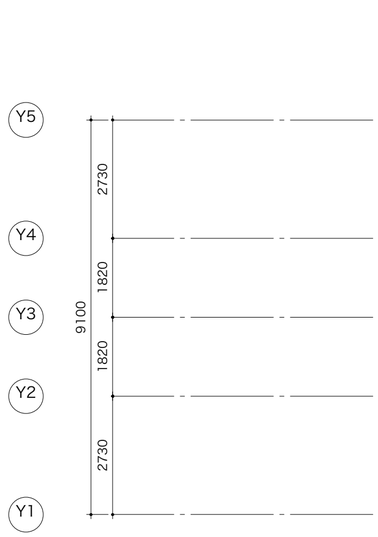
2 N断面図

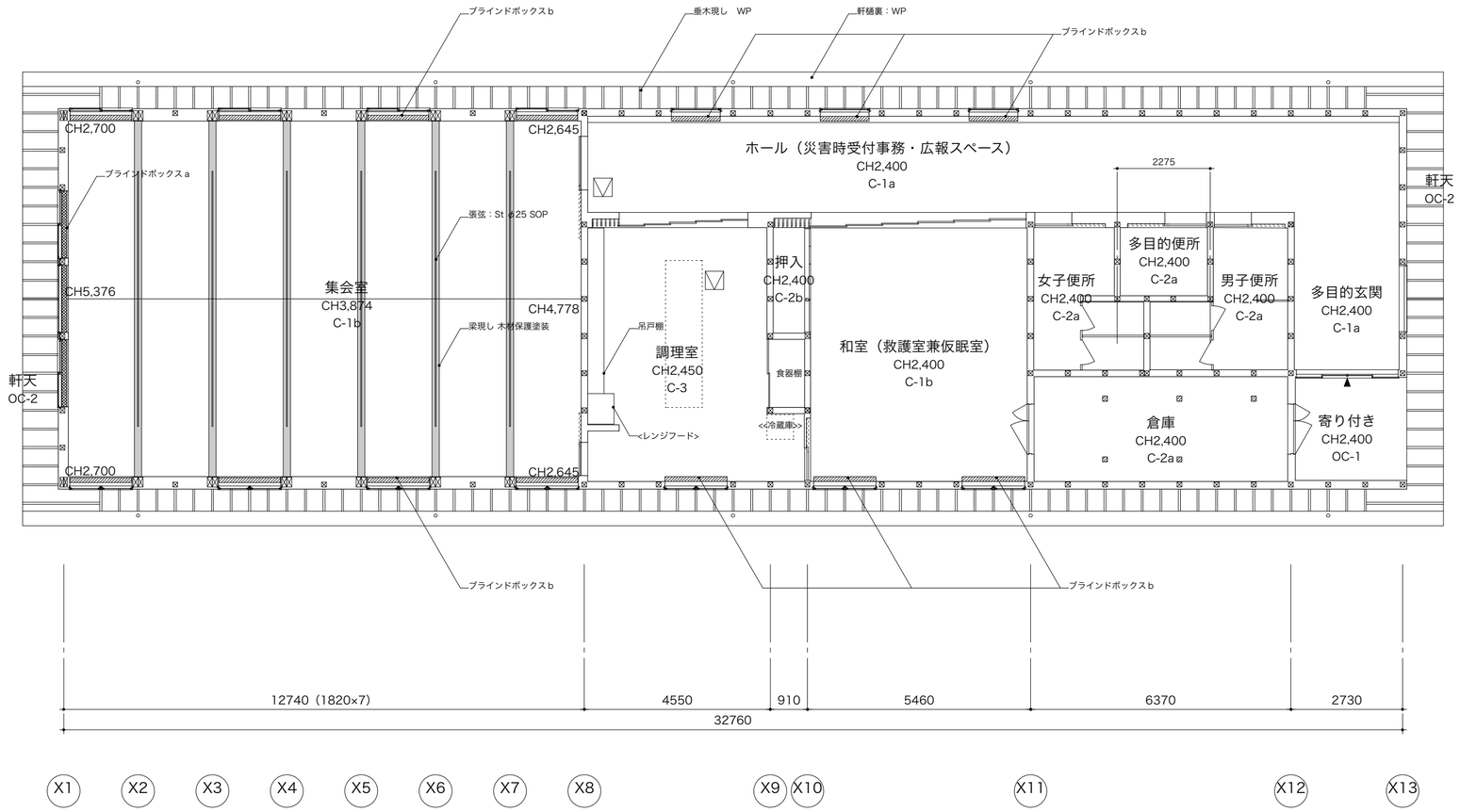


4 H断面図

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 断面図	No A-014 / Scale 1/100

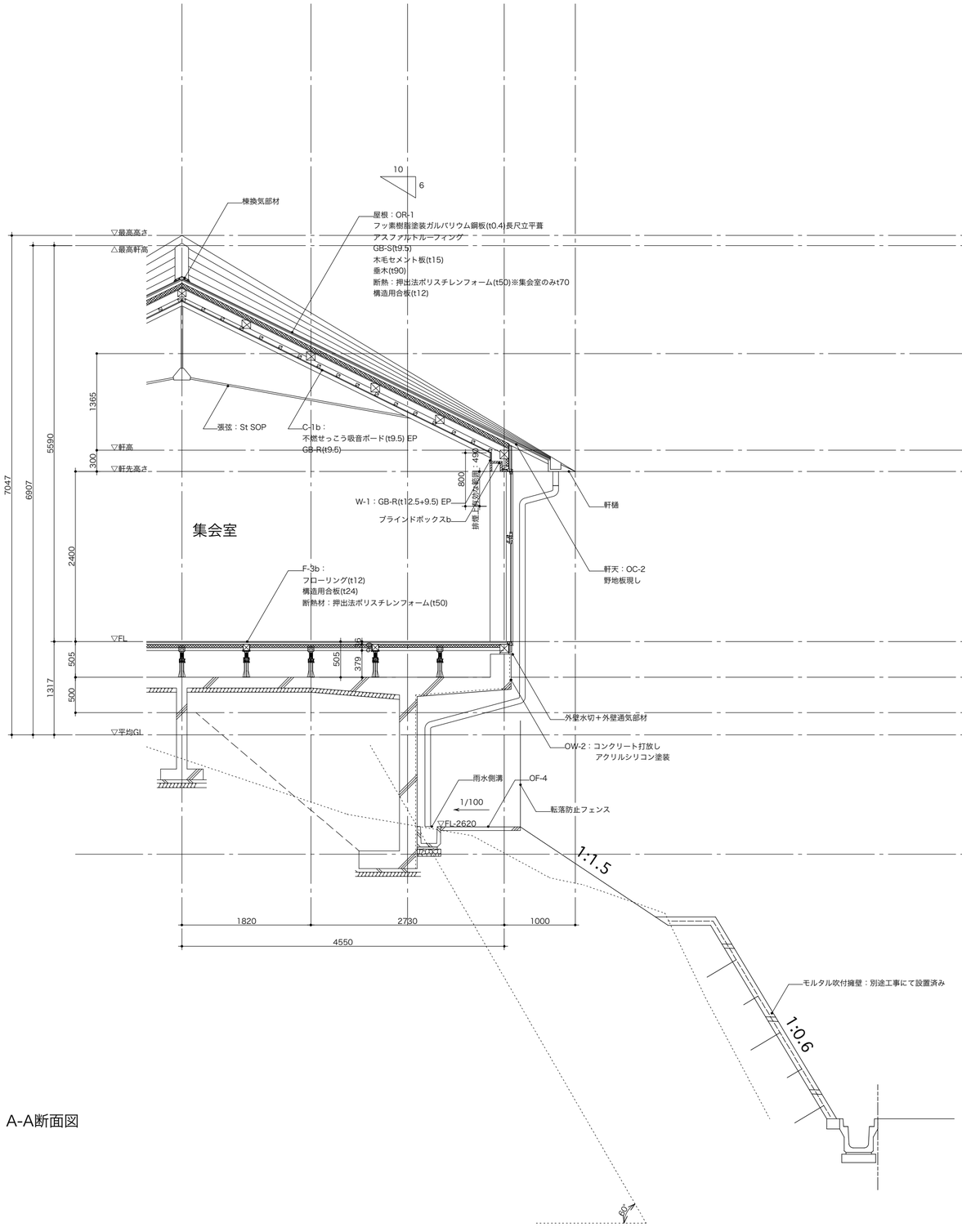




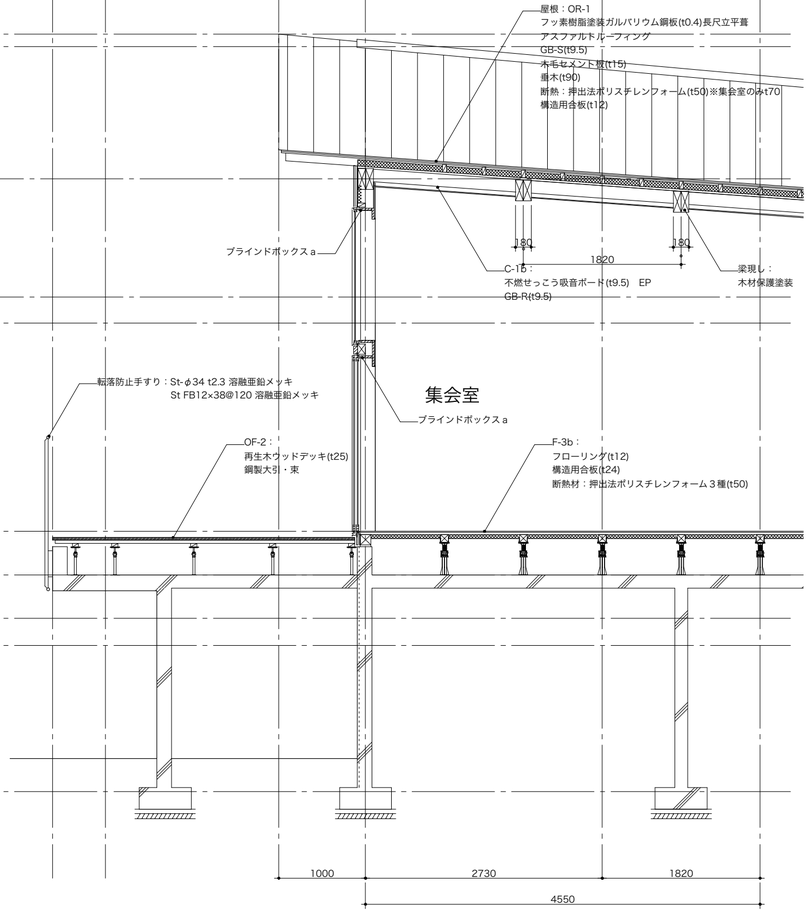


▽ 天井点検口　□450×450

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡辺 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-015
					渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10		図面名称	天井伏図	Scale	1/100

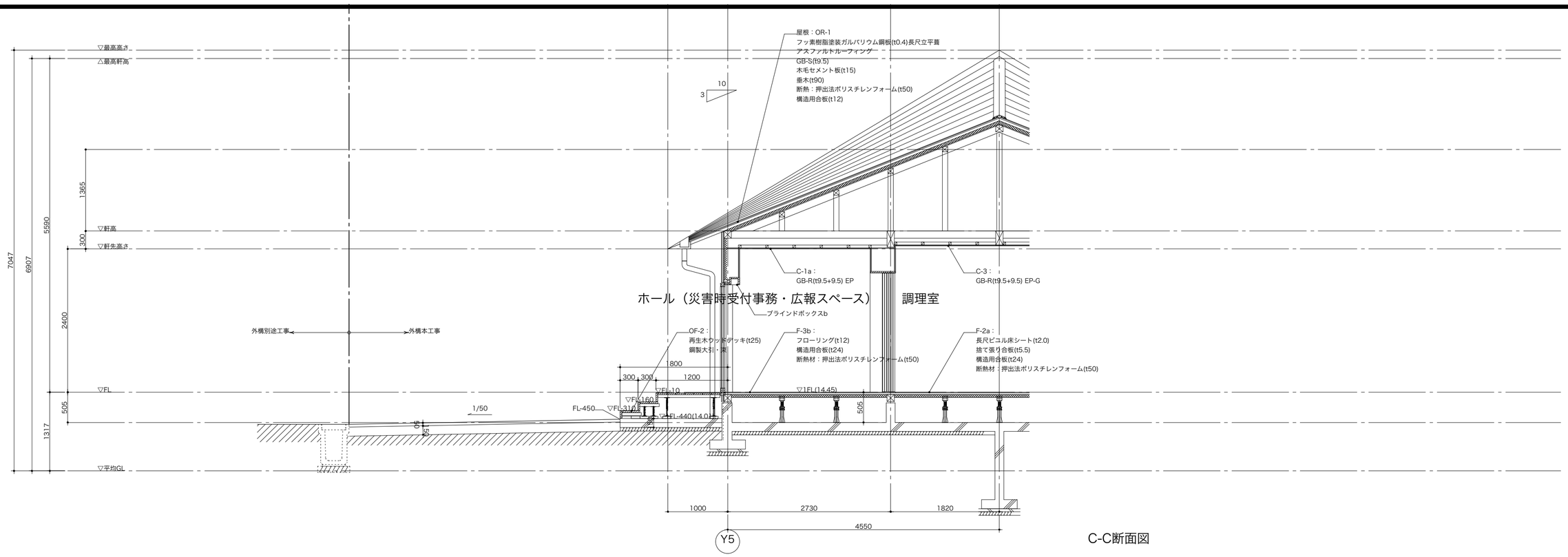


A-A断面図

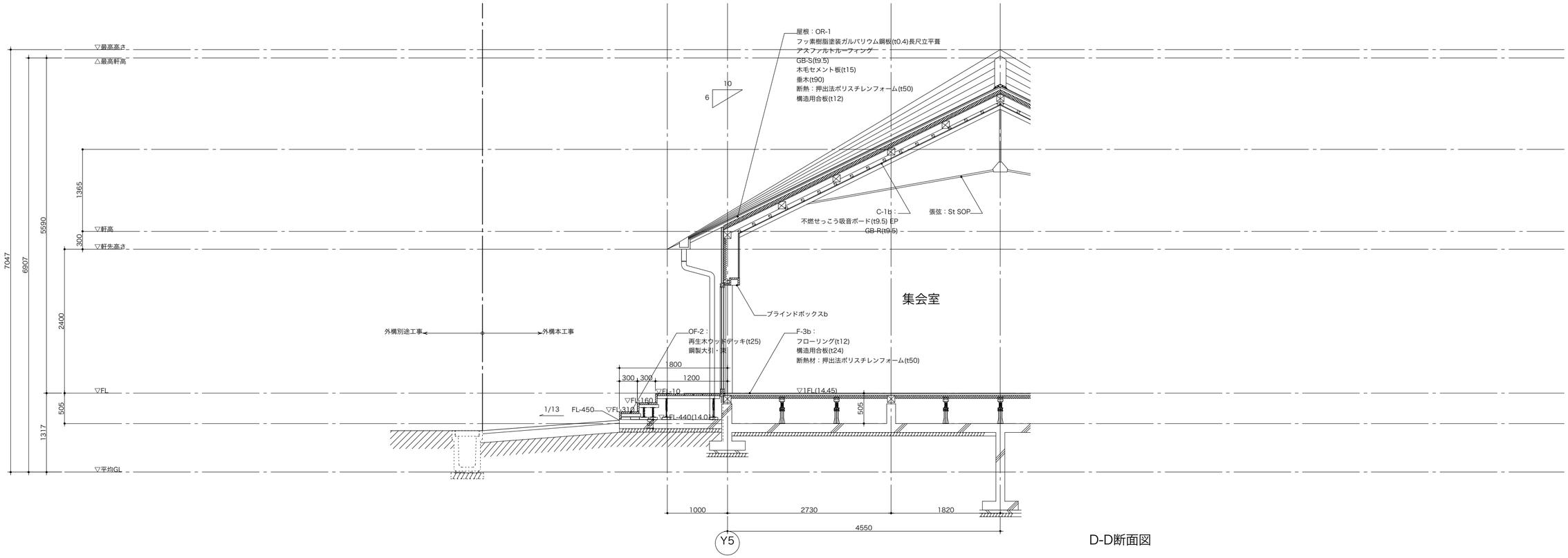


B-B断面図

備考	Spirit Of Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-016
										図面名称	矩計図(1)	Scale	1/50

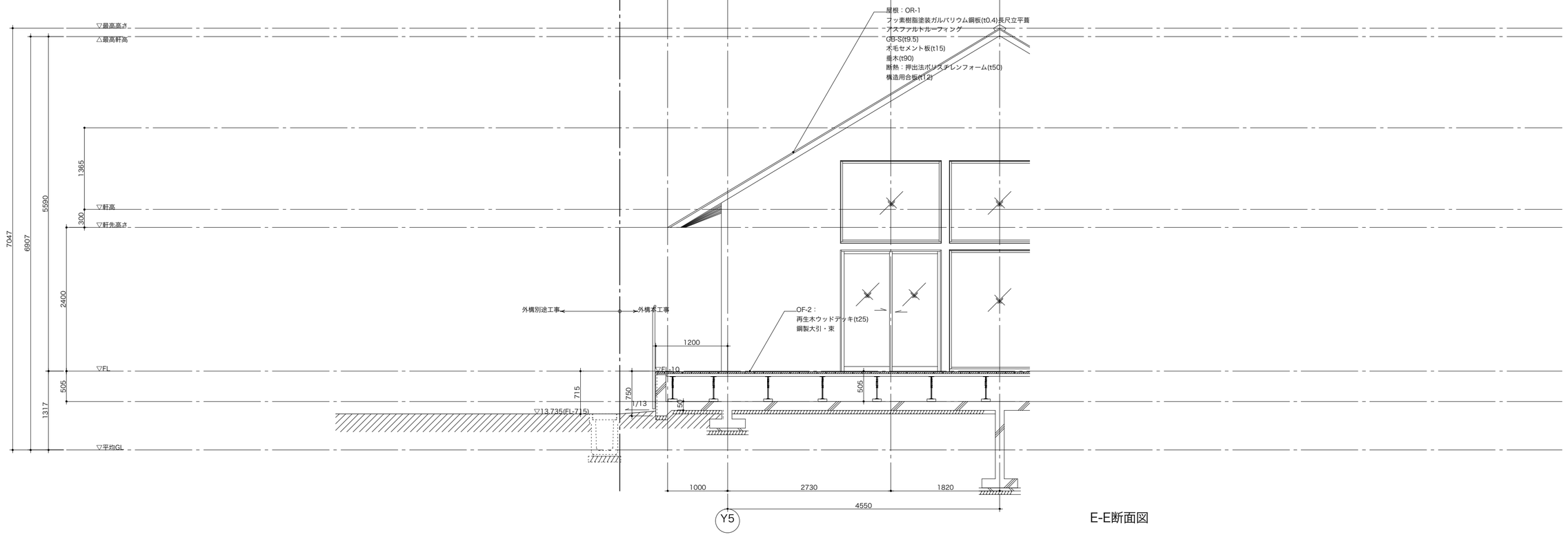


C-C断面図



D-D断面図

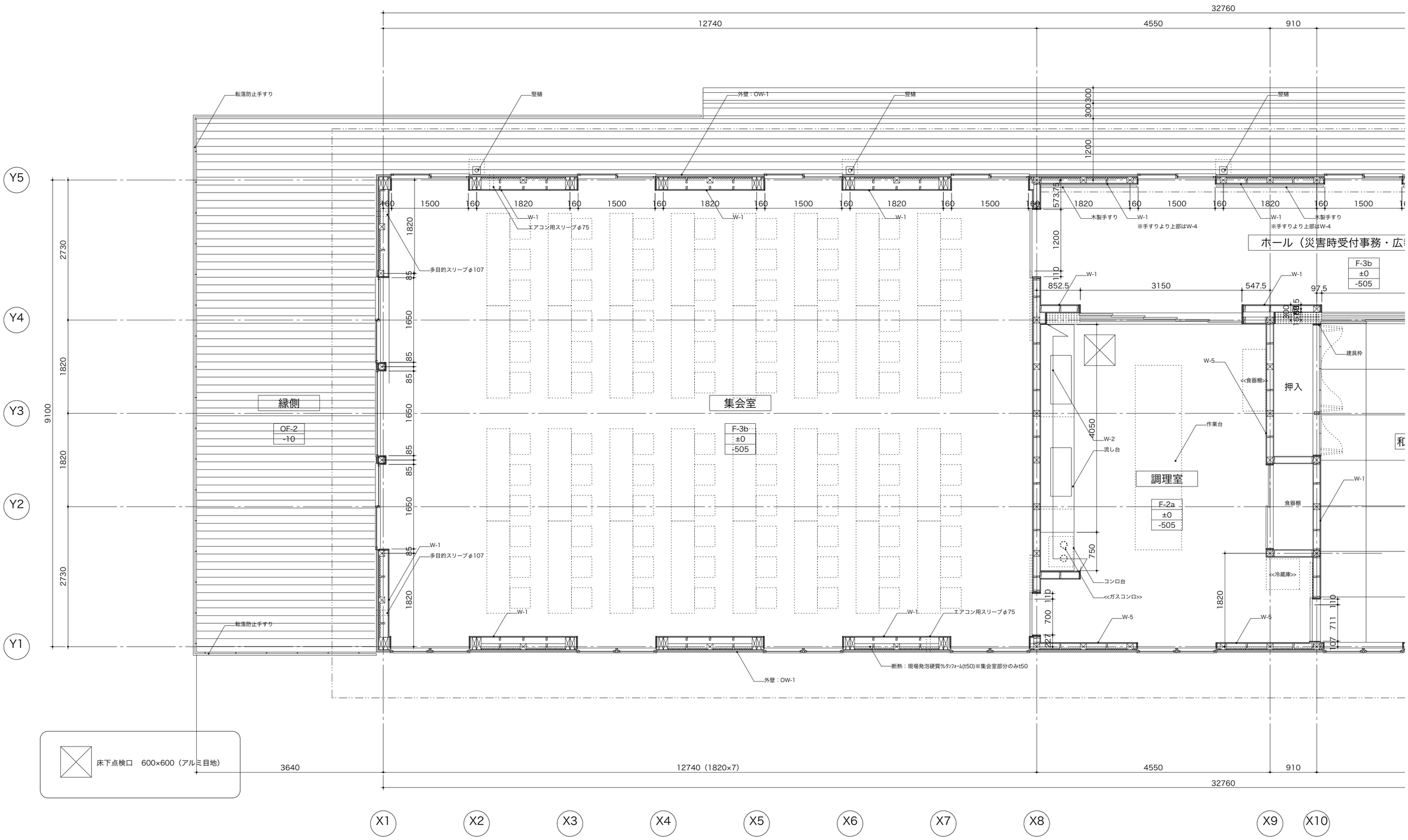
備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 矩計図(2)	No A-017 / Scale 1/50



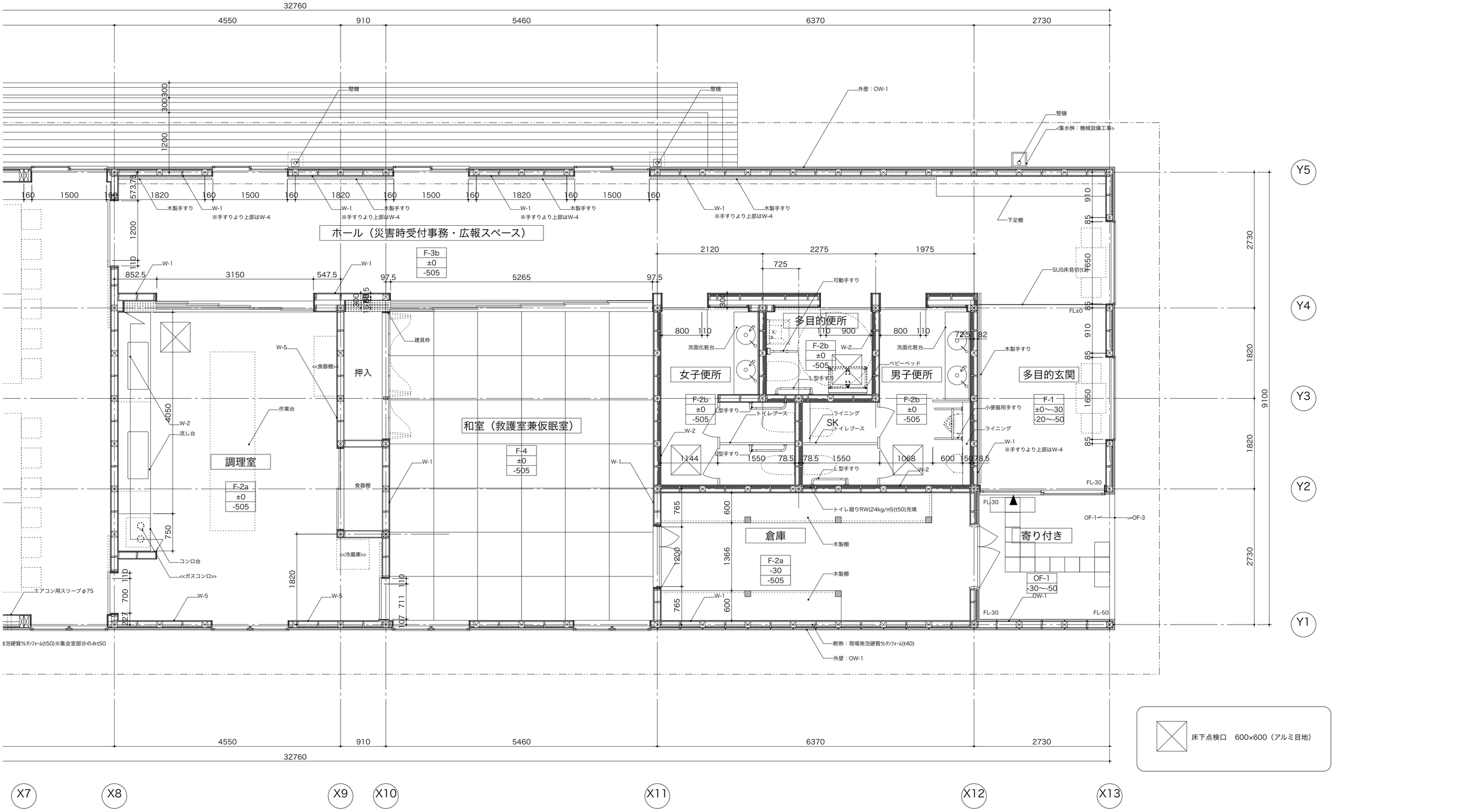
E-E断面図

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No A-018
									図面名称	矩計図(3)	Scale 1/50

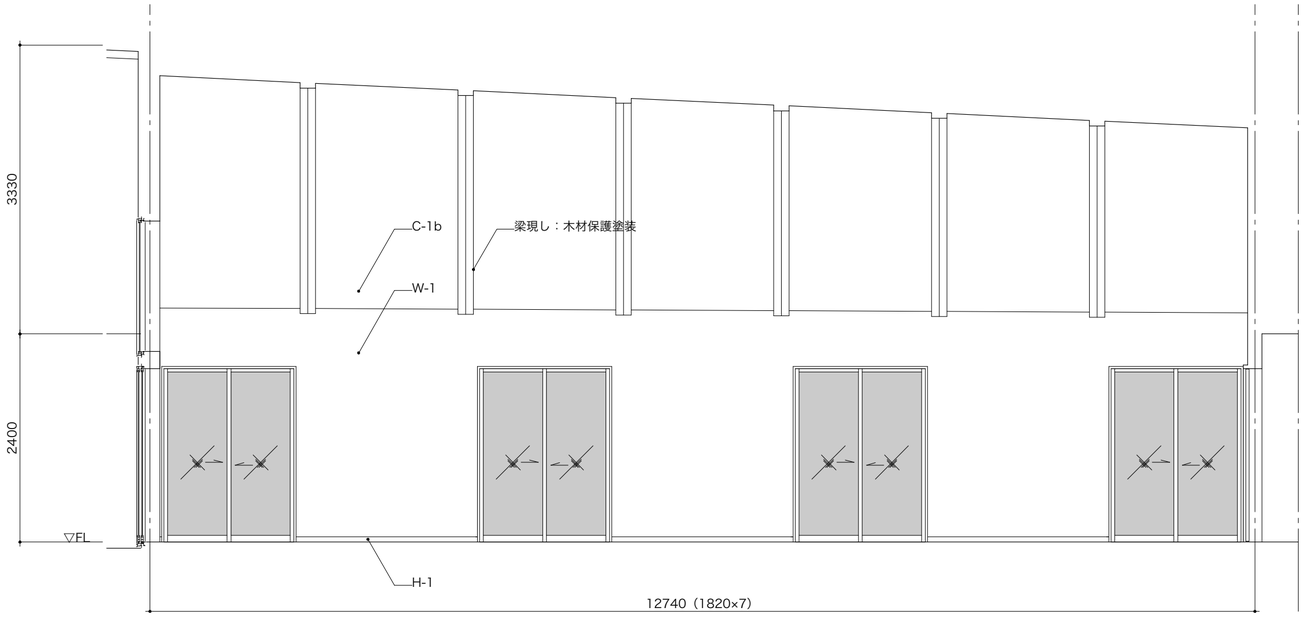
ひろば



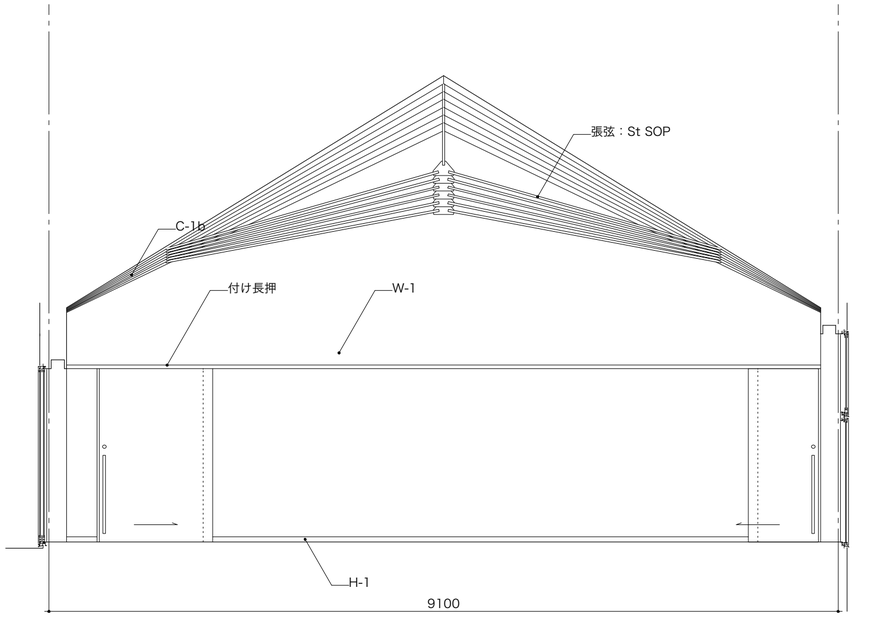
備考		Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-019
					渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10		図面名称	平面詳細図(1)	Scale	1/50 -



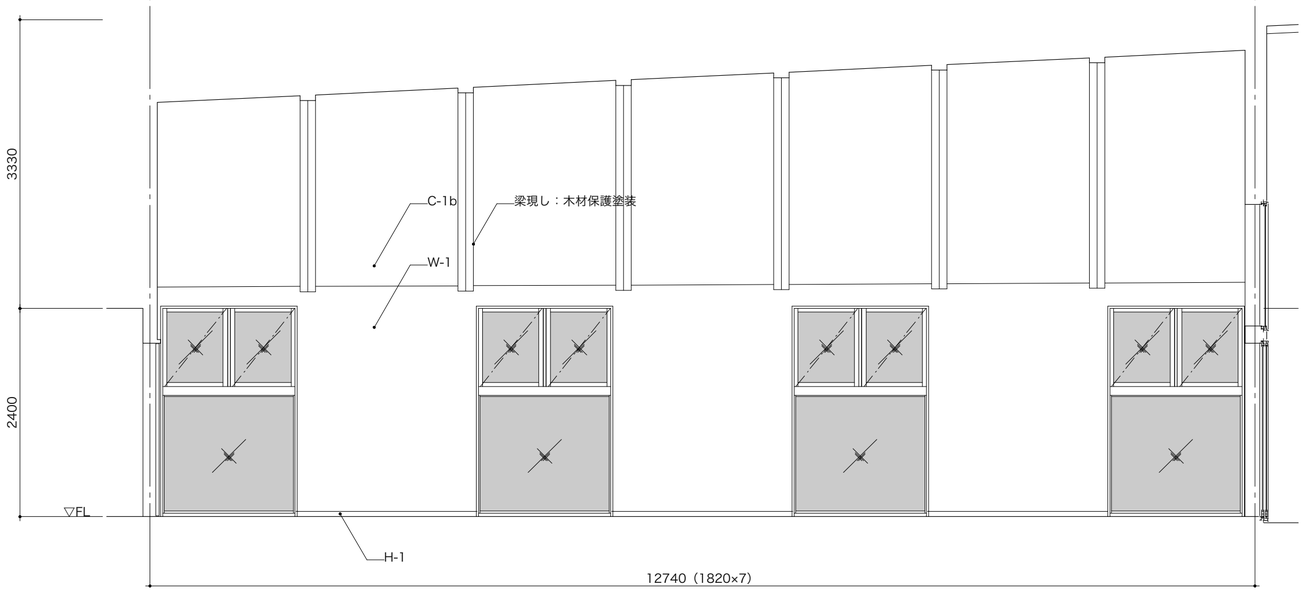
備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-020
					渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10		図面名称	平面詳細図(2)	Scale	1/50 -



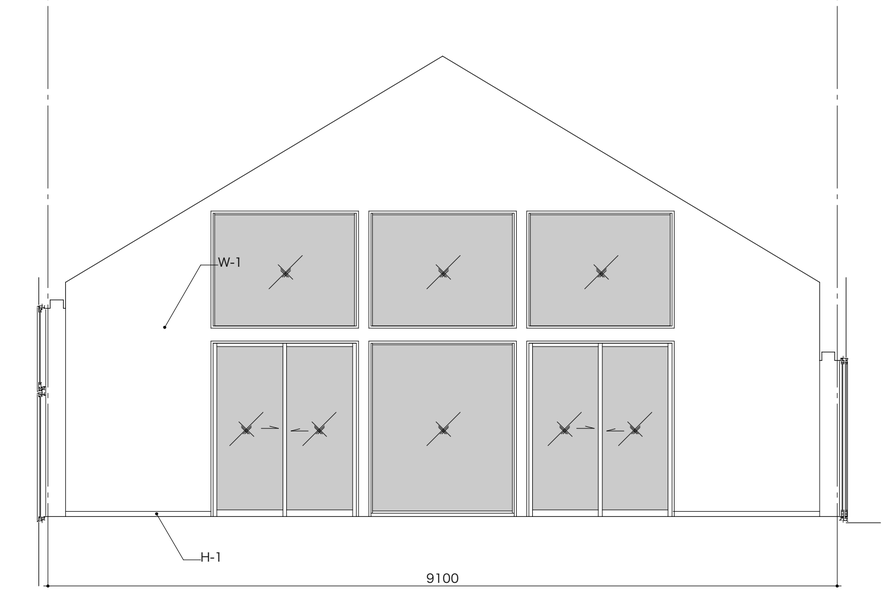
1 集会室展開図A



2 集会室展開図B

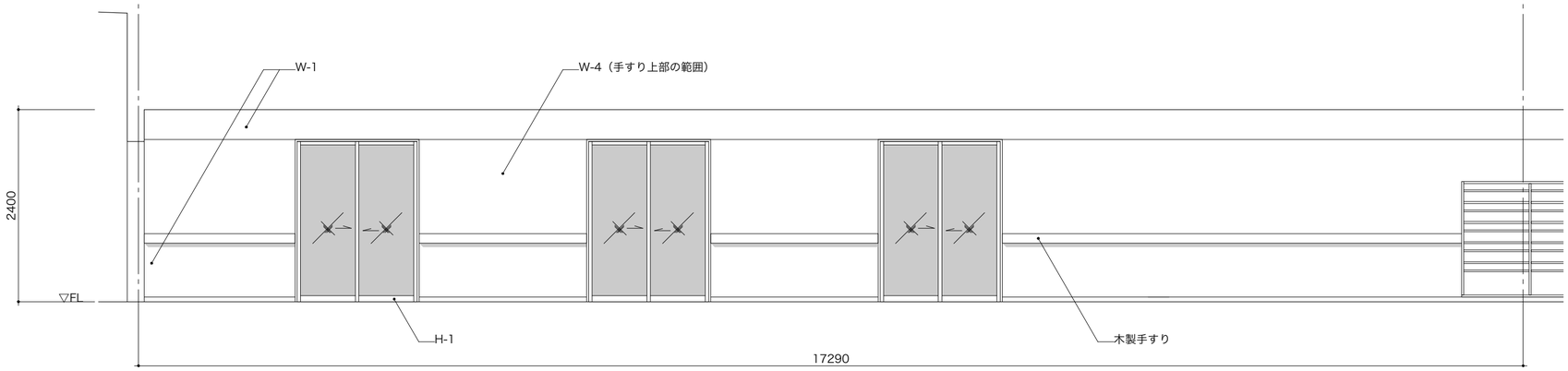


3 集会室展開図C

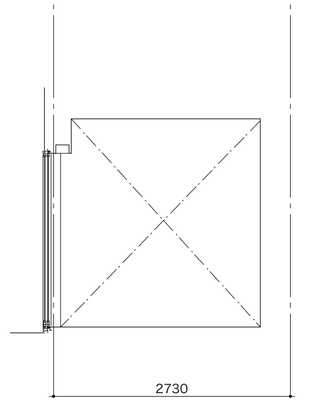


4 集会室展開図D

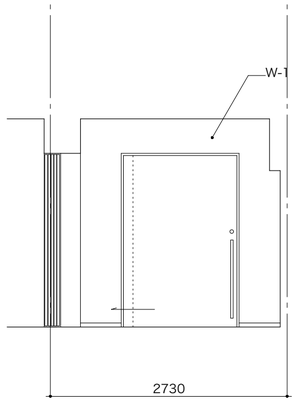
備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築および環境整備工事	No A-021
									図面名称	展開図(1)	Scale 1/50 -



1 ホール（災害時受付事務・広報スペース）展開図A

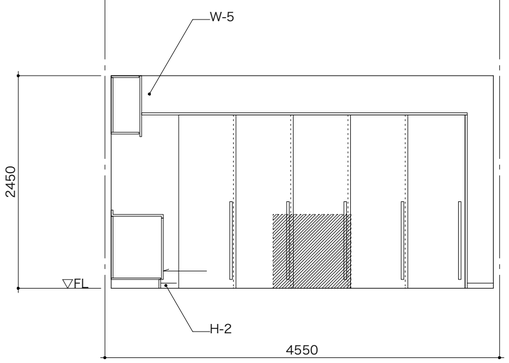


2 ホール展開図B

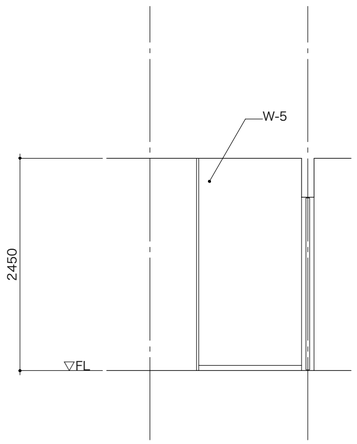


4 ホール展開図D

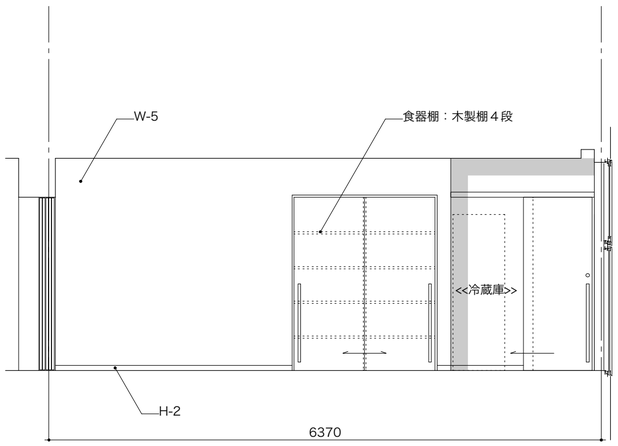
3 ホール（災害時受付事務・広報スペース）展開図C



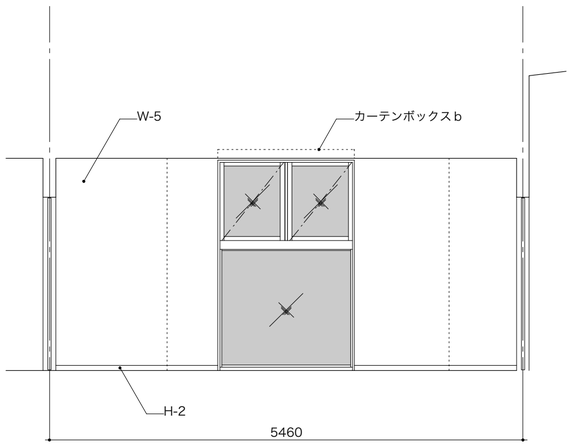
5 調理室展開図A



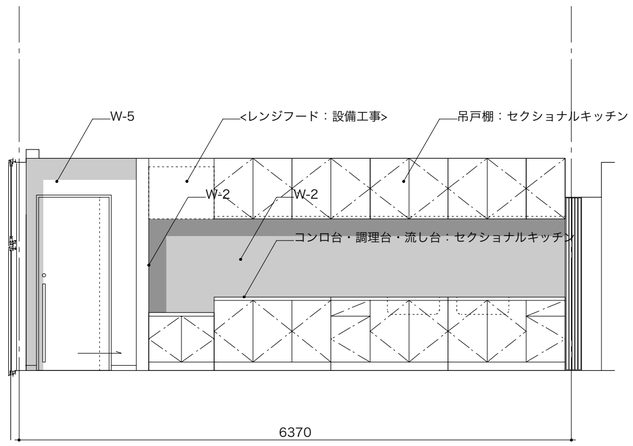
6 調理室展開図A'



7 調理室展開図B



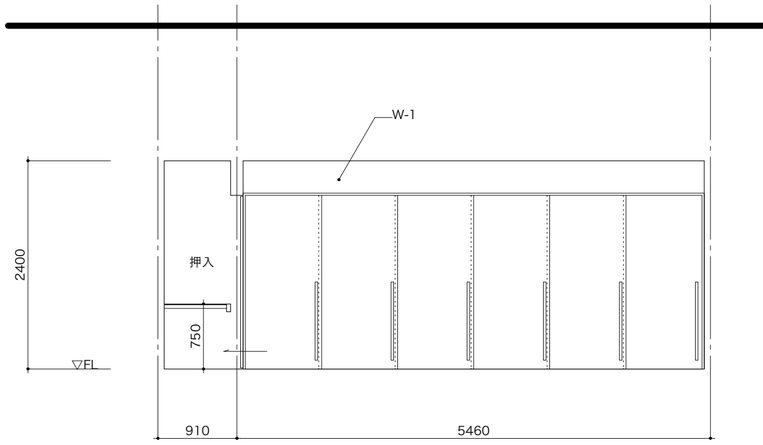
8 調理室展開図C



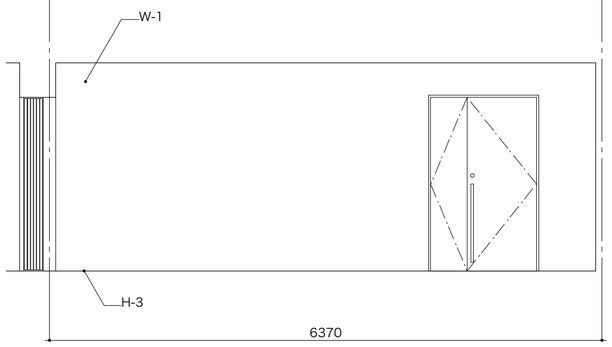
9 調理室展開図D

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築および環境整備工事
										図面名称	展開図(2)

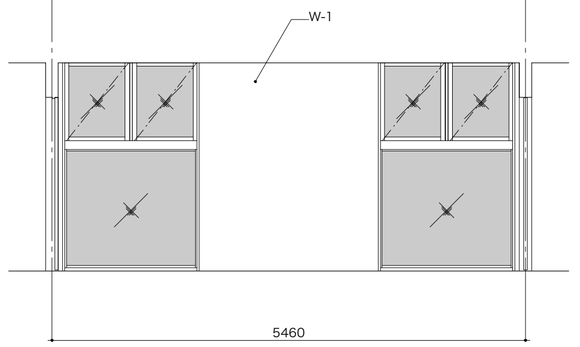
No A-022
Scale 1/50 -



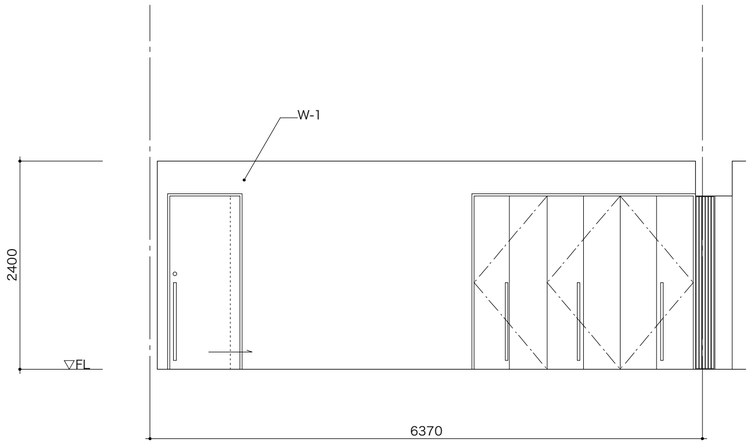
1 和室（救護室兼仮眠室）展開図A



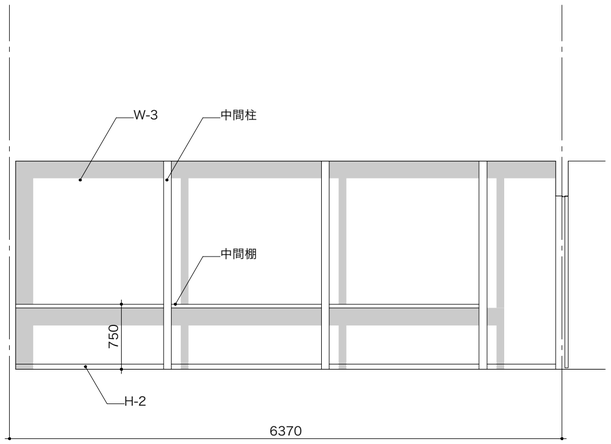
2 和室（救護室兼仮眠室）展開図B



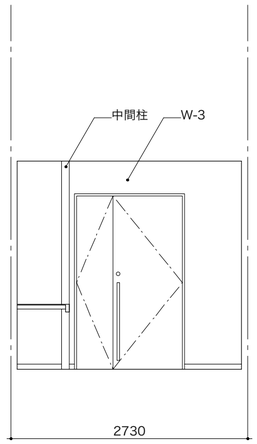
3 和室（救護室兼仮眠室）展開図C



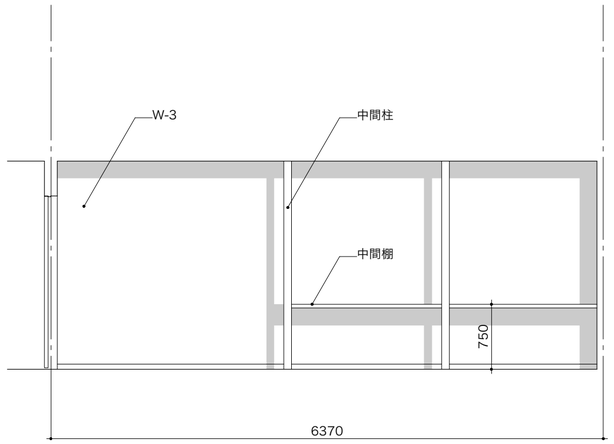
4 和室（救護室兼仮眠室）展開図D



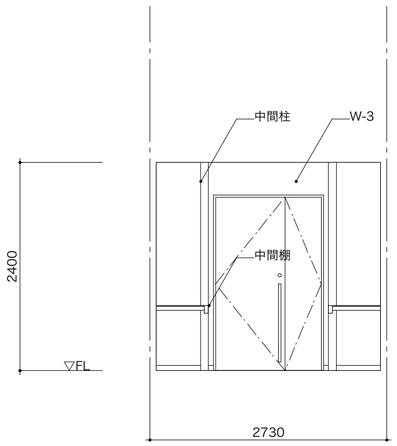
5 倉庫展開図A



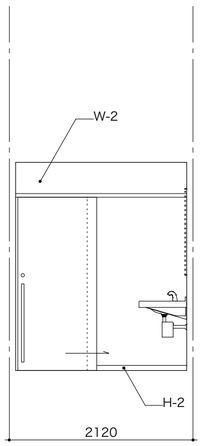
6 倉庫展開図B



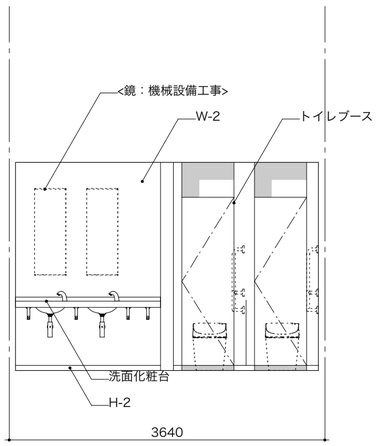
7 倉庫展開図C



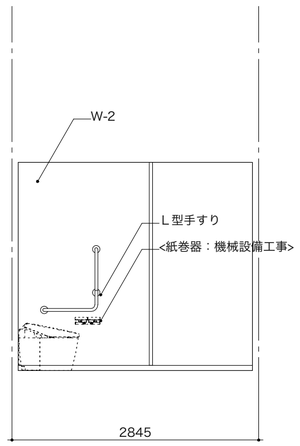
8 倉庫展開図D



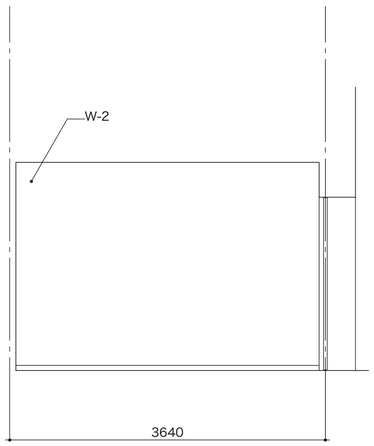
9 女子便所展開図A



10 女子便所展開図B

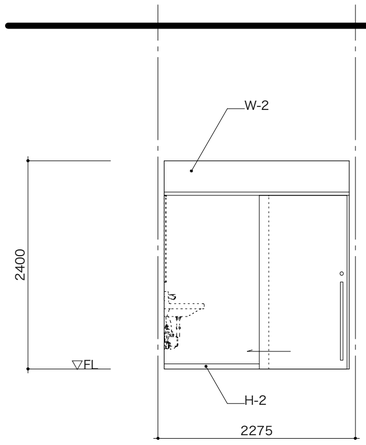


11 女子便所展開図C

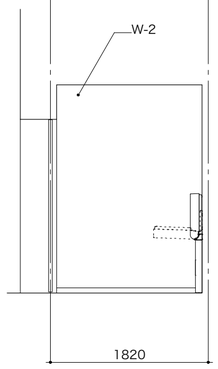


12 女子便所展開図D

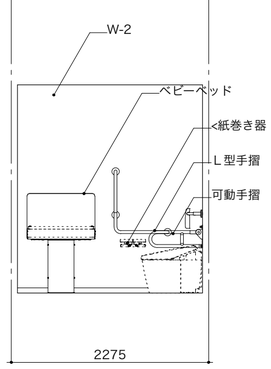
備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築および環境整備工事 / 図面名称 展開図(3)	No A-023 / Scale 1/50 -



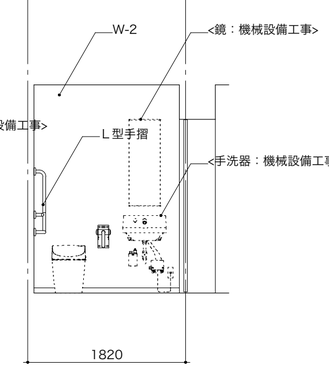
1 多目的便所展開図A



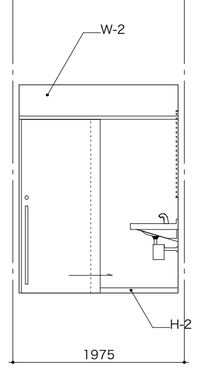
2 多目的便所展開図B



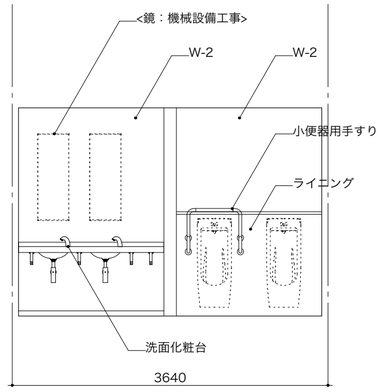
3 多目的便所展開図C



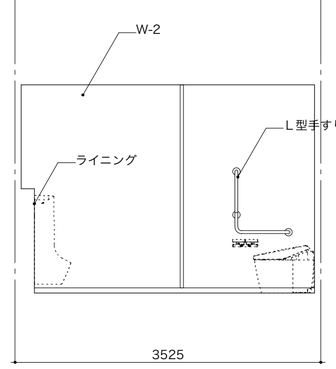
4 多目的便所展開図D



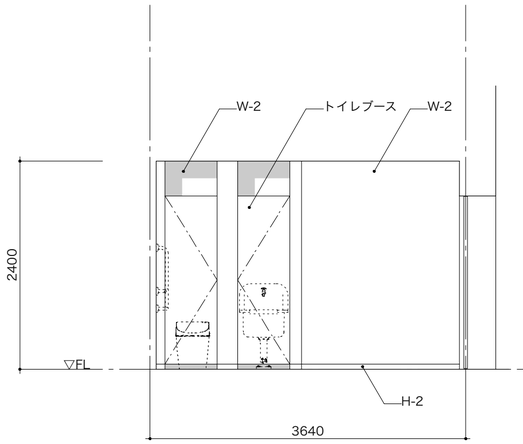
5 男子便所展開図A



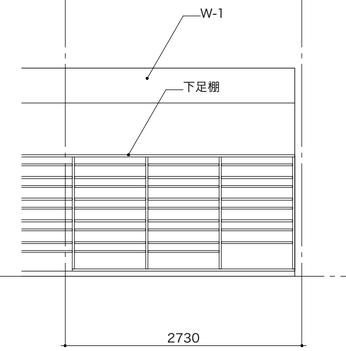
6 男子便所展開図B



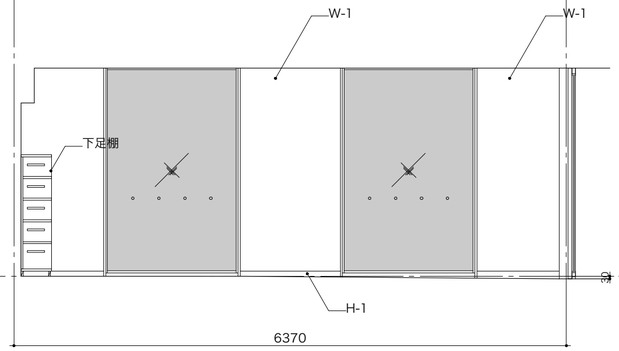
7 男子便所展開図C



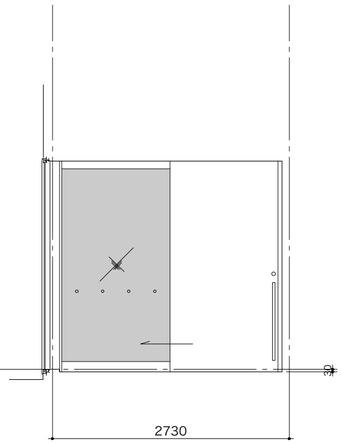
8 男子便所展開図D



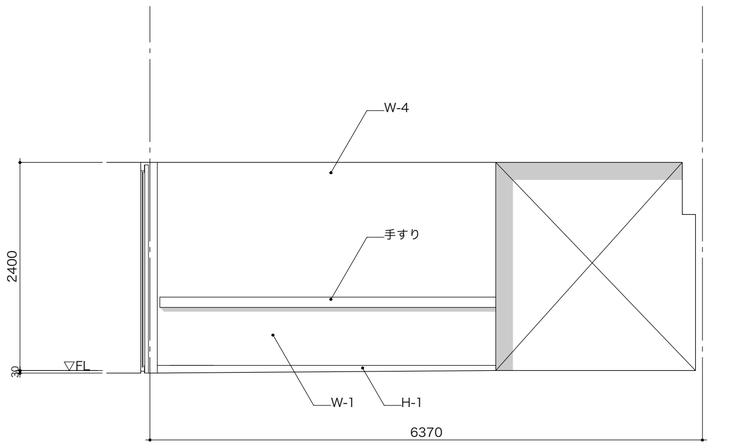
9 多目的玄関展開図A



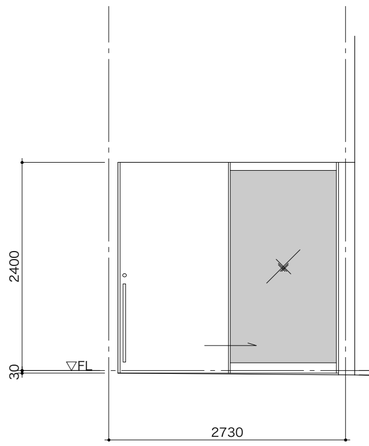
10 多目的玄関展開図B



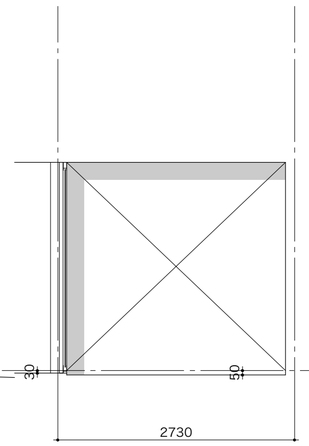
11 多目的玄関展開図C



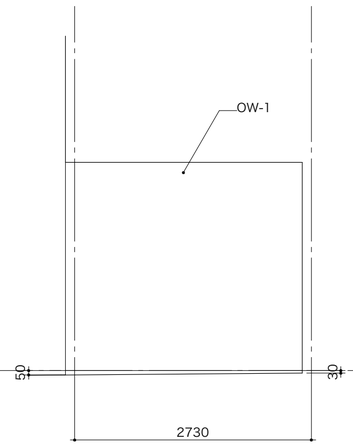
12 多目的玄関展開図D



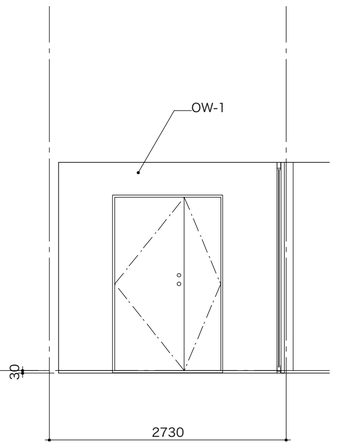
13 寄り付き展開図A



14 寄り付き展開図B



15 寄り付き展開図C



16 寄り付き展開図D

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 展開図(4)	No A-024 / Scale 1/50 -

一般事項　本特記に記載なき事項は、建設大臣官房庁営繕部監修、建築工事共通仕様書（最新版）又は係員との協議による。

1.符号

材質 SD 12 整理番号　二重円は特定防火設備

符号	材種	符号	材種	符号	材種	符号	材種
SSD	ステンレス製戸	SSW	ステンレス製窓	SP	鋼製パーティション	EP	合成樹脂エマルションペイント
SD	鋼製戸	SW	鋼製窓	AP	アルミ製パーティション		（汚染防止用特殊アクリル樹脂塗装）
PD	鉛戸	SWG	鋼製枠ガラスブ□ック	WP	木製パーティション	SOP	合成樹脂調合ペイント
LD	鋼製軽量戸	SWP	鋼製排煙パネル窓	GP	ガラスパーティション	VP	塩化ビニル樹脂エナメル
AD	アルミ製戸	AW	アルミ製窓	AL	アルミ製ルーバー	U-BE	ウレタン樹脂エナメル（焼付型）
WD	木製戸	AWG	アルミ製枠ガラスブ□ック窓	SL	鋼製ルーバー	DP	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）
SF	スチール三方枠	AWP	アルミ製排煙パネル窓			OC	オイルフィニッシュ
PG	ブ□フィリットガラス	AWT	アルミ製トップライト	F	フスマ	CL	クリヤクラッカー
		WW	木製窓	S	障子	UC	ウレタンワニス
SS	鋼製シャッター	SCW	スチール製カーテンウォール	TB	トイレブース	OS	オイルステイン・アルコール溶性着色剤
GS	グリルシャッター			SLW	可動間仕切	WS	水性ステイン
HS	横引きシャッター	SG	鋼製ガラリ	ACD	アコーディオンドア		
STS	シートシャッター	AG	アルミ製ガラリ				

ガラス記号

FL	フ□ートガラス	FRL	ファイアライト　（耐熱ガラス）	R	熱線反射	SAT	セミエアタイト
G	スリ板ガラス	T	強化ガラス	＋A＋	複層ガラスの空気層		
F	型板ガラス	SK	スクールテンパーガラス	AP	アルミ断熱パネル		
WK	網入型板ガラス	FT	型板強化ガラス				
PW	網入磨き板ガラス	H	熱線吸収				

2.共通特記事項

□ 特記以外の金物は付属金物一式とする。

□ ﾄﾞｱﾁｪｯｸの表示のない場合でも(ﾋﾝｼﾞ・ｸﾛｰｻﾞｰなど)将来取付け可能な補強を行う。

□ 特記なき限り音響はステンレス製　型とし、建具製造所の付属品とする。

□ 特記なき限り、建具枠は大枠を原則とする。

□ 特記なき限り、スチール・ステンレス・アルミ・木の各扉は扉・幕板とも両面フラッシュとする。

□ 金物関係

○ 吊元は建具重量に十分耐え得るものとする。

○ ドアチェックは常閉式防火設備以外は全てストップ式とする。

○ 特記なき限り、戸当りは床付タイプとする。戸当り部分は硬質ゴム、支柱部はSUS HL。

○ 戸受けについて、開閉衝撃音緩和の為に、開き戸の3方枠、召し合せ部分、引き戸の縦枠にはピンチブ□ック、ゴムビード等を取付ける。

○ ドアチェック取り付け位置は室内側を基準とする。

○ 特記なき限り、内部一般扉の錠は本締付きモノ□ックとする。

○ 特記なき限り、押板・押し棒の場合はシリンダー本締り錠とする。

□ 特記なき限り、吝嗇の種別は下記による。

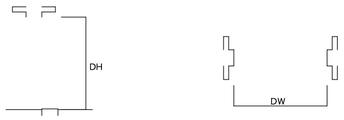
○ 床仕上が異なる場合　：(4－31－2)

○ 外部廻り出入口及び内部水掛部出入口　：(4－41－2)

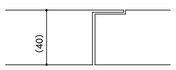
□ 排煙窓のクレセント及び操作レバー等の位置は床面から1500mm以下とする。

□ 外部と面するフラッシュ戸はGW等断熱材充填とする

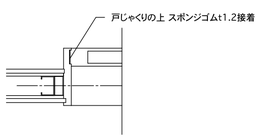
□ 寸法

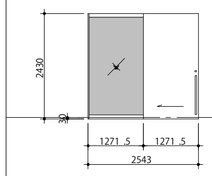
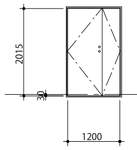
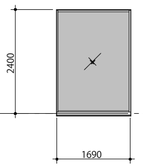
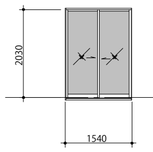
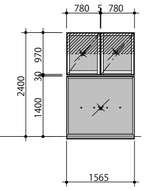


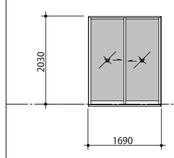
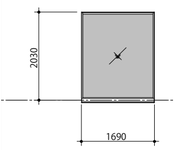
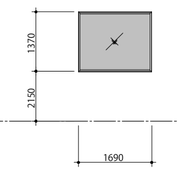
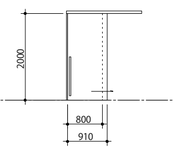
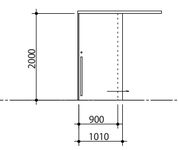
□ 親子扉、両開扉召し合せ部形状

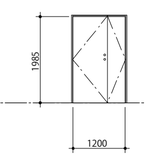
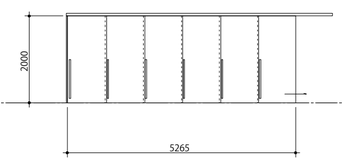
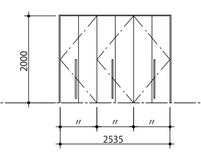
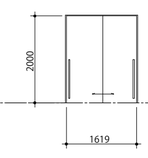
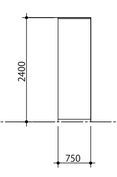


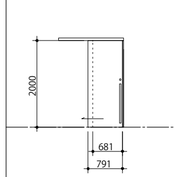
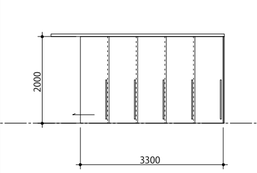
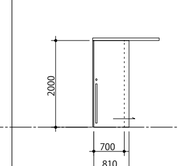
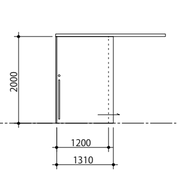
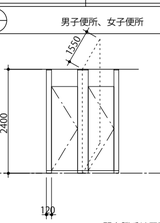
□ 引き戸枠 戸じゃくり　(SD･WD共通)



符号・位置・個数	SD 1 多目的玄関 1	SD 2 倉庫 1	AW 1 多目的玄関 2	AW 2 廊下、集会室 7	AW 3 集会室、調理室、和室 7
形状・寸法					
見込	枠100　扉40	枠100　扉40	枠70	枠70	枠70
型式	両袖付　引分けスチール戸	親子開きスチール戸	住宅用ハメ殺シアルミサッシ	住宅用引違いアルミサッシ	住宅用引違い＋すべり出しアルミサッシ
材質	スチールフラッシュ　DP	スチールフラッシュ　DP	アルミ（シルバーつや消し）	アルミ（シルバーつや消し）	アルミ（シルバーつや消し）
硝子	FL-4+A6+FL-4		FL-5+A6+FL-5	FL-3+A12+FL-3	FL-4+A10+FL-4
金物	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ・引戸用ｿﾘﾝﾀﾞｰ錠 戸当たり・ＳＵＳ吝嗇	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、 ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟ付）、戸当り、SUS吝嗇	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ、クレセント	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ、クレセント	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ、ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ 段窓無目、連窓方立
備考	GW充填	GW充填	飛散防止フィルム	引き網戸、飛散防止フィルム	開き網戸

符号・位置・個数	AW 4 集会室 2	AW 5 集会室 1	AW 6 集会室 3	WD 1 男子便所・女子便所 2	WD 2 多目的便所 1
形状・寸法					
見込	枠70	枠70	枠70	枠430　扉40	枠430　扉40
型式	住宅用引違いアルミサッシ	住宅用ハメ殺シアルミサッシ	住宅用ハメ殺シアルミサッシ	木製引込み戸	木製引込み戸
材質	アルミ（シルバーつや消し）	アルミ（シルバーつや消し）	アルミ（シルバーつや消し）	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP
硝子	FL-3+A12+FL-3	FL-5+A6+FL-5	FL-4+A10+FL-4		
金物	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ、クレセント	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ	結露受、三方ｱﾝｸﾞﾙ	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞ、 ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、SUS床見切	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイド、 ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、引戸用表示錠、SUS床見切
備考	引き網戸				

符号・位置・個数	WD 3 倉庫 1	WD 4 和室 1	WD 5 和室（押入） 1	WD 6 調理室（食器棚） 1	TB 2 男子便所 1
形状・寸法					
見込	枠165　扉40	枠430　扉40	枠165　扉30	枠165　扉30	扉40
型式	木製親子開き戸	木製６連引込み戸	木製折戸	木製引違い戸	トイレブース
材質	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	メラミン樹脂化粧板フラッシュ
硝子					
金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、戸当り ﾄﾞｱﾁｪｯｸ（ｽﾄｯﾌﾟ付）、SUS床見切	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイドレール、引手堀込加工、木口回転引手	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、折戸金物、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、折戸金物、ガイドレール、 ドアハンドル	天井ﾚｰﾙ、ｴﾝﾄﾞｶﾊﾞｰ、SUS巾木、 壁面ﾚｰﾙ
備考					

符号・位置・個数	WD 7 調理室 1	WD 8 調理室 1	WD 9 調理室 1	WD 10 集会室 1	TB 1 男子便所、女子便所 2
形状・寸法					
見込	枠165　扉40	枠430　扉40	枠165　扉40	枠165　扉40	40
型式	木製引込み戸	木製５連引込み戸	木製片引戸	木製片引戸	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
材質	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	枠　竪木 SOP　扉　合板ﾌﾗｯｼｭ SOP	ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾌﾗｯｼｭ
硝子					
金物	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイド、 ドアハンドル、SUS床見切	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイドレール、引手堀込加工、木口回転引手	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイド、戸当り ドアハンドル、引戸錠、SUS床見切	上吊式ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ガイド、戸当り ドアハンドル、引戸錠、SUS床見切	天井ﾚｰﾙ、SUS巾木 、ｴﾝﾄﾞｶﾊﾞｰ、ｼﾞｮｲﾝﾄﾚｰﾙ、壁面ﾚｰﾙ、 戸当り帽子掛、取手、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、中心吊りﾋﾝｼﾞ 非常開放装置
備考					

備考

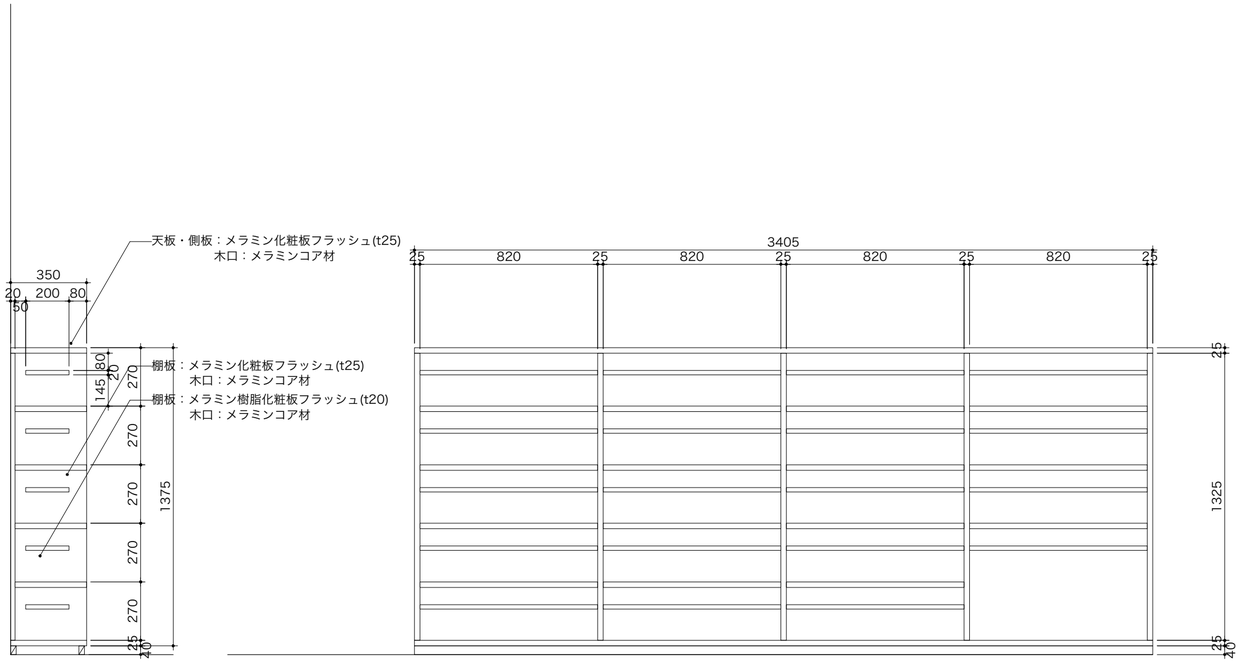
関・空間設計　宮城県知事登録 第11X101◎8

管理建築士 一級建築士　渡邉 宏　登録第15253◎号

承認	調査	設計	設計年月	全業
渡邉	木皿	斎藤・八島	H25.10	

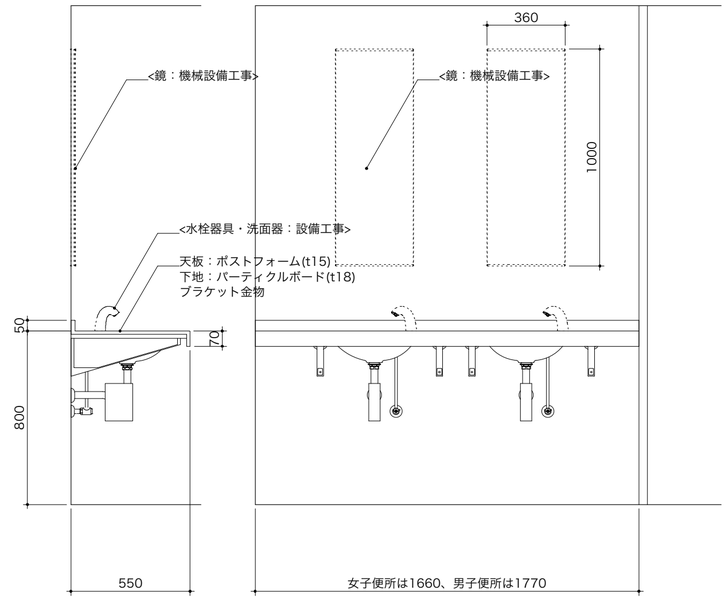
工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No.	A－025
図面名称	建具表	Scale	1／100

下足棚



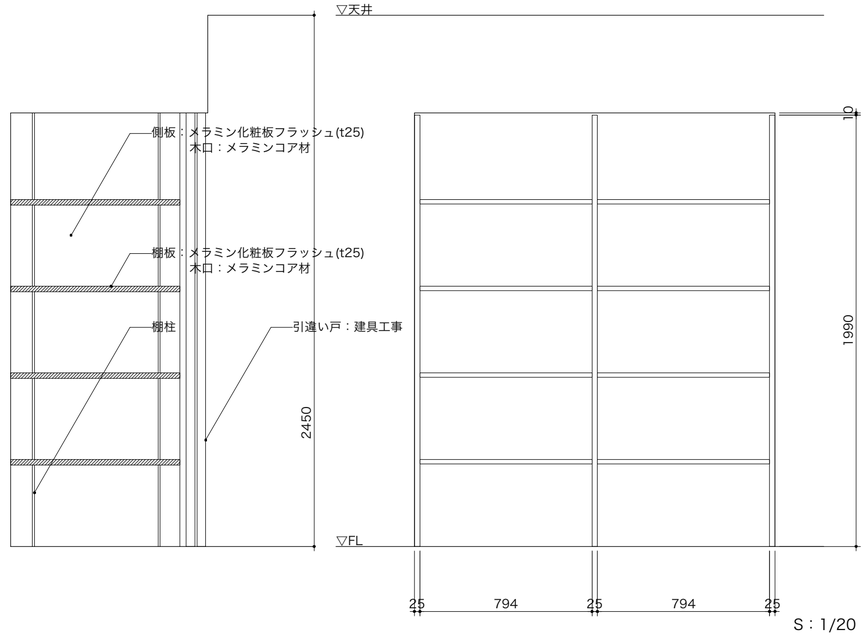
S：1/20

洗面化粧台



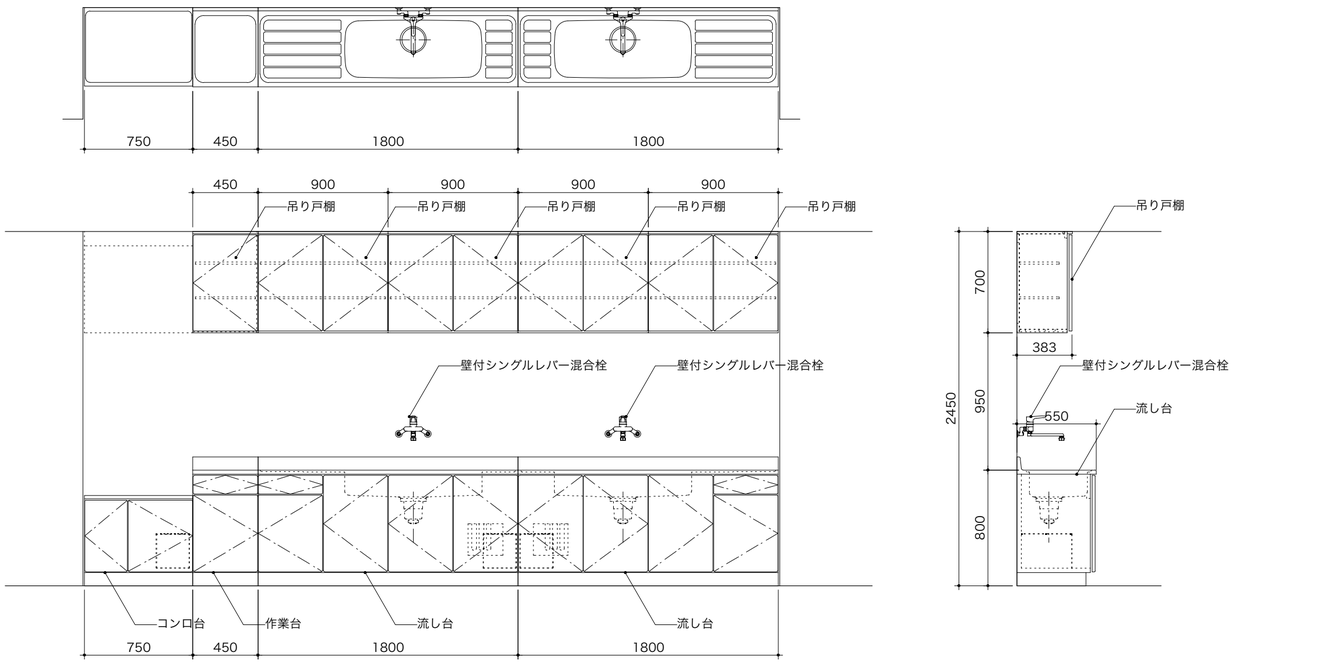
S：1/20

食器棚



S：1/20

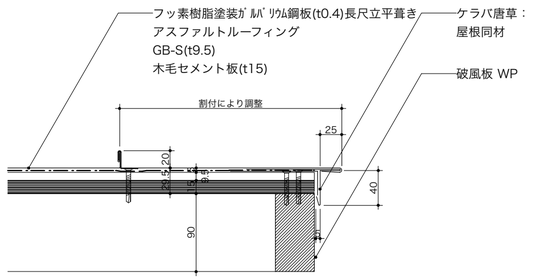
流し台（セクショナルキッチン）



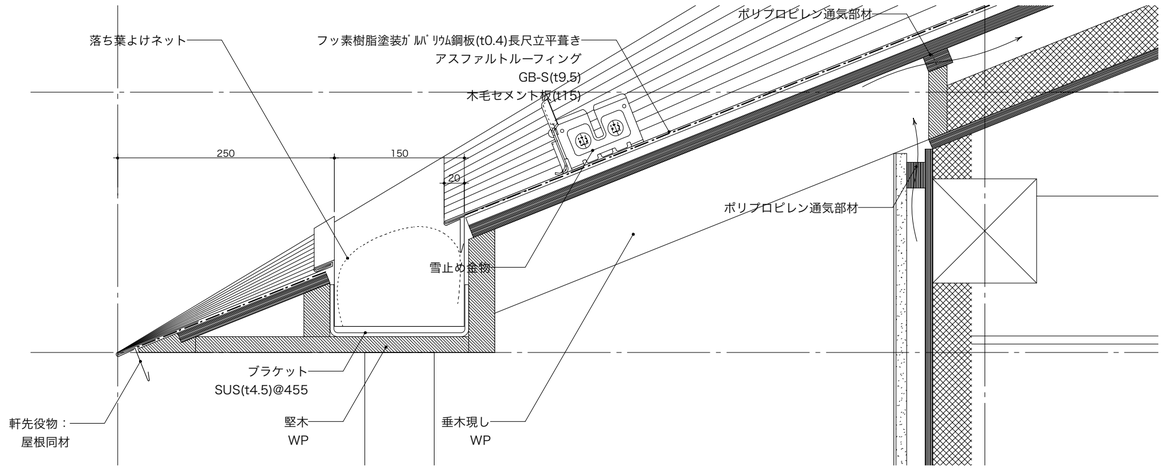
S：1/30

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 家具図	No A-026 / Scale 1/20 1/30
				渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10			

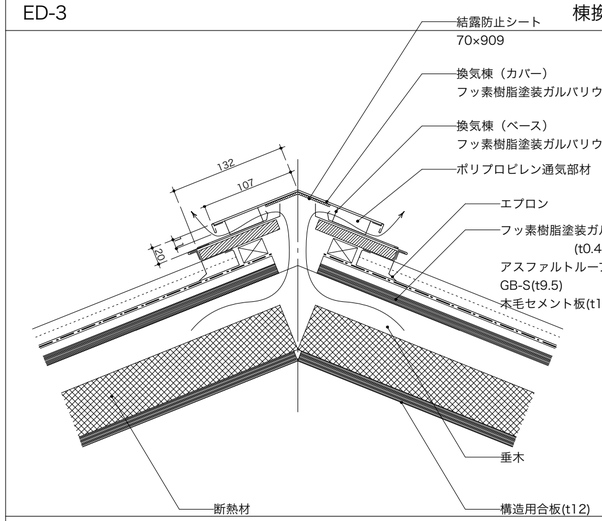
ED-1　ケラバ納まり



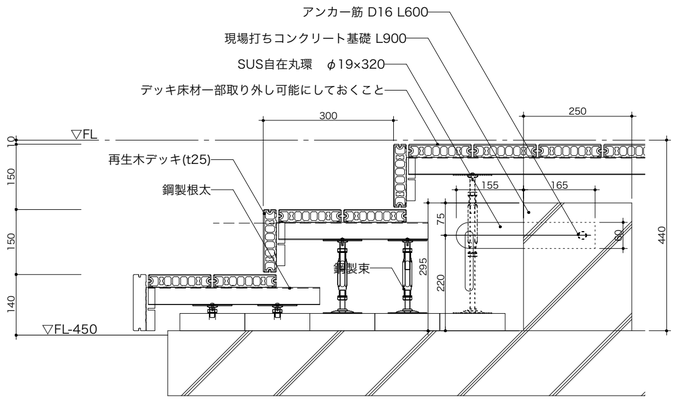
ED-2　軒先納まり



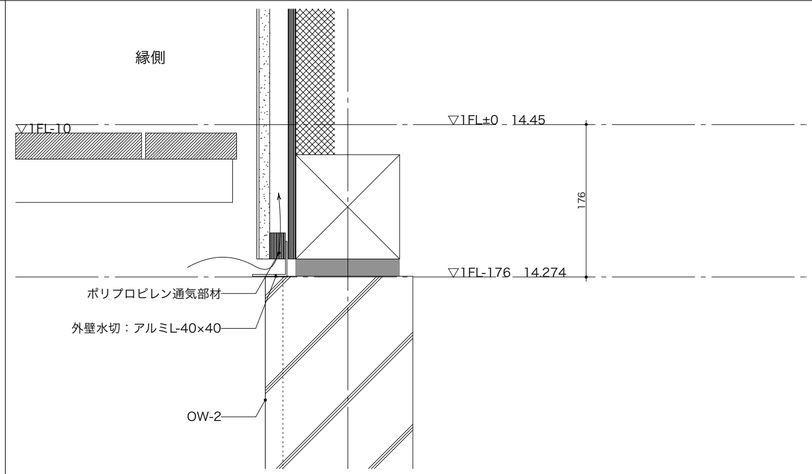
ED-3　棟換気納まり



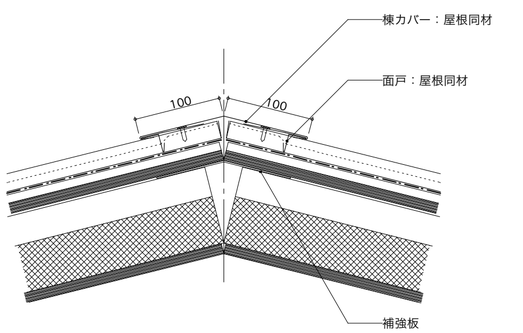
ED-4　丸環



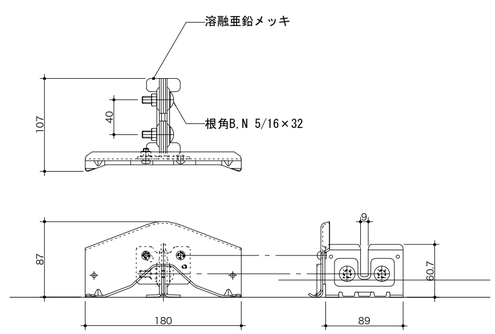
ED-5　外壁水切



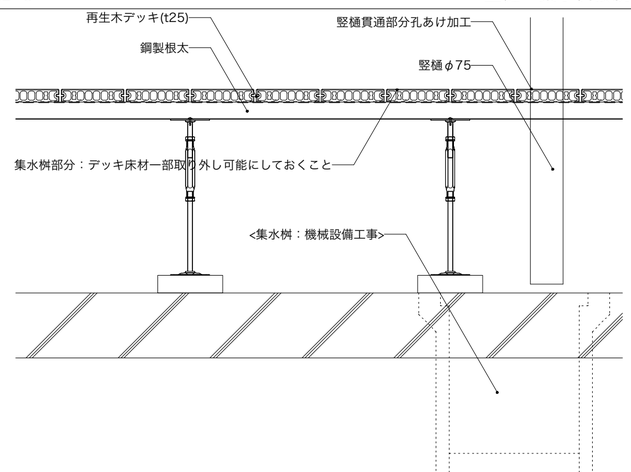
ED-6　棟納まり



ED-7　雪止め金物



ED-8　竪樋・集水桝接続部

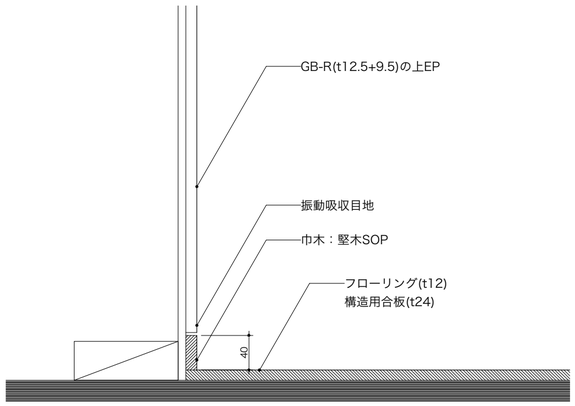


備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
										図面名称	雑詳細図(1)

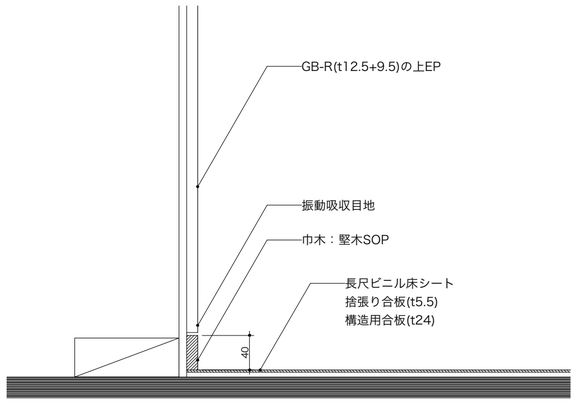
No　A-027

Scale　1/5　1/10

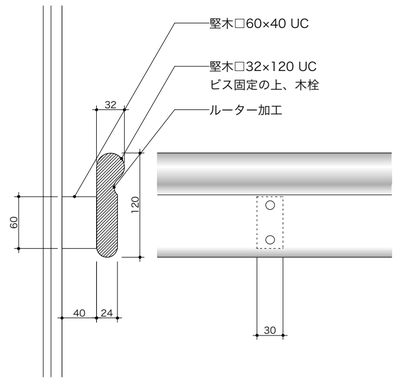
D-1 巾木納まり



D-2 巾木納まり

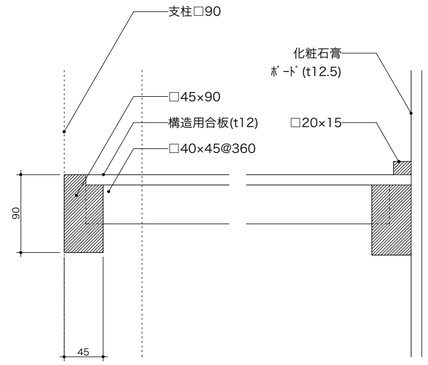


D-3 木製手すり



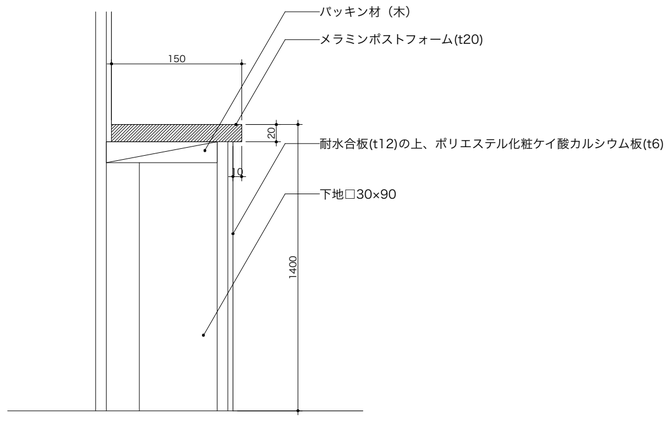
断面図　　姿図

D-4 押入、倉庫中棚



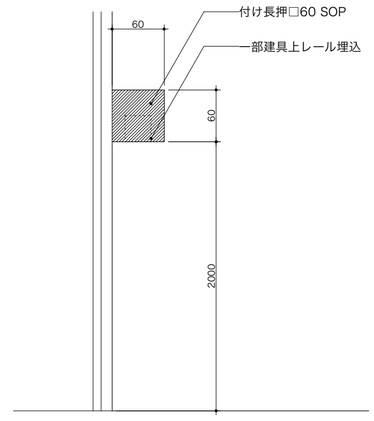
断面図

D-5 ライニング



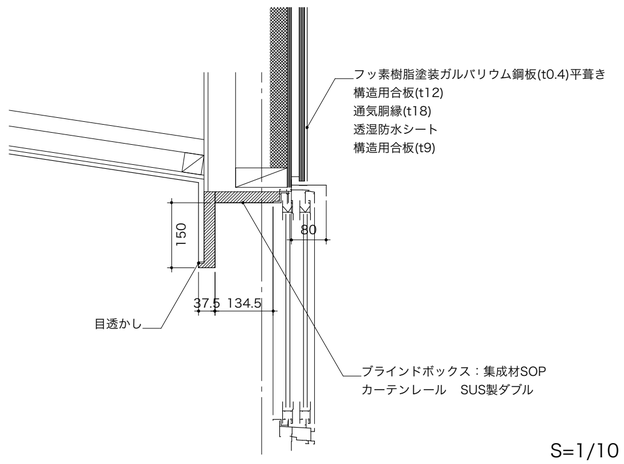
断面図

D-6 付け長押



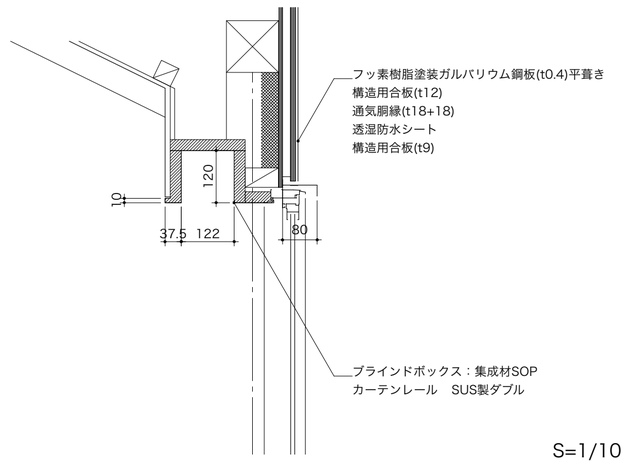
断面図

D-7 ブラインドボックスａ



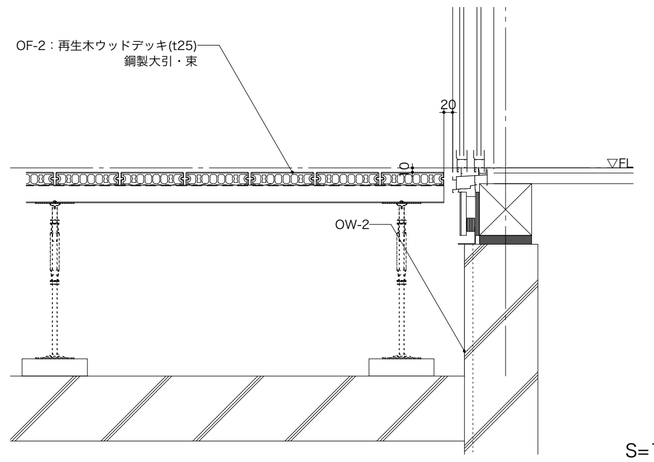
S=1/10

D-8 ブラインドボックスｂ



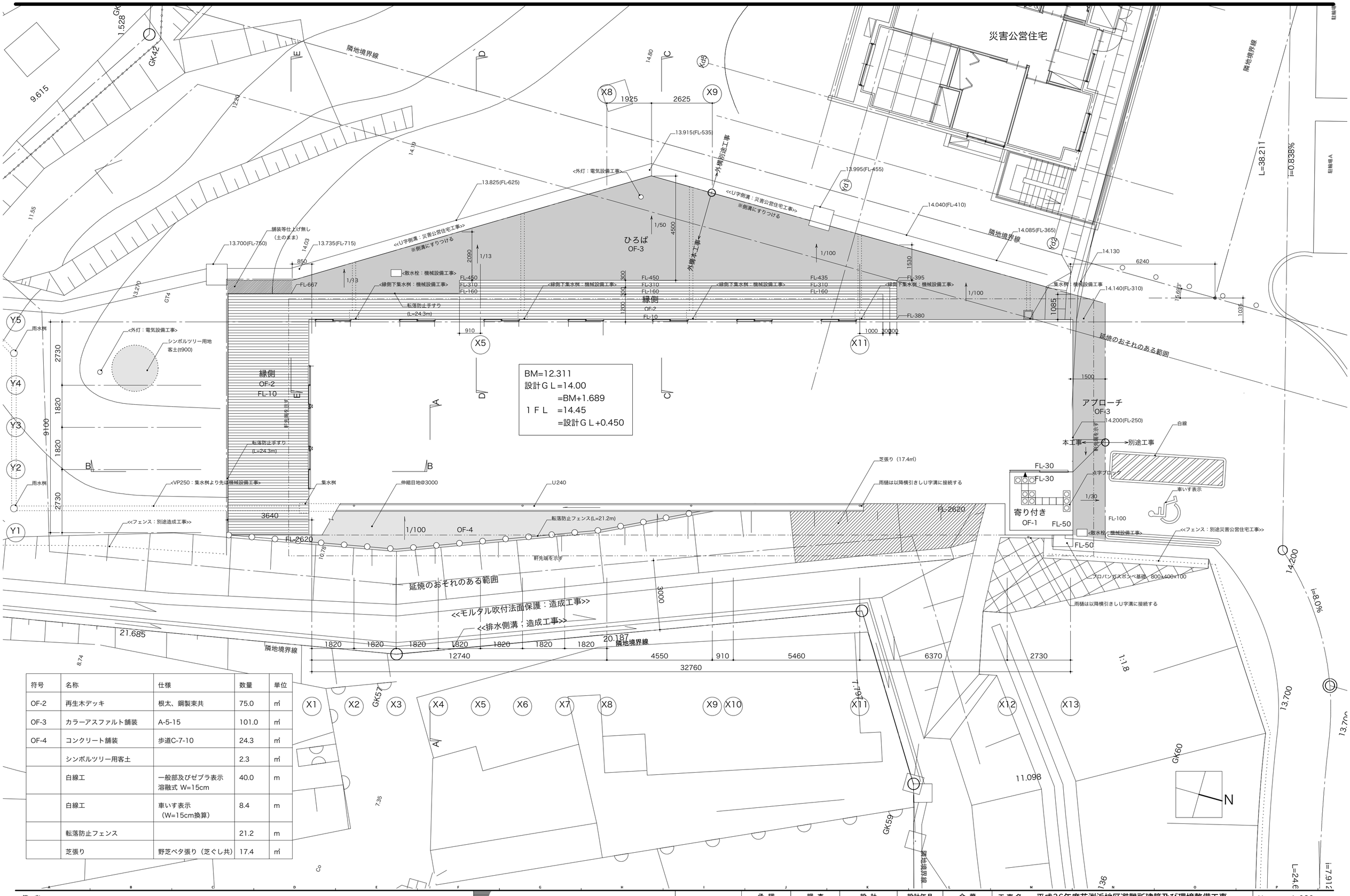
S=1/10

D-9 ウッドデッキ・サッシュ取合



S=1/10

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-028
					渡辺	木皿	大村・小澤 千葉	H25.6		図面名称	雑詳細図(2)	Scale	1/5　1/10



符号	名称	仕様	数量	単位
OF-2	再生木デッキ	根太、鋼製束共	75.0	㎡
OF-3	カラーアスファルト舗装	A-5-15	101.0	㎡
OF-4	コンクリート舗装	歩道C-7-10	24.3	㎡
	シンボルツリー用客土		2.3	㎥
	白線工	一般部及びゼブラ表示 溶融式 W=15cm	40.0	m
	白線工	車いす表示 （W=15cm換算）	8.4	m
	転落防止フェンス		21.2	m
	芝張り	野芝ベタ張り（芝ぐし共）	17.4	㎡

備 考

Spirit Of Place 関・空間設計

宮城県知事登録 第 11X10168 号

管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全葉
渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10	

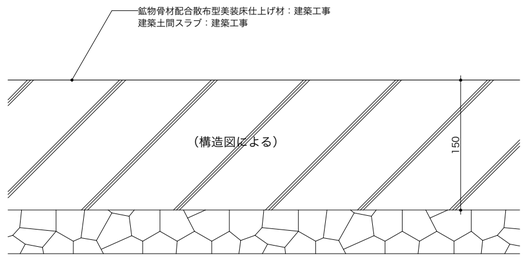
工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事

図面名称 外構図

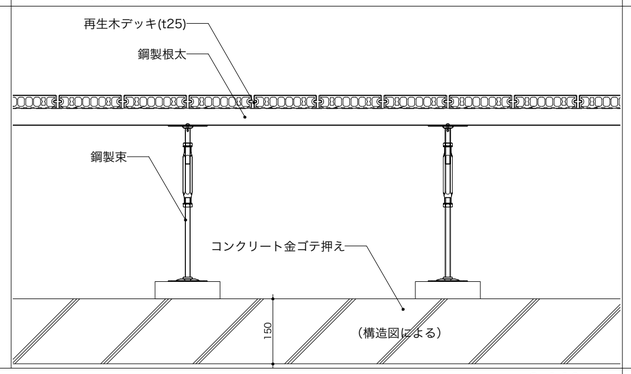
No A-029

Scale 1/100

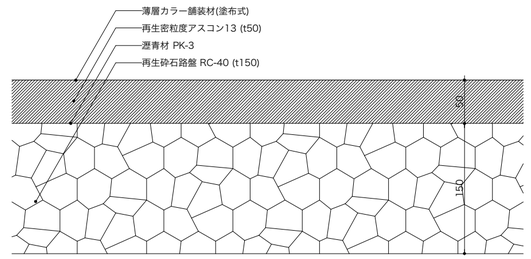
OF-1　コンクリート舗装　S=1:5



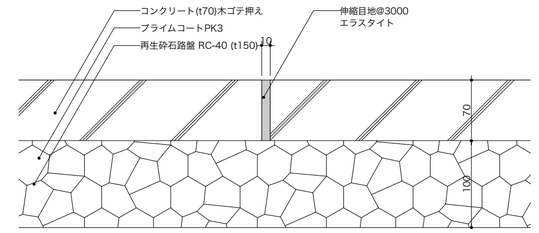
OF-2 ウッドデッキ　S=1:5



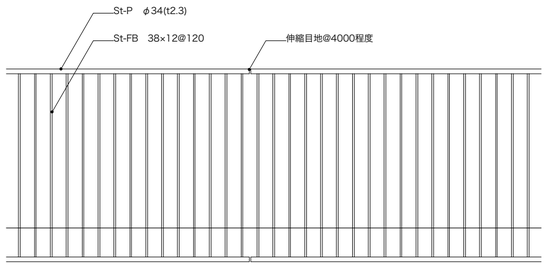
OF-3 カラーアスファルト舗装　S=1:5



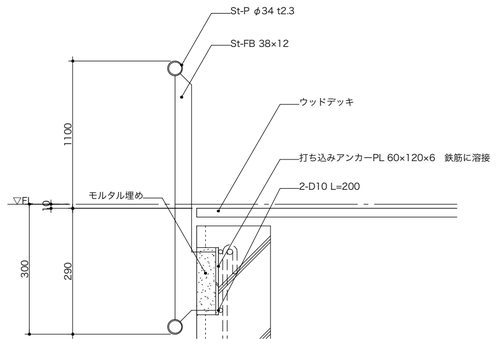
OF-4 コンクリート舗装（歩行用）　S=1:5



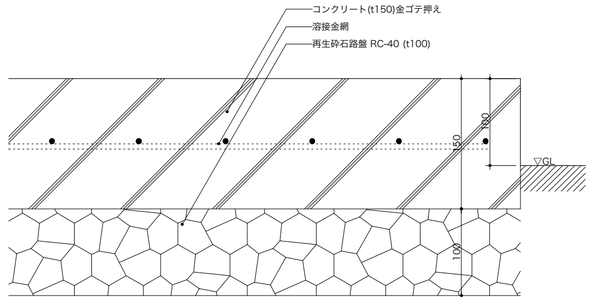
転落防止手すり　S=1:30



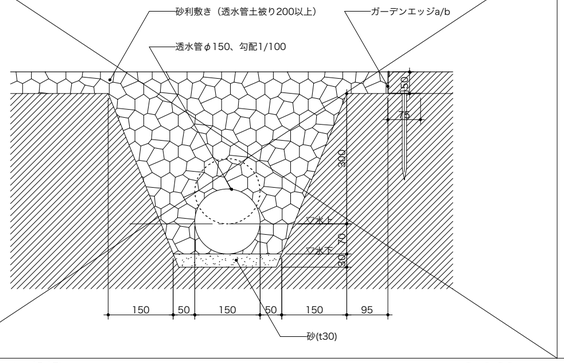
S=1:10



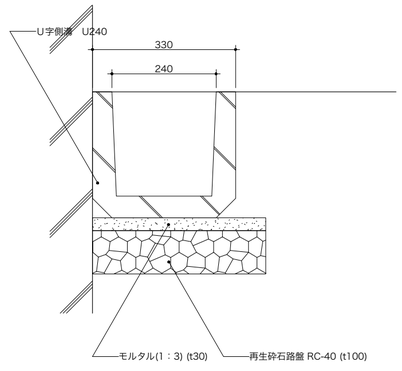
プロパンガスボンベ基礎　S=1:5



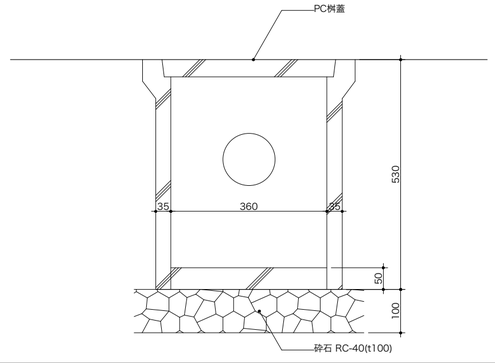
軒先　透水管　S=1:10



U字側溝（PC）　S=1:10

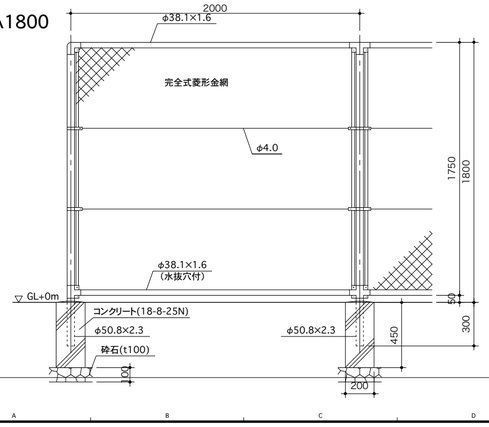


集水桝（PC）　S=1:10

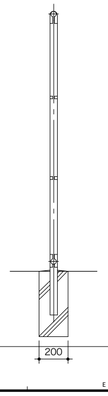


フェンス(一般部)　S=1:30

PC−A1800



（昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る）

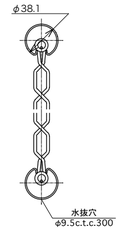


設計条件
　設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
　基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN／

備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本柵の金網規格は下記の通りとする。
　φ2.6×40mm、φ2.6×56mm
　φ3.2×50mm、φ3.2×56mm

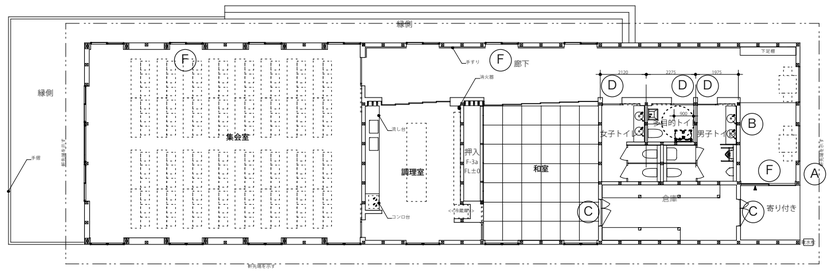
フェンス詳細　S=1:5

胴縁に金網取付断面図

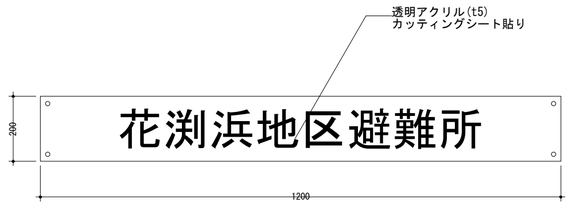


備考	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 外構詳細図 / No A-030 / Scale 1/5 1/10

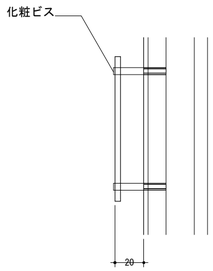
サインキープラン　S=1:100



A:館名表示（屋外）:アクリルプレート＋塩ビシート切り文字貼り　1箇所

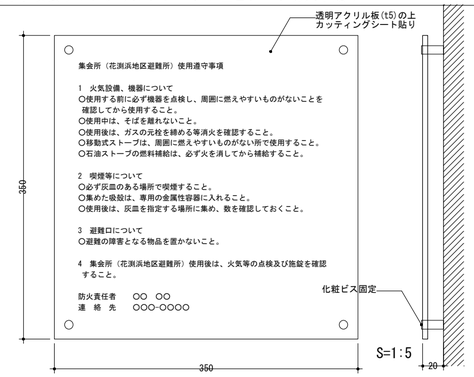


S=1:10



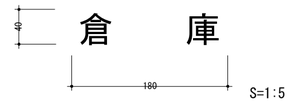
S=1:3

B:使用遵守事項表示：アクリルプレート＋塩ビシート切文字貼り　1箇所



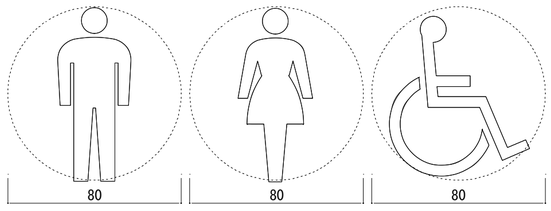
S=1:5

C:室名表示：塩ビシート切文字貼り　2箇所



S=1:5

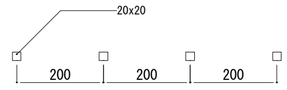
D:ピクト表示：塩ビシート切文字貼り　3箇所



S=1:2

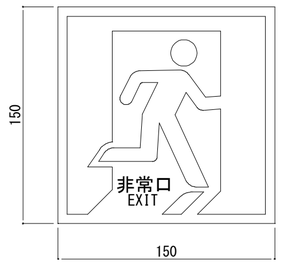
E:衝突防止表示：塩ビシート切文字貼り　11箇所

設置箇所　SD-1　×1
AW-1　×2
AW-3　×7
AW-5　×1



S=1:10

F:誘導標識　3箇所



S=1:3

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第152538号	承認	調査	設計	設計年月	全葉	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	A-031
					渡辺	木皿	斎藤・八島	H25.10		図面名称	サイン計画図	Scale	1/2 1/3 1/5 1/10

搬出入時　誘導員配置

<<キャスターゲート>>
別途災害公営住宅工事で
設置するものを共用

防音シート(H=3000) L=57m

道路境界線

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉

工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築および環境整備工事	No	A-032
図面名称	仮設計画図	Scale	1/400

災害公営住宅

隣地境界線

ひろば
OF-3

縁側
OF-2

縁側
OF-2
FL-10

OF-4

OF-1
FL-30
寄り付き

FL-2770

FL-2620

FL-50

<<U字側溝：災害公営住宅工事>>

<縁側下集水桝：機械設備工事>

<集水桝：機械設備工事>

<雨水桝：機械設備工事>

<VP150：集水桝より先は機械設備工事>

<散水栓：機械設備工事>

<<フェンス：別途造成工事>>

<<フェンス：別途災害公営住宅工事>>

<<外構別途工事>>

竪樋

転落防止手すり

集水桝

伸縮目地@3000

U240

フェンス

軒先端を示す

延焼のおそれのある範囲

<<モルタル吹付法面保護：造成工事>>

<<排水側溝：造成工事>>

<<ブロック積擁壁：造成工事>>

プロパンガス ボンベ基盤

L=38.211

i=0.838%

i=8.0%

i=7.912

L=24.6

1:1.8

1:1.36

1500

3000

9100

2730

1820

820

2730

12740

4550

910

5460

6370

2730

32760

21.685

20.187

11.098

14.200

13.700

13.700

7.791

9.615

1.528

12.240

14.819

14.80

14.03

11.55

13.270

10.78

8.74

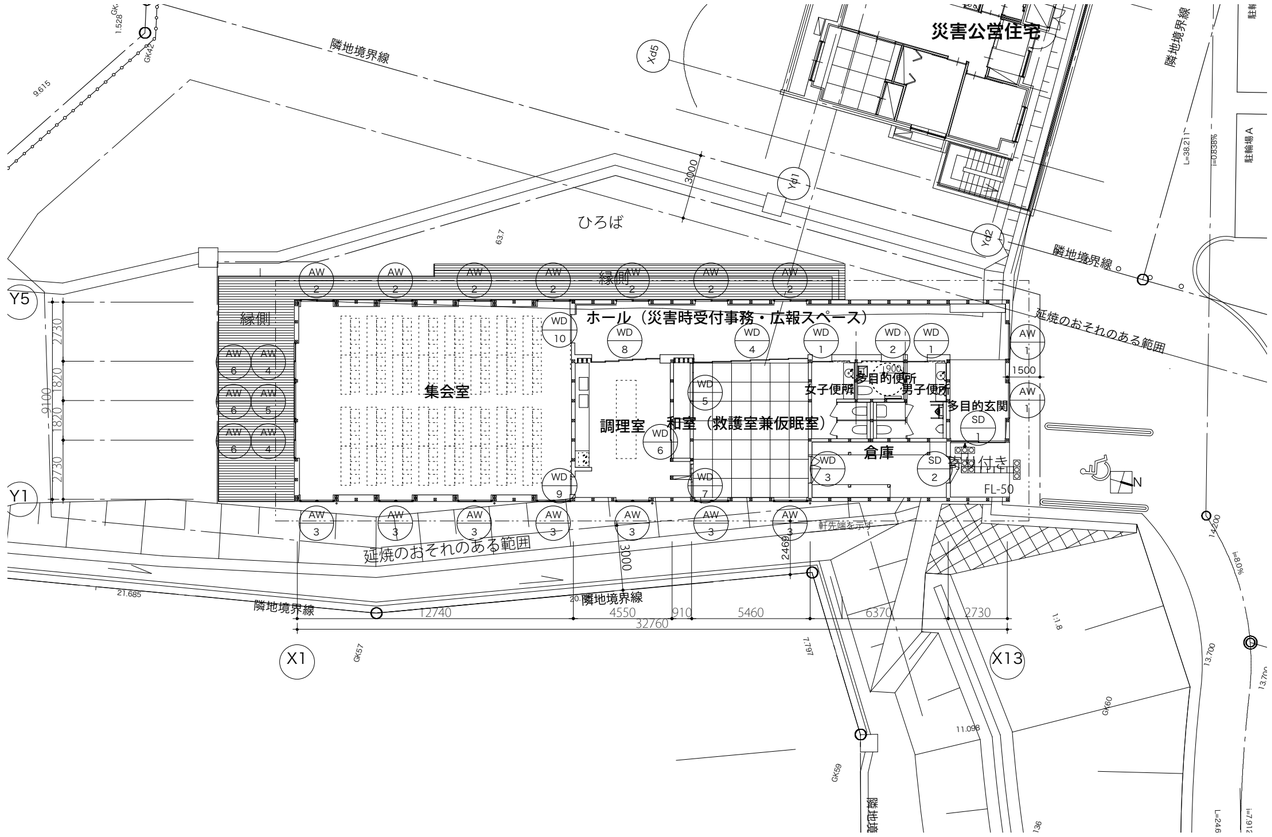
8.34

7.35

63.7

名称	数量	単位
U字側溝（U240）	24.0	m
集水桝	1	ヶ所

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 雨水排水計画図	No A-033 / Scale 1/100



集会室	116.20㎡		
採光	×1/20	5.81	
	AW-2	1.540×2.00×3×4=36.9600	
	AW-3	1.565×2.400×3×4=45.0720	
	AW-4	1.690×2.030×3×2=20.5842	
	AW-5	1.690×2.030×3=10.2921	
	AW-6	1.690×1.370×3×3=20.8377	
	合計	133.746＞5.81	よりＯＫ
排煙	×1/50	2.32	
	AW-3	0.780×0.49×2×4=3.0576	
	合計	3.0576＞2.32	よりＯＫ
ホール（災害時受付事務・広報スペース）＋多目的玄関		64.59㎡	
採光	×1/20	3.22	
	AW-1	1.660×2.400×3×2=23.9040	
	AW-2	1.540×2.00×3×3=27.7200	
	合計	51.6240＞3.22	よりＯＫ
調理室	30.63㎡		
採光	×1/20	1.53	
	AW-3	1.565×2.400×3=11.2680	
	合計	11.2680＞1.53	よりＯＫ
和室（救護室兼仮眠室）	32.29㎡		
採光	×1/20	1.61	
	AW-3	1.565×2.400×3×2=22.5360	
	合計	22.5360＞1.61	よりＯＫ
全ての居室共通			
換気	機械換気		
消防	290.93㎡		
普通階算定	×1/30	9.70	
	SD-1	1.200×2.400=2.880	
	AW-2	0.700×2.00×7=9.800	
	AW-4	0.800×2.00×2=3.200	
	合計	15.8800＞9.70	よりＯＫ

採光補正係数について
市街化調整区域であるため、α=10、β=1、D=4
最も隣地境界に近い開口部AW-3を基準に考えると
h=1.200m、d=2.469m
したがって採光補正係数Aは
A=2.4649/1.200×10-1≫3であるから
全ての開口部についてA=3である。

備考		関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斎藤・八島	設計年月 H25.10	全葉	工事名 平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 法規チェック図	No A-100 / Scale 1/200

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は■印を記入する。

① 建築物の構造内容

(1) 工事名称　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
建築場所　宮城県宮城郡むヶ浜町花渕浜字五月田15-3の－部, 50-26の－部, 50-27の－部, 50-30の－部, 50-40, 50-41の－部, 50-42の－部, 76-1の－部, 77-1の－部, 78-1の－部, 79の－部

(2) 工事種別　◉新築　□増築　□増改築　□改築

(3) 構造種別
◉木造（W）　□補強コンクリートブロック造（CB）　□鉄骨造（S）
□鉄筋コンクリート造（RC）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）

(4) 階　数　地下　階　地上　1　階　塔屋　階

(5) 主要用途　地区避難所

(6) 屋上付属物
□高架水槽　kN　□キュービクル　kN　□広告塔　□煙　突

(7) 特殊な荷重
□エレベータ　人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式）　□リフト　kN
□倉庫積載床用　N/m²　□受水槽　kN　□ホイスト　kN

(8) 付帯工事
□門　扉　□擁　壁　□駐車場　□機械式駐車場　□

(9) 増築計画　□有（　）　◉無

(10) 構造計算ルート　X方向ルート１－（　）　Y方向ルート１－（　）

② 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質管理強度 Fq=N/mm²	スランプcm	備　考
捨コンクリート	■普通	18		15	
土間コンクリート	■普通	21	24	18	
基礎，基礎梁	■普通	21	24	18	
梁・壁・床・屋根	□普通 □軽量				比重
	□普通 □軽量				比重
押えコンクリート	□普通 □軽量				比重
細骨材の種類	■砂 □山砂 □人口 □				
粗骨材の種類	□砂利 ■砕石 □人口 □				
水の区分	■水道水 □地下水 □工業用水 □				
混和材料の種類	■ＡＥ減水剤 □高性能ＡＥ減水剤 □				
呼び強度を保証する材齢	■28日 □56日				

(2) コンクリートブロック（CB）
□A種　□B種　□C種　厚□100　□120　□150　□190

(3) 鉄　筋

種　類	径	使用箇所	継手工法
◉SD295A	D16以下		◉重ね継手 D16以下
□SD295B			□ガス圧接継手
□SD345	D19以上		
□SD390			□特殊継手（　）
□			
□SR235			

異形鉄筋
高強度せん断補強筋
丸　鋼
溶接金網（JSG350）

(4) 鉄　骨

種　類	使用箇所	現場溶接	備　考
□SS400 □SM400 □SN400A，B，C		□有 □無	
□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	
□BCR295 □BCP235 □		□有 □無	
□SN490A □SN490B □SN490C		□有 □無	
□SSC400 □		□有 □無	

(5) ボルト　○使用箇所の詳細については別途図示とする。
□高力ボルト
□普通，F10T　□S10T　□認定品（□M12 □M16 □M20 □M22 M24）
□中ボルト　M=　高力ボルトすべり係数試験　□要 □否
高力ボルト導入張力確認試験　□要 □否
□アンカーボルト
□SS400 M　L=　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
□ABR400 M　L=　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
□頭付スタッドボルト　φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）
φ=　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

(6) 屋根，床，壁
□ＡＬＣ版　壁厚　□スライド構法　□ボルト止め構法　□ロッキング構法
□折　版　H=　厚
□デッキプレート　形式　厚
□キーストンプレート　形式　厚
□特殊デッキプレート

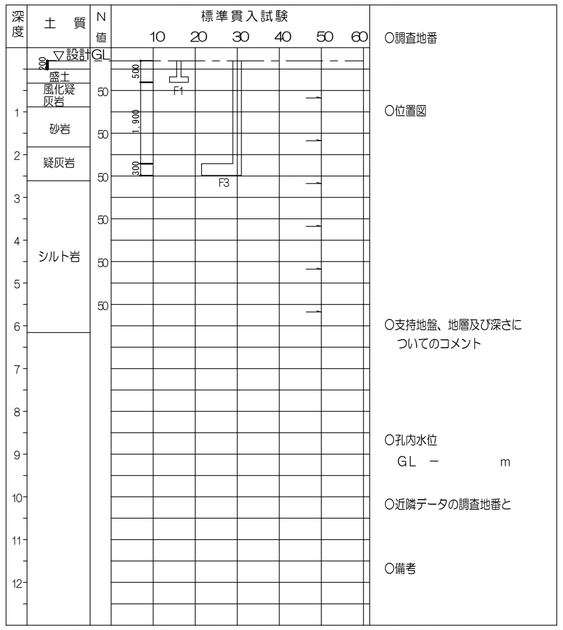
③ 地盤

（１）地盤調査資料
◉有（◉敷地内　□近隣）　□無（□調査計画　□有　□無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験杭（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（２）　ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

④ 地業工事

(1) 直接基礎　□ベタ基礎　◉布基礎　□独立基礎　試験堀　□有 □無
深さ GL-0.50～2.70 m　支持層 -
長期許容支持力度　200 kN/m²　載荷試験　□有 ◉無

(2) 杭基礎　支持層 －

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC	PRC（□種 □Ⅱ種 □Ⅲ種）□打込み		
□PHC □H鋼	PHC（□A種 □B種 □C種）□埋込み （セメントミルク工法）		
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400 □		認定第　号
□SC杭 □	□		年　月　日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc=　N/mm² スランプ セメント量　kg/m³ 鉄筋主筋 SD345 フープ SD295A	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □ＢＨ □深礎（□手堀 □機械堀）	第　号 年　月　日

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有・□無）　（□打込み・□載荷・□孔壁測定）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭先端の深さ（m）	本数	特記事項

⑤ 鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度（Ｆｃ）が36N/mm²以下に適用する。

(1) コンクリート
◉コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きＪＡＳＳ５による。
◉耐久設計基準強度 Ｆｄ　□一般　◉標準　□長期
◉セメントはＪＩＳ Ｒ5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉構造体コンクリートの現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとによる。
また打ち込み量が150m³を越える場合は150m³ ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。
１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
◉ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づいて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄　筋
◉鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除きＪＡＳＳ５（2009）による。
□高強度せん断補強筋はJIS G3137に規定されるD種１号適合品とする。
◉鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
◉D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、旧日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
□ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えるときは、200箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。
外観検査 □有 □無、　引張り試験 □有 □無、　超音波探傷試験 □有 □無
◉柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、　◉Ｈ型（タガ型）　□Ｗ型（溶接型）　□Ｓ型（スパイラル型）とする。
□コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第４条の試験機関で行うこと。
試験機関名　（知事登録　号）
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型　枠
◉材料　合板厚　12mmを標準とする。
◉施工はＪＡＳＳ５による。
◉型枠存置期間

種類 / 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 / 存置平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 高炉セメントA種
材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
材令（日） 5℃～15℃	3	5	6	12	12	25	28
材令（日） 5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	50kN/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）1　片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

⑥ 鉄骨工事　（施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
◉製作工場　◉製作要領書　□工作図　□施工計画書
◉認定工場（大臣認定　Ｊ　グレード　登録　T1　T2　T3ランク）
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材　□高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付スタッドボルト
◉社内検査表　□　□

(3) 工事監理者が行う検査項目
（◉印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　□製品検査
□建方検査　□　□

(4) 接合部の溶接は下記によること
◉鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第１２章）
◉日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ，Ⅸ」
◉日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
◉溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	% 個	% 個	% 個	
◉隅肉溶接部	外観（目視）試験	% 個	% 個	% 個	
□	マクロ試験・その他	個		個	
□	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名	（知事登録　号）				

第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注１）現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷試験を100%行なうこと。
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること。

□内質検査　□硬さ試験　□示温塗料塗布
◉高力ボルトは「ＪＩＳＢ1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤錆状態であること。ただしショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。
◉高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装
◉防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、□ＪＩＳ Ｋ5621、□ＪＩＳ Ｋ5625、□　を使用して、4Ω星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
◉現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
□

⑦ 設備関係

◉特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉設備機器の架台及び基礎については工事管理者の承認を得ること。
◉床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ、5cm以上を原則とする。

⑧ その他

◉諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
□

備考	構造　：(有) テラ構造設計　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月		工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	－
										図面名称	構造設計標準仕様	縮尺 A-2 －	図面番号 S － 01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d‥異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　D‥部材の成　　R‥直径

@‥間隔　　r‥半径　　℄‥中心線　　ℓo‥部材間の内法距離　　ho‥部材間の内法高さ

ST‥あばら筋　　HOOP‥帯筋　　SHOOP‥補強帯筋　　φ‥直径又は丸鋼

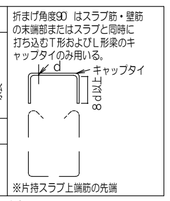
2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180	135	90
図	d, R, 余長	d, R, 余長	d, R, 余長
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイのみ用いる。



(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
d, R	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SD295A SD295B, SD345	16φ D16 以下	3d以上
			19φ D19 以上	4d以上
d, R	上記以外の鉄筋	SR235, SD295A SD295B, SD345	16φ D16 以上	
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

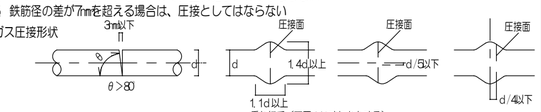
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm²)	定着の長さ 一般(L2)	定着の長さ 下ば筋(L3) 小梁	定着の長さ 下ば筋(L3) スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
SD295A SD295B	24～27	30d または 20d フックつき	20d または 10d フックつき	10d かつ 150mm以上	35d または 25d フックつき
	21	35d または 25d フックつき			40d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき
SD345	24～27	35d または 25d フックつき			40d または 30d フックつき
	21	35d または 25d フックつき			45d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき			50d または 35d フックつき

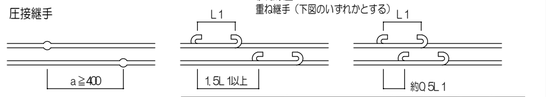
継　手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異径鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



圧接継手



(4) かぶり厚さ　(単位：mm)

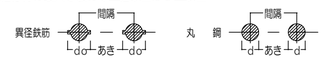
ひび割れ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位			設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ・床スラブ・非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 注1	30 注2
	柱・はり・耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 注3	40 注3 注4
土に接する部分	擁壁		50 注3	40
	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 注5
	基礎・擁壁		70	60 注5

(注)(1 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3 コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5 ( ) 内は仕上げがある場合。
(6 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを増し打ちとする。

(5) 鉄筋のあき

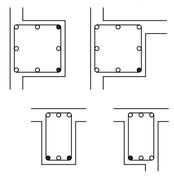
丸鋼では径、異径鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック　(a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

a. 丸鋼　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

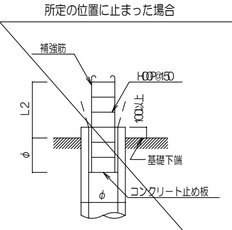
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



3. 杭　(地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。)

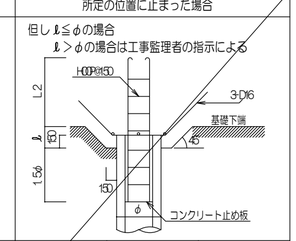
(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合



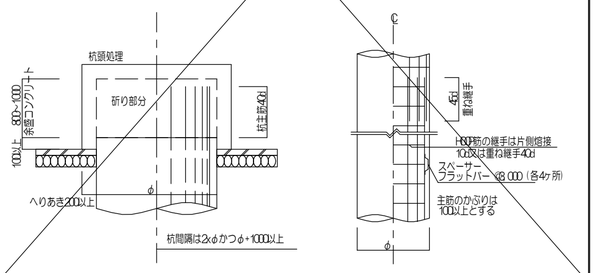
所定の位置に止まった場合

但しℓ≦φの場合
ℓ＞φの場合は工事監理者の指示による



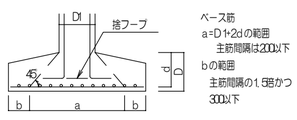
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

(2) 場所打コンクリート杭　(杭リスト参照のこと)

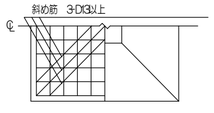


4. 基　礎

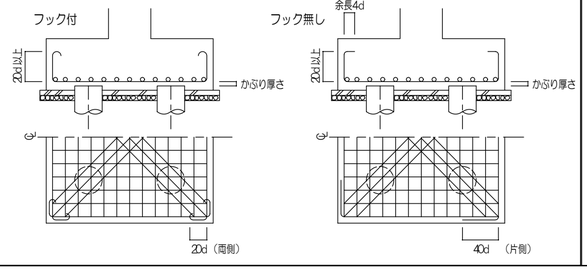
(1) 直接基礎



ベース筋
a=D1+2dの範囲
主筋間隔は200以下
bの範囲
主筋間隔の1.5倍かつ300以下

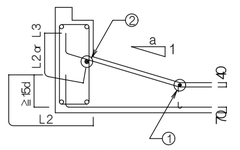


(2) 杭基礎



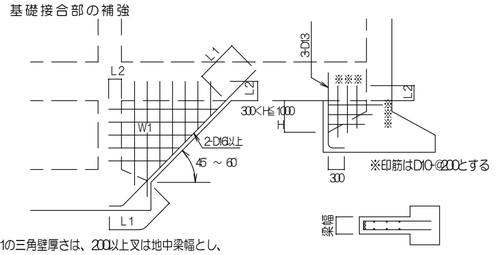
(3) べた基礎

ハンチを付けた場合 (a≧3)



1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
   但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40dを70とする

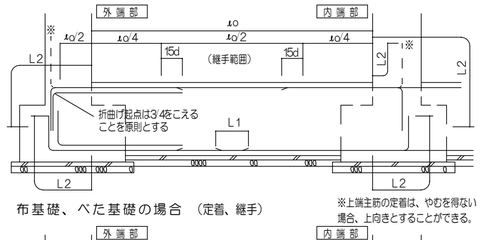
(4) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストによらう

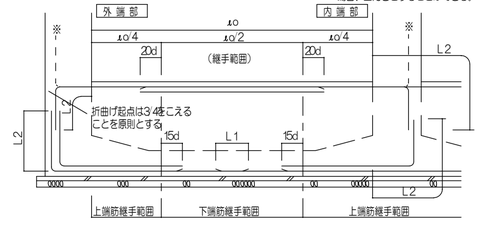
5. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合　(定着、継手)



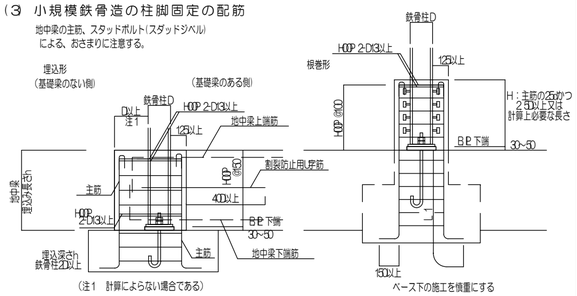
(2) 布基礎、べた基礎の場合　(定着、継手)

※上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

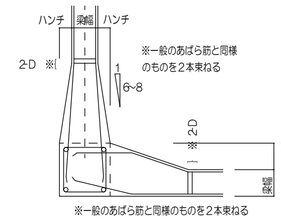


(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

地中梁の主筋、スタッドボルト(スタッドジベル)による、おさまりに注意する。



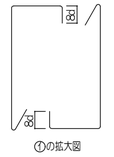
(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



(5) せいの高い梁のあばら筋

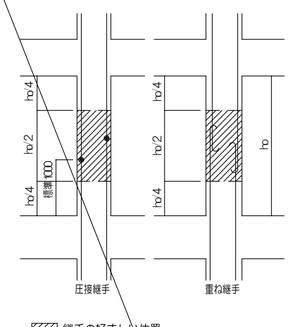
加工要領図

D 1500を超える場合



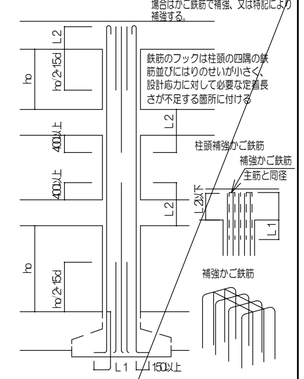
6. 柱

(1) 柱主筋の継手

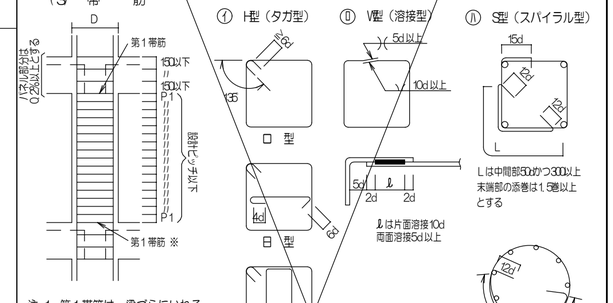


(2) 柱主筋の定着

柱、梁の定着L2以上が確保されていない場合はかご筋で補強、又は特記による補強する。



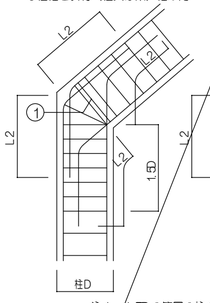
(3) 帯　筋



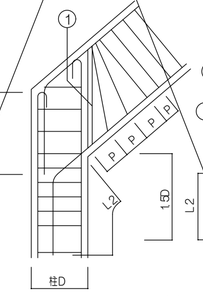
注 1. 第1帯筋は、梁づらにいれる
注 2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする

(4) 斜め柱・斜め梁

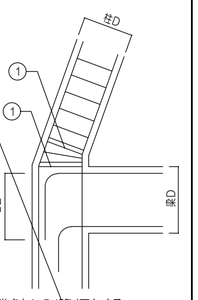
○柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一



○柱幅と斜材が異る

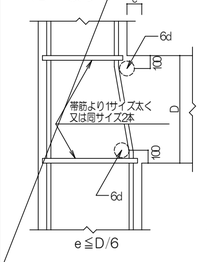


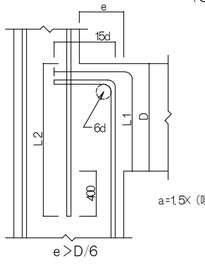
○柱脚で斜材となる



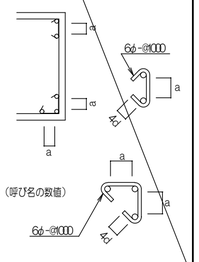
注1．1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする。
注2．①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする。

(5) 絞り





(6) 二段筋の保持



備考	構造 ：(有) テラ構造設計　　一級建築士登録 第146702号 高橋 一夫								
	Sight of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第11X10168号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年 6月	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
								図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

設計番号 －
縮尺 A-2 －
図面番号 S － 02

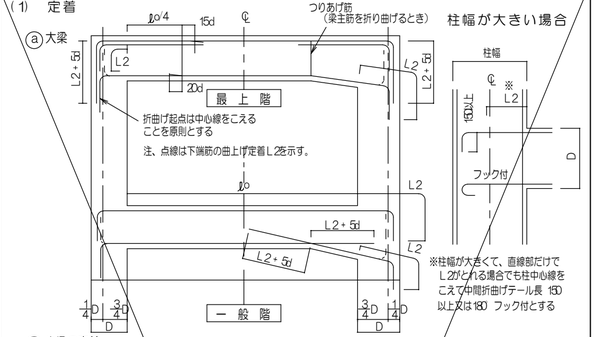
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと
L＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3による。

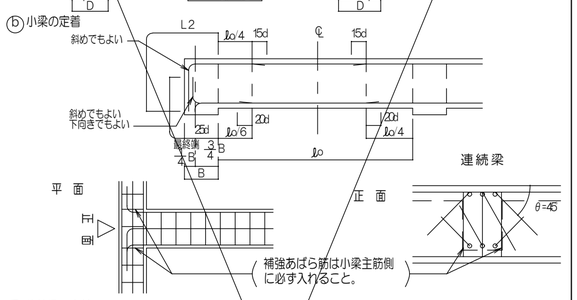
7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

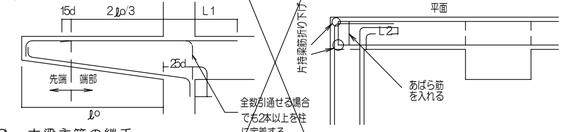
ⓐ 大梁



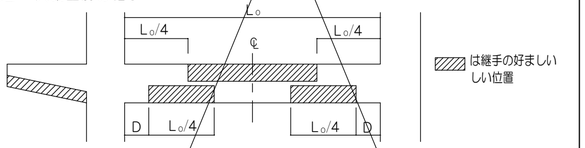
ⓑ 小梁の定着



ⓒ 片持梁の定着

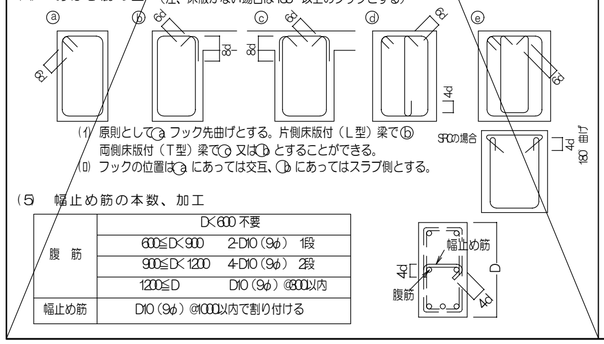


(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止め筋の配置

(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135 以上のフックとする)



(1) 原則としてⓐフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁でⓑ両側床版付(T型)梁でⓒ又はⓓとすることができる。
(2) フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

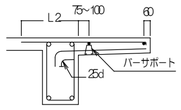
(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600 不要	
	600≦D<900	2-D10(9φ) 1段
	900≦D<1200	4-D10(9φ) 2段
	1200≦D	D10(9φ) @600以内
幅止め筋	D10(9φ) @1000以内で割り付ける	

8. 床 板

(1) 定着および継手

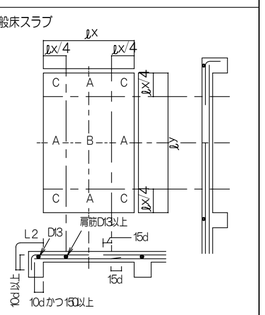
ⓐ 片持床スラブ



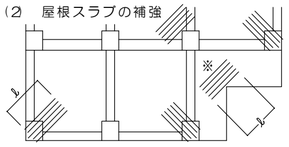
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ

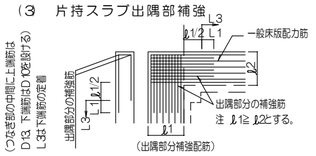


(2) 屋根スラブの補強

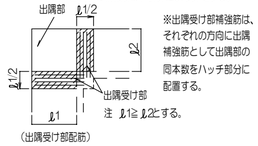


ⓐ補強筋は各3-D13 又はスラブ主筋の同一径で l=1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の個所(入隅)は各筋補強する

(3) 片持スラブ出隅部補強

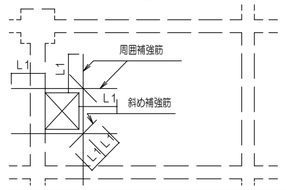


注) 出隅部の補強筋は、計算により算定する。

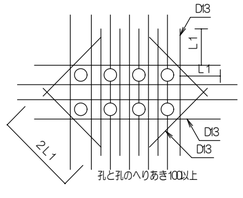


※出隅受け部補強筋は、それぞれの方向に出隅補強筋として出隅部の同本数をハッチ部分に配筋する。

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500以下の場合)

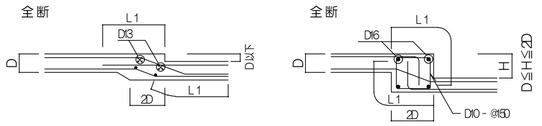


床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16



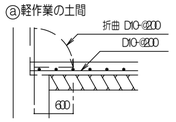
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する

(5) 床板段差

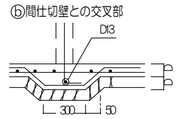


(6) 土間コンクリート

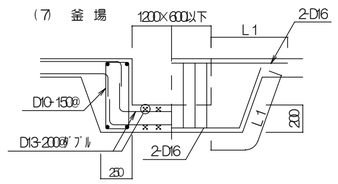
ⓐ軽作業の土間



ⓑ間仕切壁との交叉部



(7) 釜場



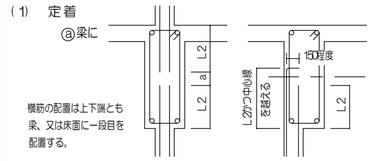
(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打断面について)

●設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L 1以上
●無筋部分D10-@200 長さ800以上

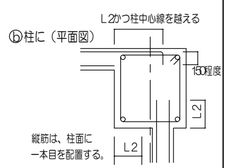
9. 壁

(1) 定着

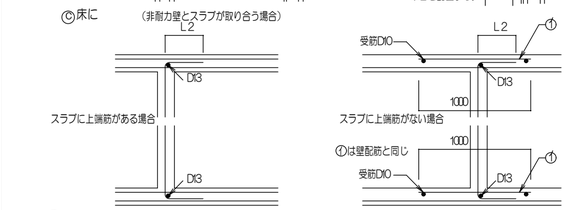
ⓐ 梁に



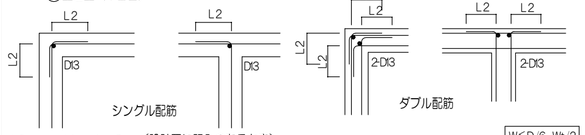
ⓑ 柱に (平面図)



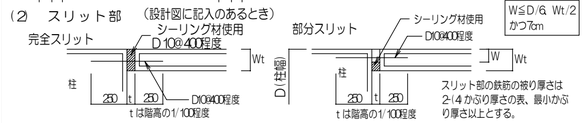
ⓒ 床に



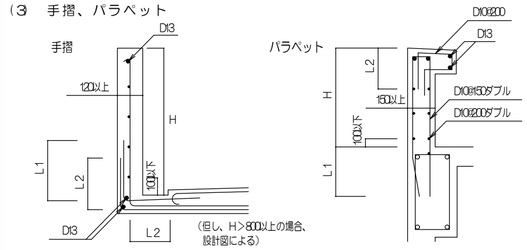
ⓓ 壁と壁 (平面図)



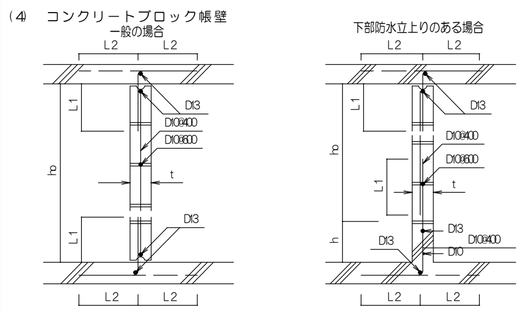
(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)



(3) 手摺、パラペット



(4) コンクリートブロック帳壁

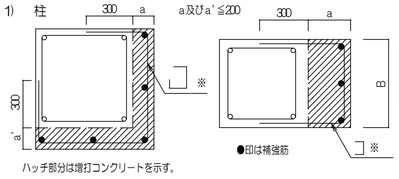


注) ho≦2h かつ3600以下とする。但し直交方向2h以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) Hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱



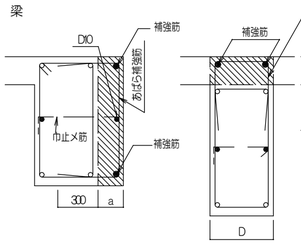
ハッチ部分の面積 Acm²

補強タテ筋

Ac≦500	500≦Ac<1000	1000≦Ac<1500
3-D16	4-D16	6-D16

●印は補強筋
※柱と同径、同ピッチとする。

(2) 梁

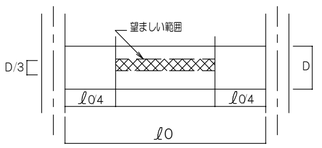


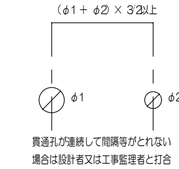
●補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
●D≧400の場合は補強筋を3本とする。
●aは100~200程度。
●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン l/10以内かつ2D以内)は避ける

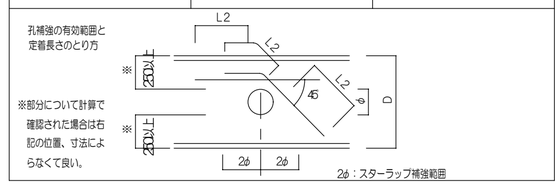




貫通孔が連続して間隔等がとれない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋 但し φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100<φ≦150	150<φ≦250
折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13	折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13-@50 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13-@50	折筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13-@50 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13-@50



(3) 既製品 (使用する際には、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

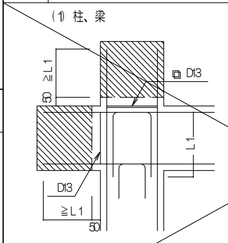
ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。
施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

□ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

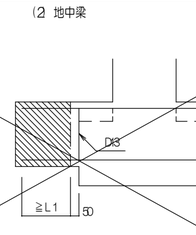
12. 増築予定

(将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)

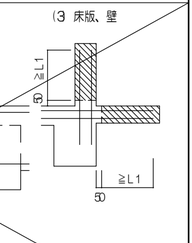
(1) 柱、梁



(2) 地中梁

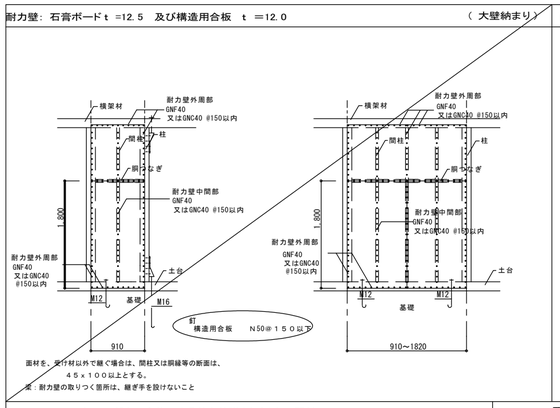


(3) 床版、壁



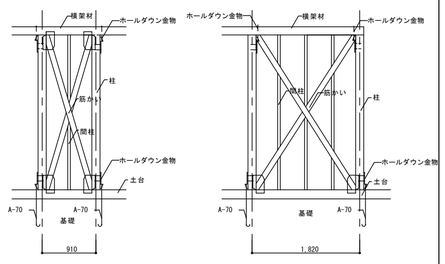
備考	構造 : (有) テラ構造設計 一級建築士登録 第146702号 高橋 一夫	Structural Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年 6月	工事名	平成26年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	—
										図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	縮尺 A-2 —	図面番号 S — 03

耐力壁：石膏ボードｔ=12.5 及び構造用合板 ｔ=12.0 （大壁納まり）



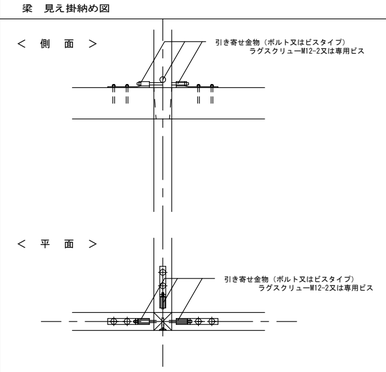
面材を、受け材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴縁等の断面は、
４５×１００以上とする。
梁：耐力壁の取りつく箇所は、継ぎ手を設けないこと

耐力壁 （筋違い）

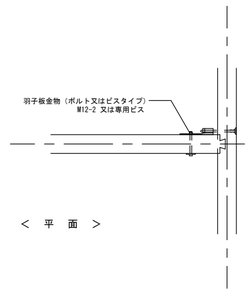


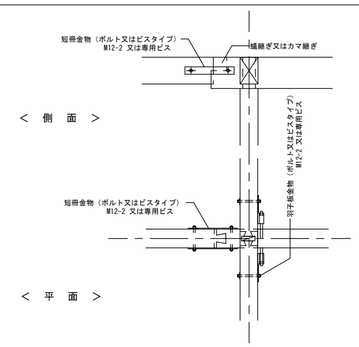
梁：耐力壁の取りつく箇所は、継ぎ手を設けないこと
やむをえず継ぎ手が生じた場合は、金物補強（短ざく金物両面）とする。

梁 見え掛納め図



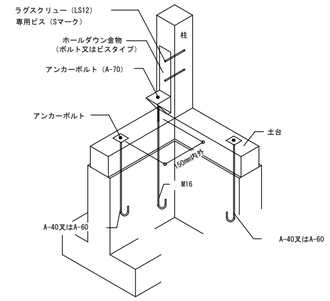
一般梁仕口・継手図



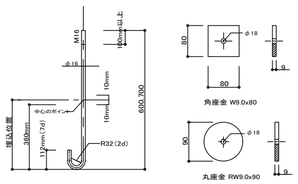


ホールダウン金物による柱と基礎（土台）との緊結

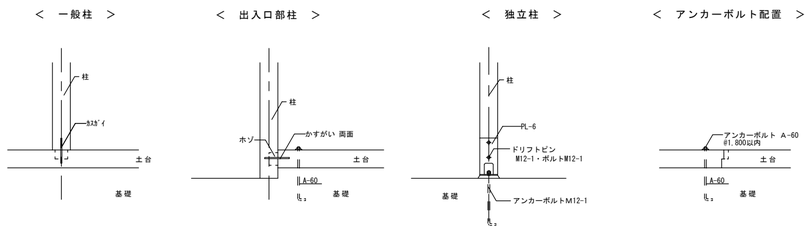
ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接、基礎に緊結する



アンカーボルト（A60, A70）詳細図



柱・土台 接合



アンカーボルトの施工要領

1. アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込長さはA-60,A-70は360mm以上,A-40は250mm以上とし、
埋込位置のマーク（埋込マークの中心のポイント）により確認する。
2. アンカーボルトの先端は土台の上端よりナットの外にねじが3山以上出るように固定する。
3. アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ、適切な機器などで正確の行う。
4. アンカーボルトの保持は、型板を用いる等して正確に行い、移動、下部の振れ等のない様に充分固定する。
5. アンカーボルトは衝撃等による有害な曲がりが生じない様取り扱い
ねじ部の損傷、さびの発生、汚損を防止する為に布、ビニールテープ等を巻いて養生を行う。
6. ホールダウン金物(HDB又はHDN)を専用アンカーボルトで直接緊結する場合は、取り付く柱面より
40mm（±5mm）の位置に専用アンカーボルトを正確に埋め込む。
スリムタイプのホールダウン金物(SHD)を用いる場合は、柱面より31mm（±1mm）の位置に埋め込む。
7. ホールダウン金物を座金付きボルト(M16W)で緊結する場合は、土台材に亀裂が生じないように、
座金付きボルトの芯より150mm内外の距離をとってアンカーボルトを埋め込む。
8. アンカーボルトの保持および埋込みは鉄筋などを用いて組立て、適切な補強材で型枠、鉄筋等に
固定してコンクリートの打ち込みを行う。

ホールダウン金物の施工要領

1. ホールダウン金物は柱の下部に、原則として締め代を30mm程度とり、
ラグスクリュー(LS12)又は専用ビスで柱に固定する。
2. ラグスクリューを用いる場合は位置を正確に決めた後、ねじ部の先穴（ねじ径の60～70%）を
ラグスクリュー長さだけ正確にドリルで開け、次に胴部の先穴（胴部と同径）を胴部の長さだけドリル
で開ける。ラグスクリューの挿入はレンチ等で回しながら行い、ハンマー等で打ち込んではならない。
挿入を容易にするため石けん、又はシリコン等の潤滑剤を用いてもよい。
3. 座金付きボルト(M16W)を用いて土台を介して緊結する場合は、あらかじめホールダウン金物の
取り付く柱の土台下部に座堀り行い、座金付きボルトを挿入した後、土台をアンカーボルトにより
基礎に緊結するとともに、ホールダウン金物の下部にナットで緊結する。

接合金物

種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途	備考
短ざく金物 S	L(mm) :300, 330, 360, 390, 420, 450	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5X40 スクリュー釘 ZS50	１，２階管柱の連結、胴差相互の連結等	
ひら金物 SM-12	SM-12	太め釘 ZN65	SM-12 かすがいと同等の用途	
SM-40	SM-40		SM-40 管柱の連結等	
かね折り金物 SA	L(mm) :210, 240, 270, 300, 345	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5x40 スクリュー釘 ZS50	通し柱と胴差の取合い	
ひねり金物 ST （右ひねりのみ）		太め釘 ZN40	たるきと軒げた，または、もやの接合	
折曲げ金物 SF （右ひねり及び左ひねり）		太め釘 ZN40	ひねり金物と同様の用途	
くら金物 SS		太め釘 ZN40	ひねり金物と同様の用途	
かど金物 CP-L CP-T		太め釘 ZN65	引張りをうける柱と土台・横架材の接合	
山形プレート VP		太め釘 ZN90	かど金物と同様の用途	

接合金物

種類	記号	形状寸法（単位：m）	使用接合具	用途	許容耐力（kgf）
ホールダウン金物（引き寄せ金物）	S-HD-10	S-HD-10	六角ボルト (2-M12) 又は、ラグスクリュー (2-LS12)	柱と基礎（土台）又は、管柱相互の緊結	1000 (短期)
	S-HD-15	S-HD-15	六角ボルト (3-M12) 又は、ラグスクリュー (3-LS12)		1500 (短期)
	S-HD-20	S-HD-20	六角ボルト (4-M12) 又は、ラグスクリュー (4-LS12)		2000 (短期)
	S-HD-25	S-HD-25	六角ボルト (5-M12) 又は、ラグスクリュー (5-LS12)		2500 (短期)
	S-HD-10	S-HD-10	六角ボルト (2-M12) 又は、ラグスクリュー (2-LS12)	柱と基礎（土台）又は、管柱相互の緊結	1000 (短期)
	S-HD-15	S-HD-15	六角ボルト (3-M12) 又は、ラグスクリュー (3-LS12)		1500 (短期)
	S-HD-20	S-HD-20	六角ボルト (4-M12) 又は、ラグスクリュー (4-LS12)		2000 (短期)
	S-HD-25	S-HD-25	六角ボルト (5-M12) 又は、ラグスクリュー (5-LS12)		2500 (短期)

接合具

種類・記号	形状・寸法	種類・記号	形状・寸法	種類・記号	形状・寸法
太め釘 ZN40 ZN65 ZN90		全ねじボルト M12x115 六角袋ナット M12		かすがい C120 C150	
スクリュー釘 ZS50		角座金	W4.5x40	手違いかすがい CC120 CC150 （右ひねり及び左ひねり）	
ラグスクリュー LS12			W9.0x80	アンカーボルト A	
六角ボルト・六角ナット ボルト M12 ナット M12	L (mm):110, 125, 140, 165, 180, 195, 210, 225, 240, 255, 270, 285, 300, 315, 330, 345, 360, 375, 390, 405, 420, 435, 450, 480, 510, 540, 570, 600	丸座金	RW9.0x90φ	アンカーボルト A-60 A-70	
ボルト M16 ナット M16		座金付きボルト	M16W		

接合具

種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途	備考
筋かいプレート BP		角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2.3x30 六角ナット M12 太めくぎ ZN65	筋かいと柱及び横架材を同等に接合	
羽子板ボルト SB-E SB-F	L(mm):280, 310, 340, 370, 400, 430	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5X40 スクリュー釘 ZS50	小屋ばりと軒げた，軒げたと柱，はりと柱，胴差と通し柱の連結	
火打金物 HB		六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4.5x40 小型角座金 W2.3x30 平くぎ ZF55	床組及び小屋組の隅角部の補強	

※その他は住宅金融公庫基準仕様書による。

備考 構造：(有) テラ構造設計 一級建築士登録 第１４６７０２号 高橋 一夫

Spirit of Place 関・空間設計 宮城県知事登録 第 11X10168 号

管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	
			平成25年 6月	

工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事

図面名称 木造標準図 (1)

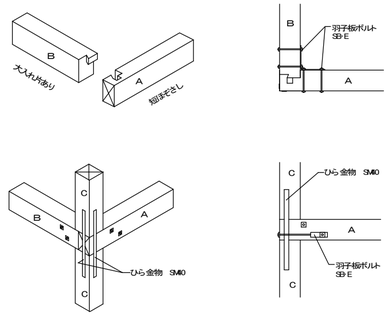
縮尺 A-2 －

設計番号 －

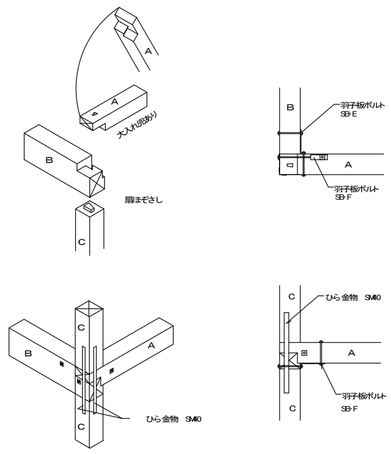
図面番号 S － 04

出隅、隅柱

直交する胴差がほぼ同寸で、かつ同一高さで取合う場合

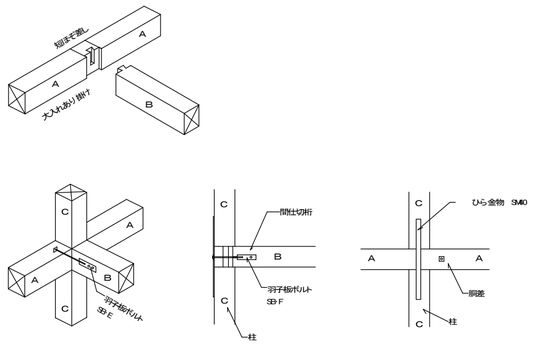


直交する胴差のせいが異なり段違いで取合う場合

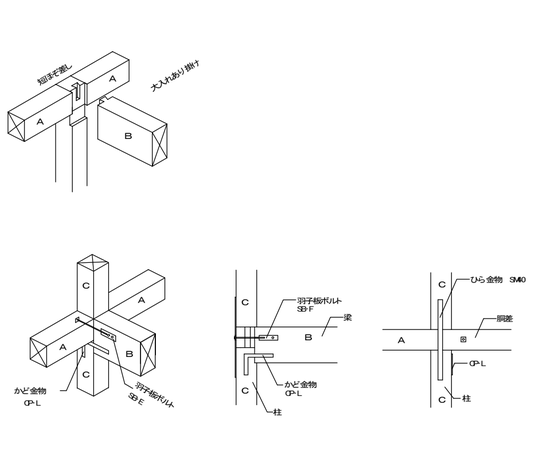


側柱（ 隅柱に準ずる柱）

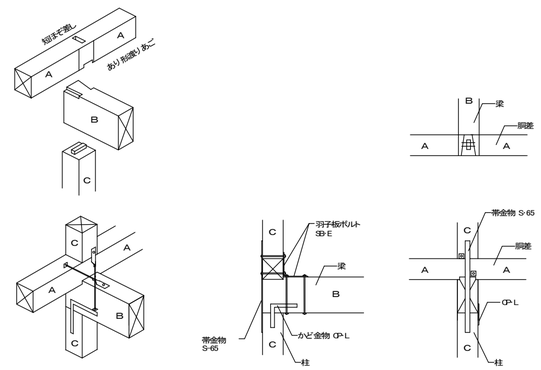
胴差と直交する間仕切桁が胴差と同寸程度で取合う場合



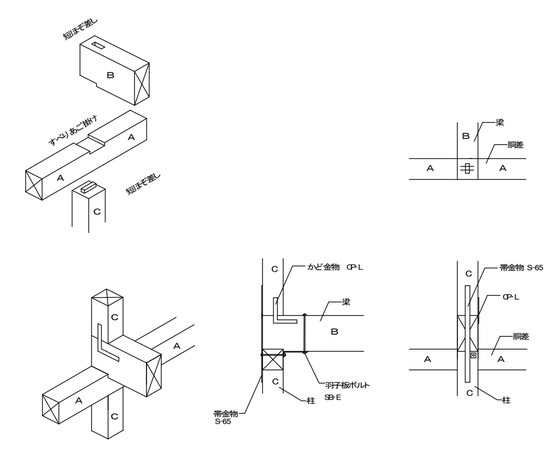
胴差と直交する梁が上端でそろう場合



胴差と直交する梁が胴差の下側にある場合

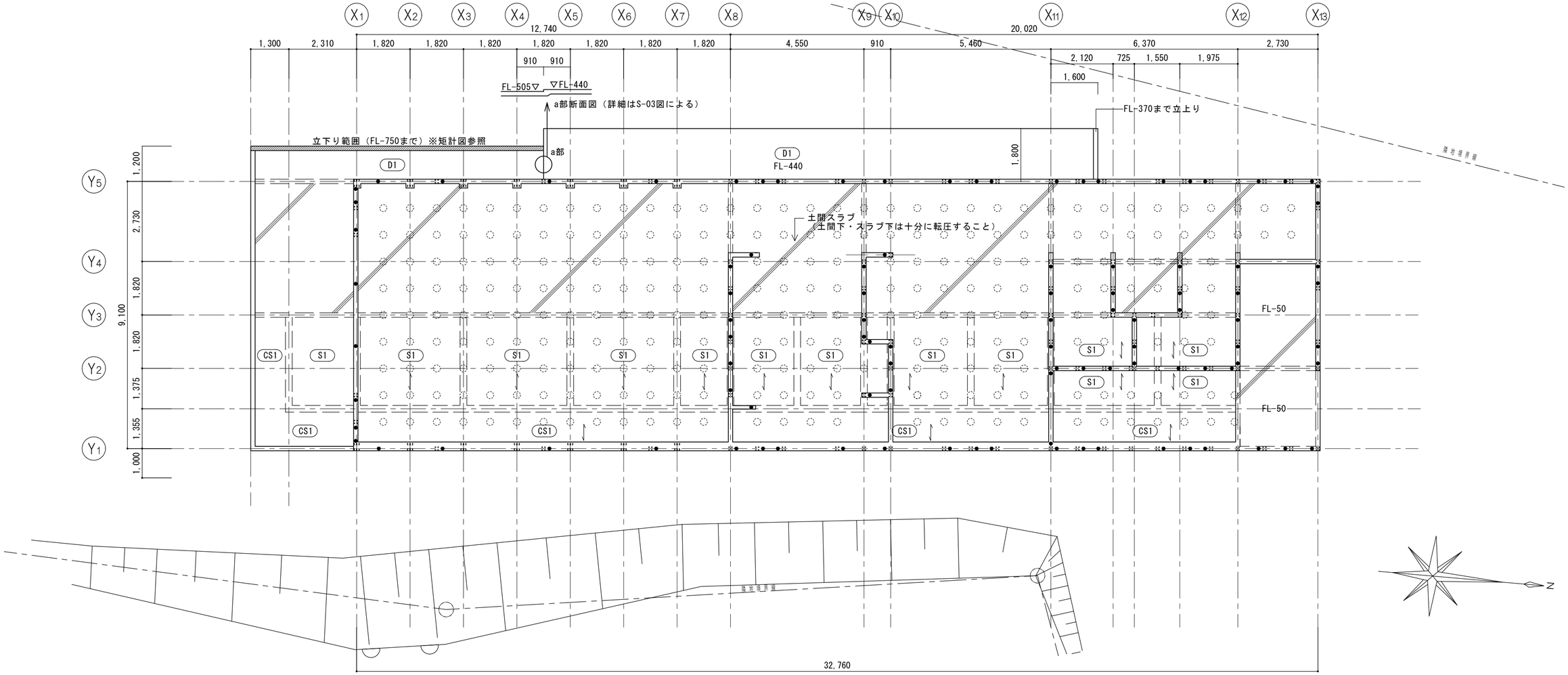


胴差と直交する梁が胴差の上側にある場合



※その他は住宅金融公庫基準仕様書による。

備考	構造 ：(有) テラ構造設計　一級建築士登録 第１４６７０２号 高橋 一夫	Spirit of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年 6月	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号 —
									図面名称 木造標準図 (2)	縮尺 A-2 —	図面番号 S — 05



スラブ伏図

■ 凡 例 ■

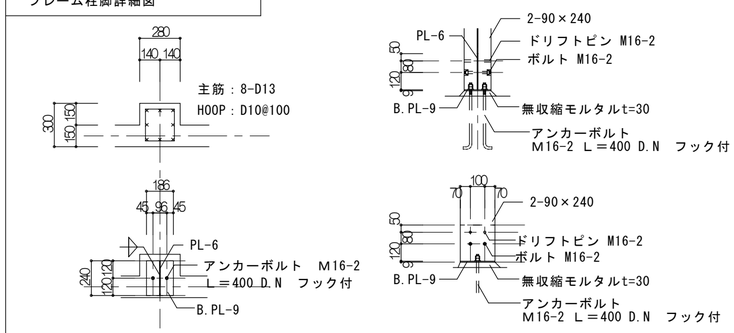
記号	名称	材種	サイズ
●	アンカーボルト	M12	特記無きは@2,700及び土台継ぎ手部分 コンクリート埋設部分250以上
○	プラ束		

備考
- ＊ 特記無きスラブ天端FL-505とする。
- ＊ コンクリート…FC21N/mm2 （普通コンクリート）
  - 捨コン …FC16N/mm2
  - 鉄 筋 …SD295A（D10～D16）
  - ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ …SS400
- ＊ ⟵ は主筋方向を示す
- ＊ 土間下・スラブ下は十分に転圧すること

スラブ・壁リスト

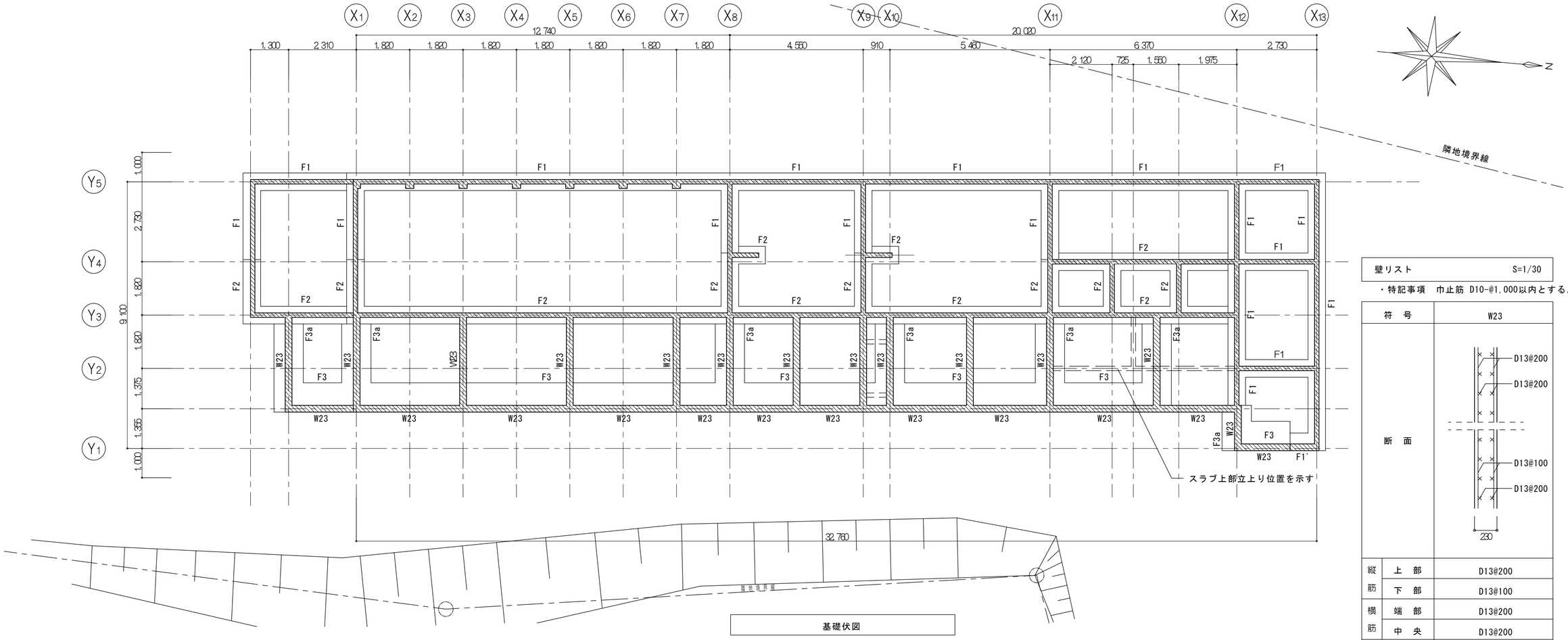
名称		厚	位置	主筋方向	配力筋方向
スラブ	S1	150～250 (F3端部250)	上筋	D13@200	D10@200
			下筋	D13@200	D10@200
	CS1	180～250	上筋	D13@100	D13@200
			下筋	D13@200	D13@200
土間	特記無し	150	シングル	D13@150	D13@150
犬走	D1	150	シングル	D10@200	D10@200

フレーム柱脚詳細図



備考	構造 ：(有) テラ構造設計 一級建築士登録 第１４６７０２号 高橋 一夫	Spirit of Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年 6月	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
										図面名称 スラブ伏図

設計番号	縮尺	図面番号
—	A-2 1/100・1/30	S － 06



基礎伏図

壁リスト S=1/30

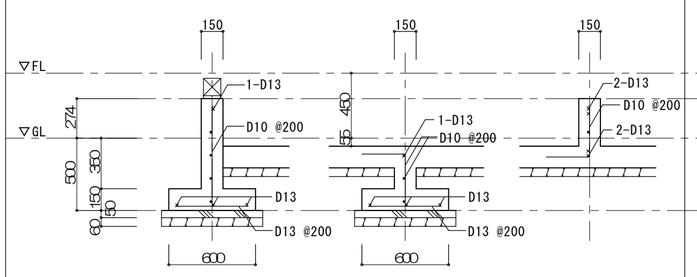
・特記事項　巾止筋 D10-@1,000以内とする。

符号		W23
断面		
縦筋	上部	D13@200
	下部	D13@100
横筋	端部	D13@200
	中央	D13@200
端部曲げ補強筋		4-D16

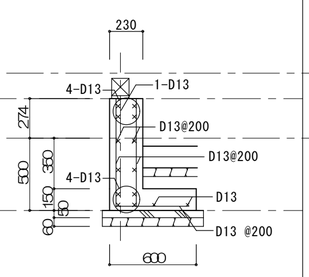
基礎リスト S=1/30

スラブ下　ポリエチレンフィルム　厚0.15敷込み
基礎下：捨てコンt50　砕石t60　土間下：砕石t60とする

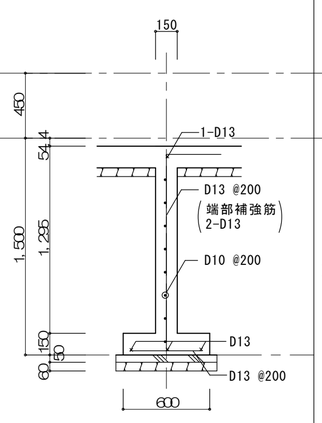
F1



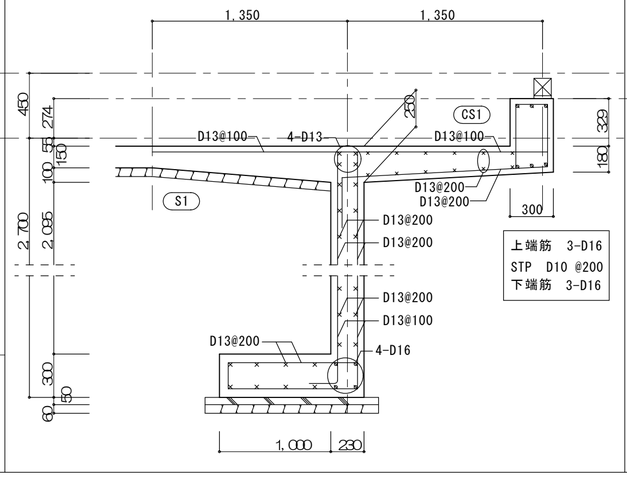
F1'



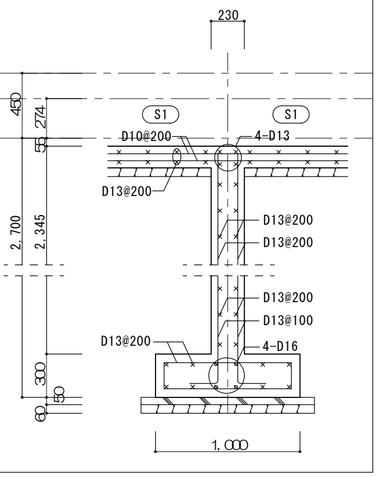
F2



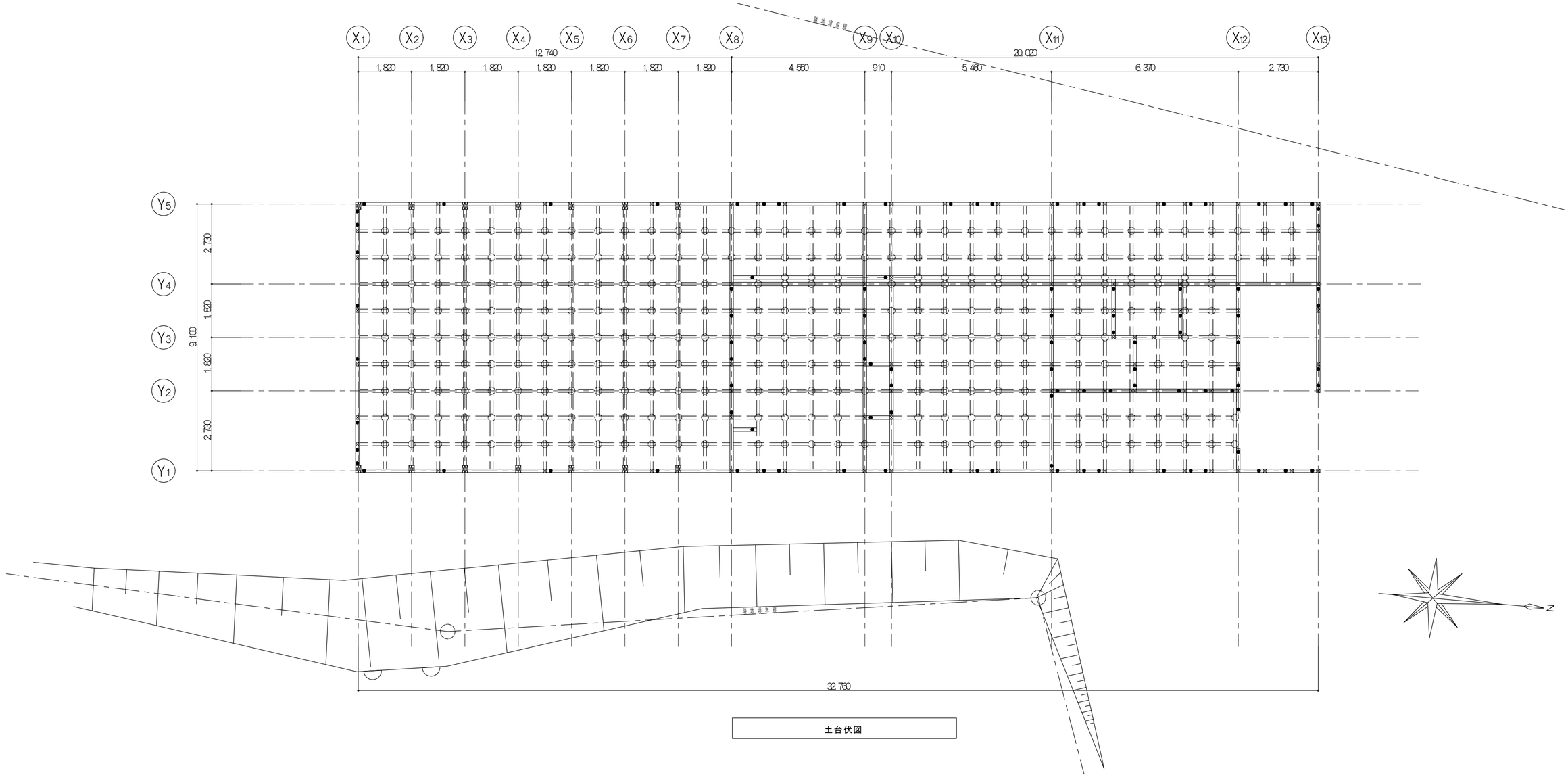
F3



F3a



備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月		工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	－
											図面名称	基礎伏図・基礎詳細図	縮尺 A-2　1/100・1/30	図面番号 S － 07

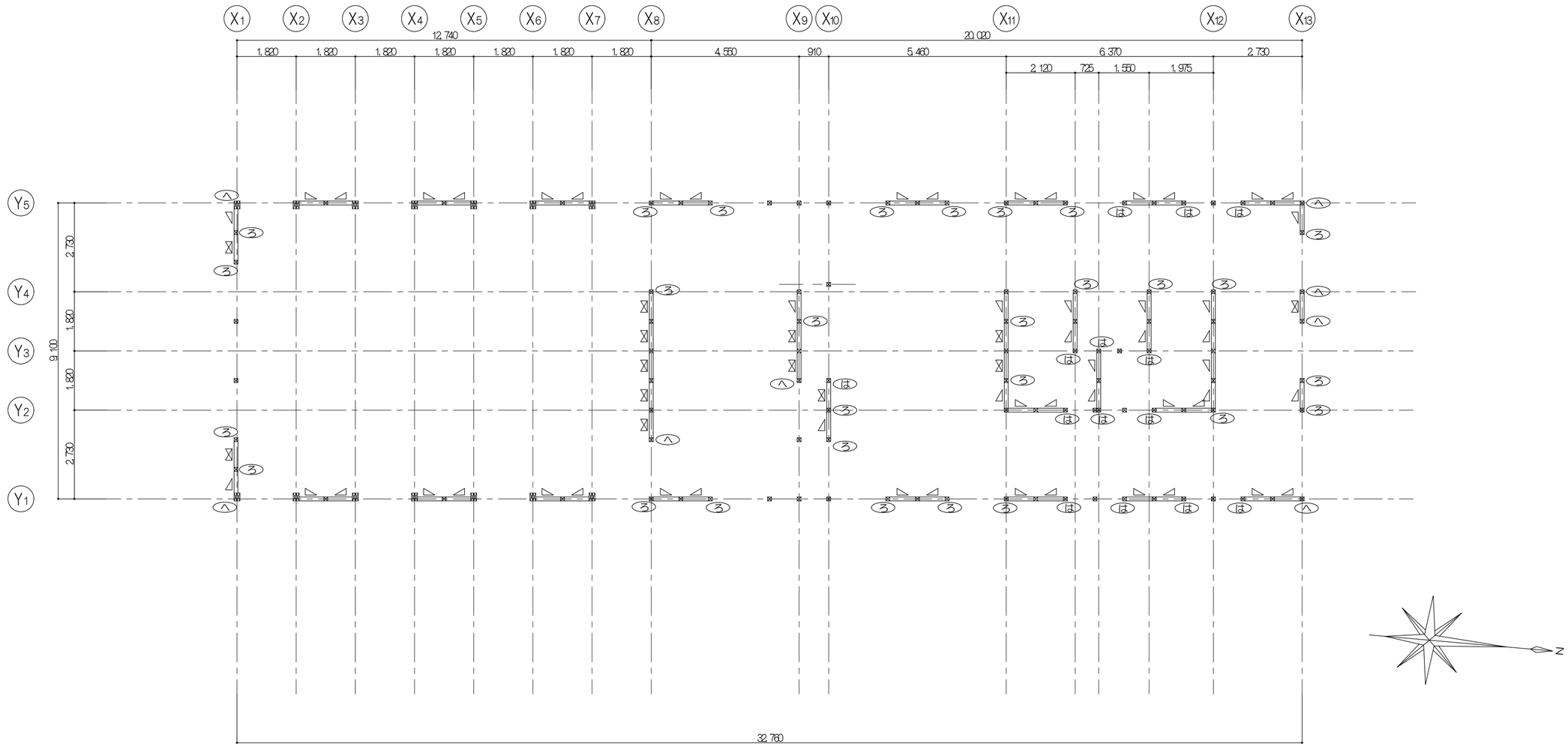


土台伏図

凡例

土台伏図								
記号	名称	材種	サイズ	記号	名称	材種	サイズ	備考
⊠	柱	杉	120×120	●	アンカーボルト	M12	特記無きは土台継ぎ手部分 特記無きは　@2,700	*金物：Ｚマーク同等品 *木床組部分　：構造用合板　厚24ｍｍ　千鳥貼り 釘Ｎ75@150以下　四周囲釘打ち JAS規格品　特類　2級とする *土台は、防腐、防蟻措置を行う事とする(F☆☆☆☆)。 2-120×120 ボルト1-M12@1,000
⊠		集成材 Ｅ120-Ｆ330	2-90×240　（フレーム）					
═	土台	ヒバ	120×120	○	プラ束		@910タテヨコ	
＝＝	大引き	ヒバ	105×105@910					

備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承　認	調　査	設　計	設計年月		工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	－
									平成25年　6月		図面名称	土台伏図	縮尺 A-2　1/100・1/30	図面番号 S － 08



耐力壁位置図

凡例

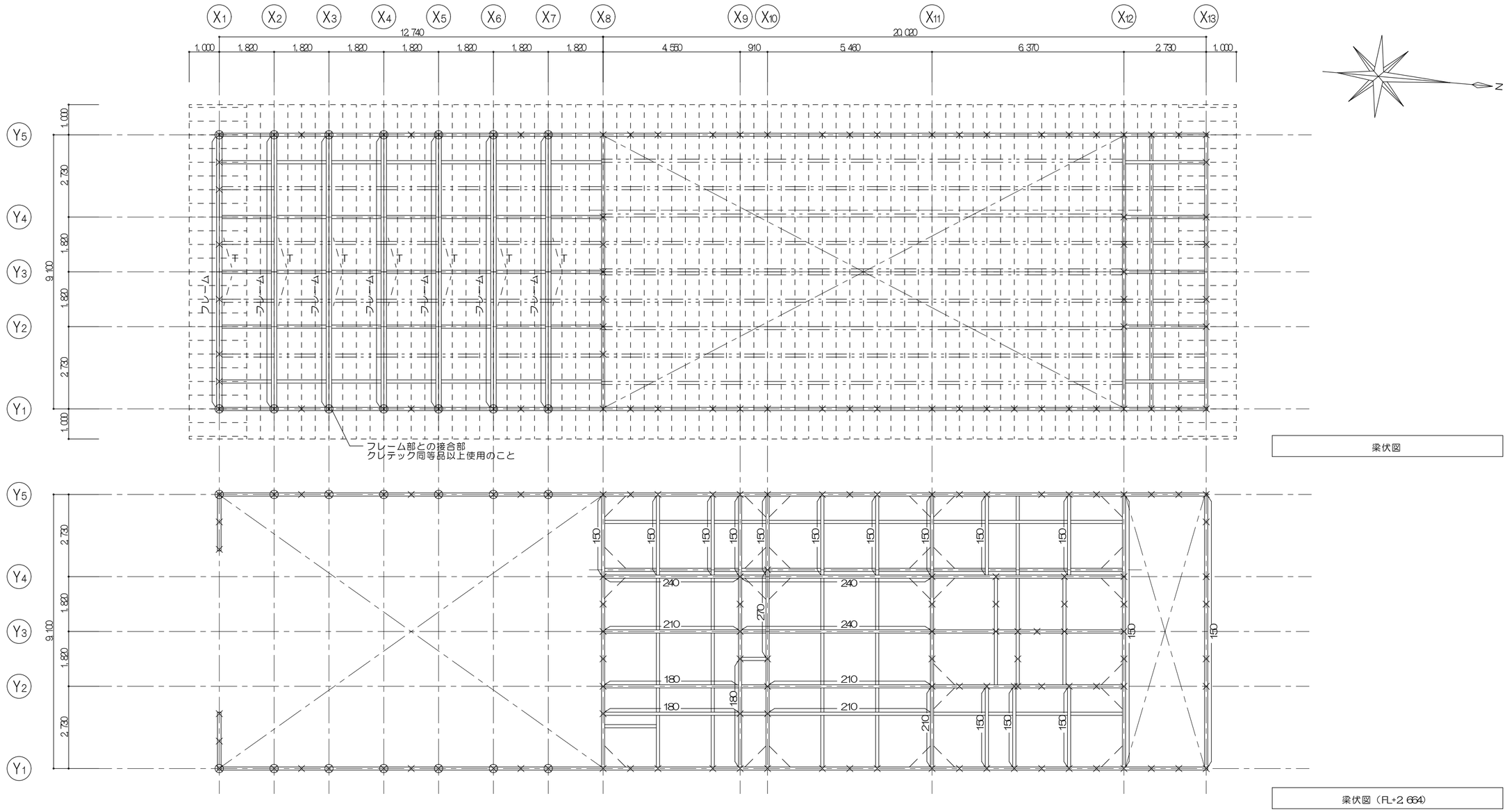
記号	名称	材種	サイズ		記号	名称	材種	耐力
⊠	柱	杉	120× 120		(い)	引き寄せ金物	かすがい・柱取付プレート　等	0.00kN
⊠	柱	集成材 E 120-F 330	2-90× 240 （フレーム）		(ろ)		スモールコーナー　等	3.40kN
					(は)		VP・フラットプレートSD・リトルコーナー・スリムプレート　等	5.10kN
					(へ)		ホールダウンプレート・ホールダウンコーナー・S-HD10　等	10.00kN
◺	筋かい		45x 90　シングル	2.0倍				
◺			45x 90　ダブル	4.0倍				

*金物は柱頭・柱脚に取り付けることとする。
*金物記号が表記されていない柱・横架材は表示(い)と同等以上の金物で緊結すること。
*使用する金物はZマーク同等品以上の耐力の物を使用すること。

◺ ：筋違いの方向を示す → 梁 N 筋違い 土台

2-120×120
ボルト1-M12@1,000

備考	構造　：(有) テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Place	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月		工事名　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 図面名称　耐力壁位置図　縮尺 A-2 1/100・1/30	設計番号　－ 図面番号　S － 09



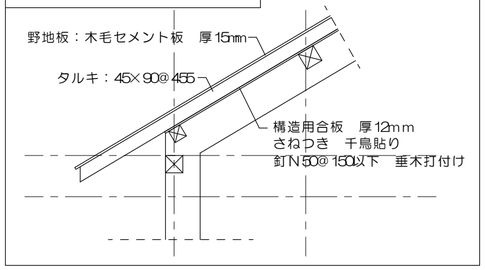
凡例

記号	名称	材種	サイズ	記号	名称	材種	サイズ
×	柱	杉	120×120	- - - -	タルキ	杉	45×90@455
⊗	柱	集成材 E120-F330	2-90×240（フレーム）	═ ═ ═	母屋	杉	90×90@910
*	特記寸法	ベイマツ	特記無き限り120×120	≡ ≡ ≡	棟木	杉	105×105
フレーム	梁	集成材 E120-F330	2-90×240（フレーム）	／	火打梁	杉	90x90 隅長750又は火打ち金物
				＼	T	SS400	PC鋼 φ25

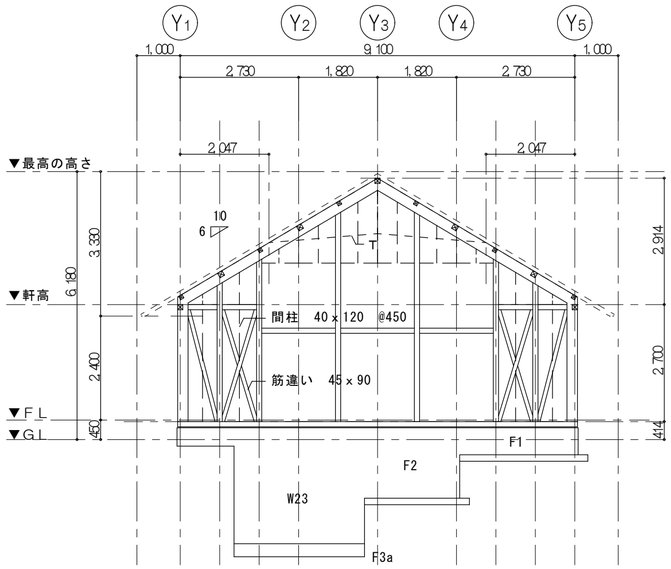
備考

*製材：無等級級品以上とする
*構造用合板：JAS規格品　特類　2級とする
*屋根：木毛セメント板　厚15mm　千鳥貼り
　釘N50@150以下
*小屋束　90x90　@910
*梁：耐力壁の取りつく箇所は、継ぎ手を設けないこと
　継ぎ手を設けた場合は、金物にて補強すること。
*梁成３００以上の接合部は羽子板ボルト２本以上（両面）取り付ける
*フレームと直交する梁の接合部には、クレテック同等品以上使用のこと

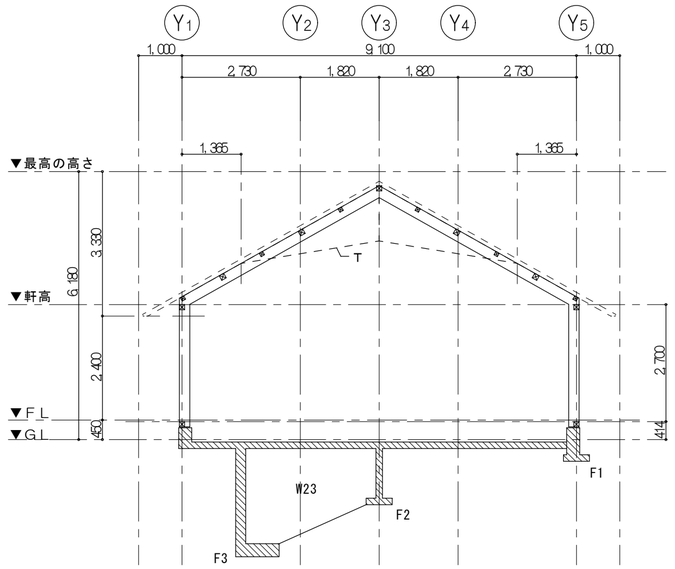
屋根納まり詳細



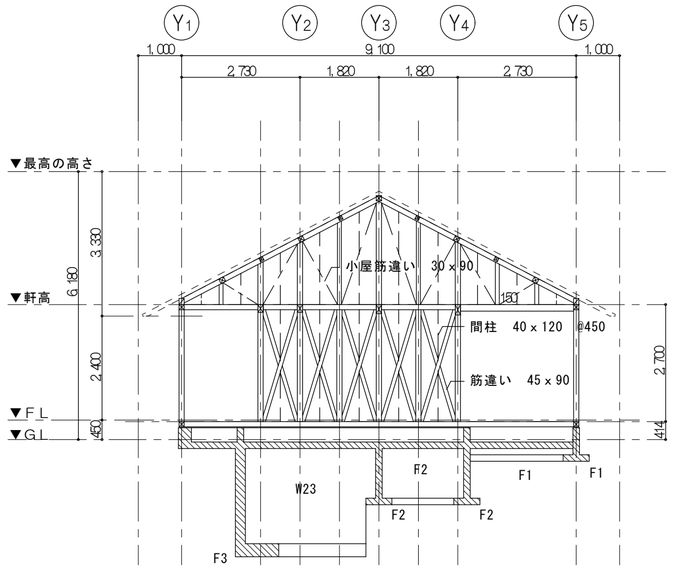
備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Race 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月		工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	－
										図面名称	梁伏図	縮尺 A-2　1/100・1/30	図面番号 S － 10



X1通り軸組図

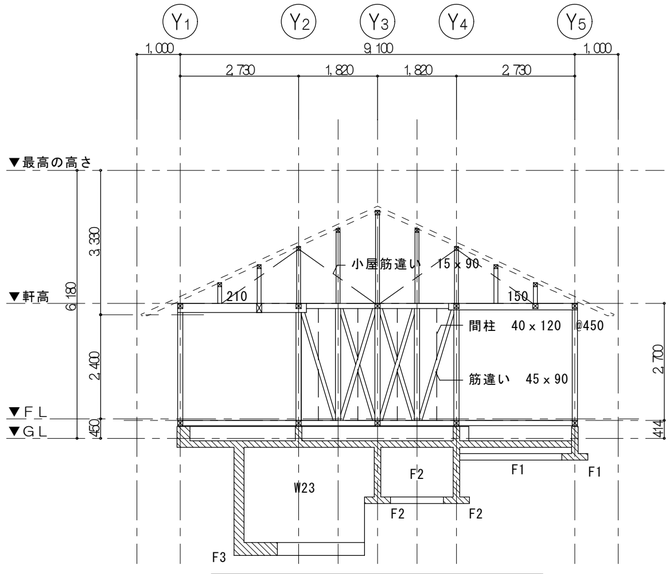


X3・X5・X7通り軸組図



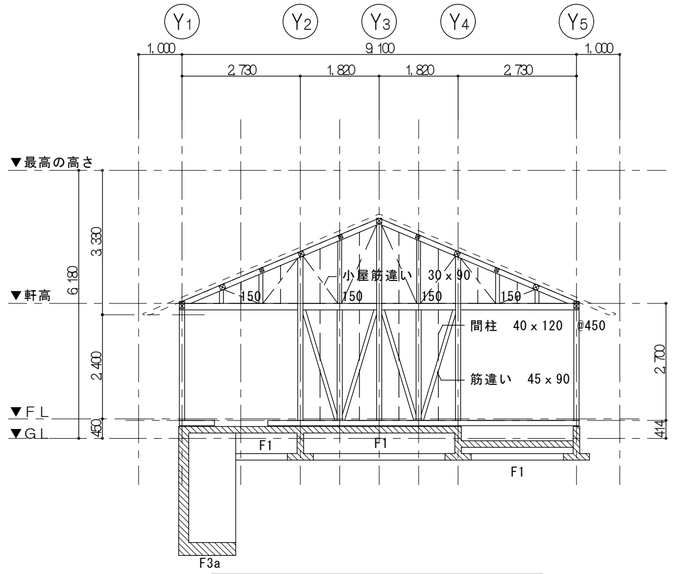
X8通り軸組図

*小屋筋違い：両側取り付け



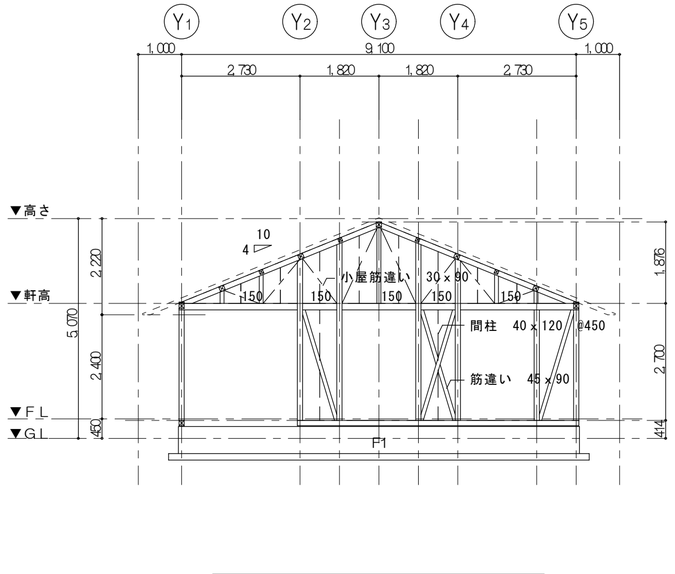
X11通り軸組図

*小屋筋違い：梁間・桁行両方向両側取り付け
*小屋束　90 × 90　@910



X12通り軸組図

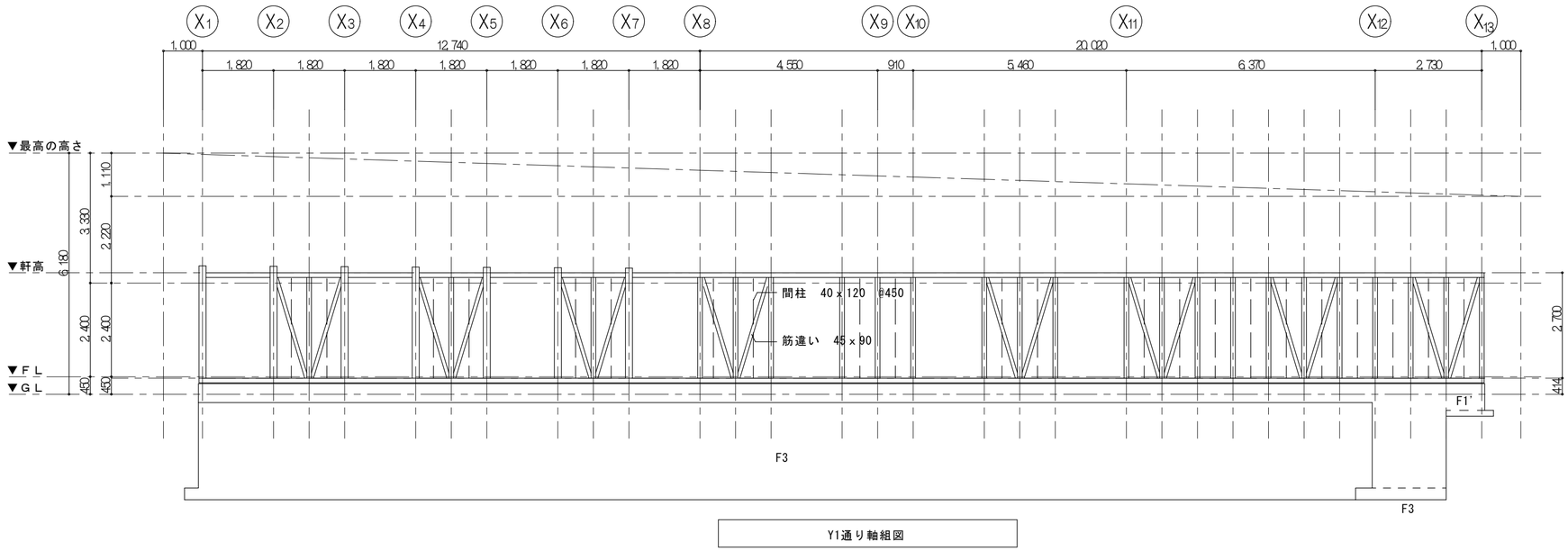
*小屋筋違い：両側取り付け



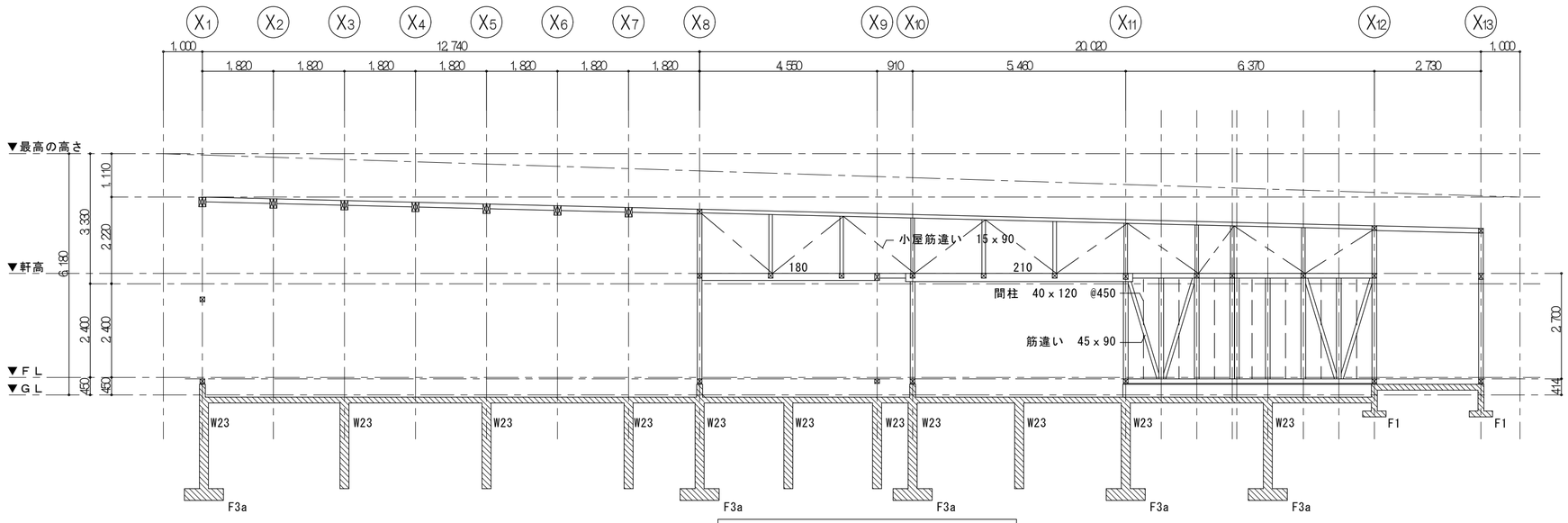
X13通り軸組図

*小屋筋違い：両側取り付け

備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spiral Race	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月	工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	設計番号	－
										図面名称	軸組図(1)	縮尺 A-2　1/100・1/30	図面番号 S － 11



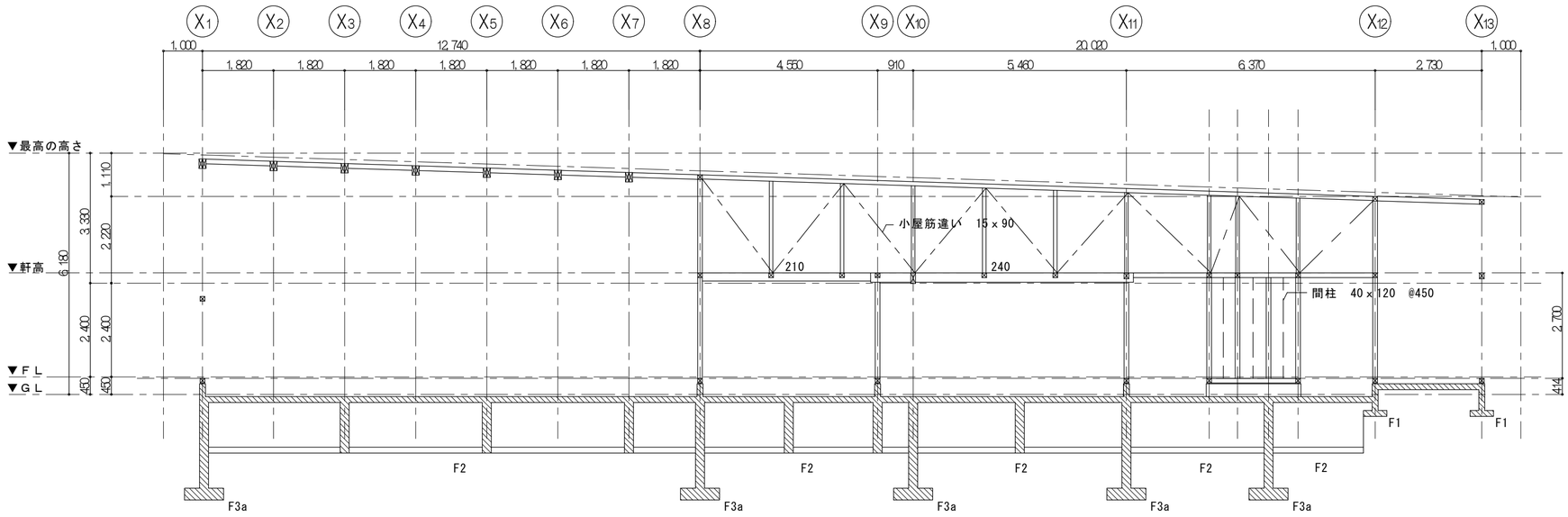
Y1通り軸組図



Y2通り軸組図

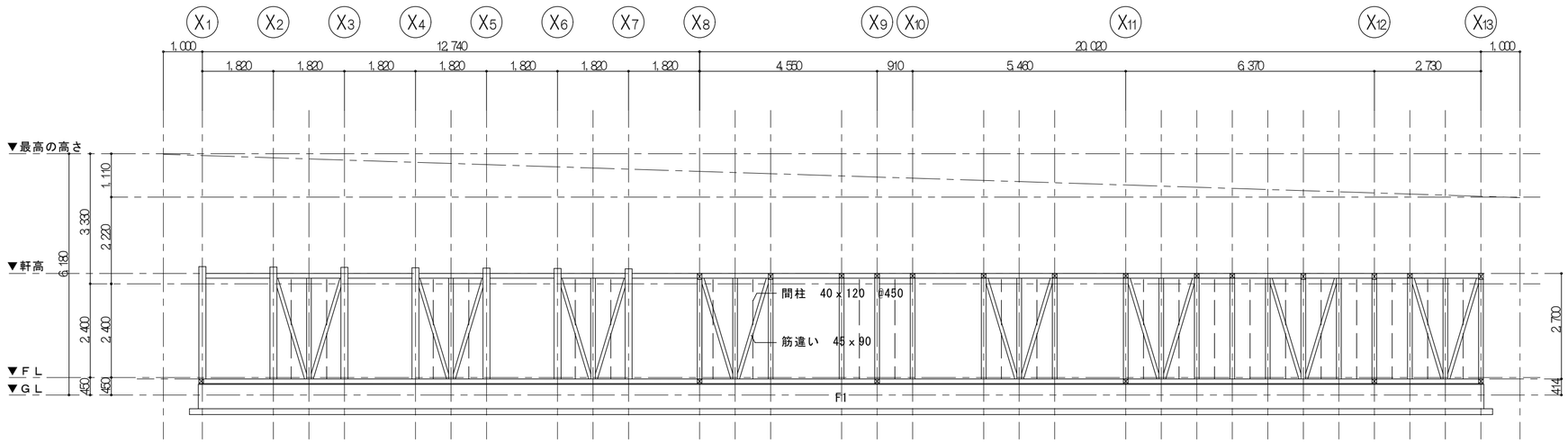
*小屋筋違い：梁間・桁行両方向両側取り付け

備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spiral Race 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月	工事名　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称　軸組図(2) / 縮尺 A-2　1/100・1/30	設計番号 — / 図面番号 S － 12



Y3通り軸組図

*小屋筋違い：梁間・桁行両方向両側取り付け

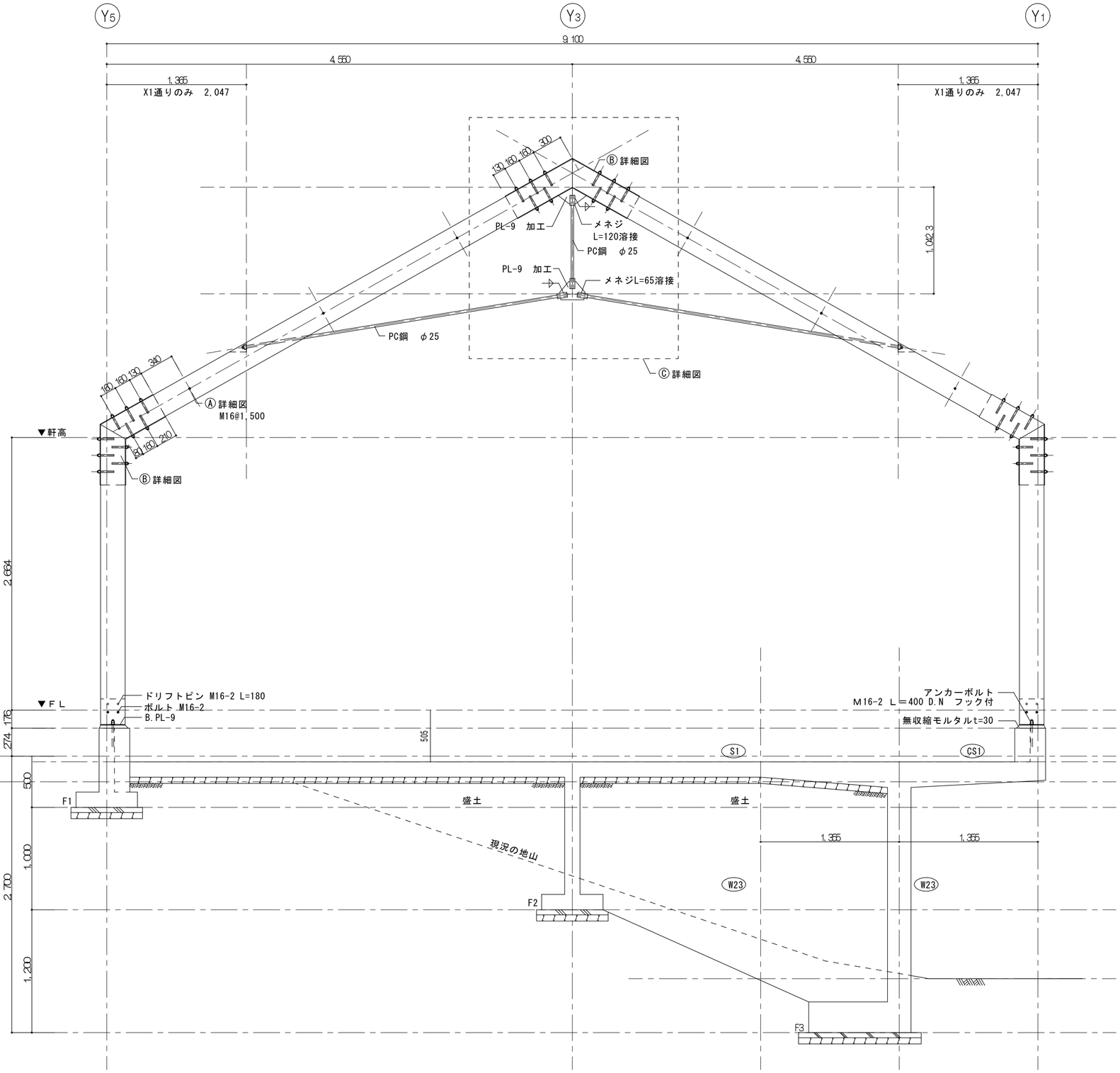


Y5通り軸組図

備考	構造　：(有)　テラ構造設計　　一級建築士登録　第１４６７０２号　高橋　一夫	Spirit of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡邉　宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年　6月	工事名　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
									図面名称　軸組図(3)　縮尺 A-2　1/100・1/30

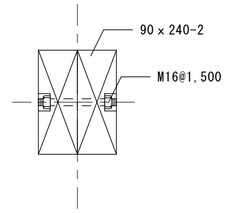
設計番号　－

図面番号　S － 13

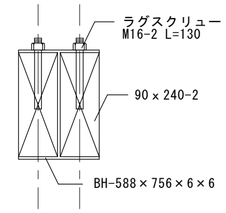


X3通り 詳細図

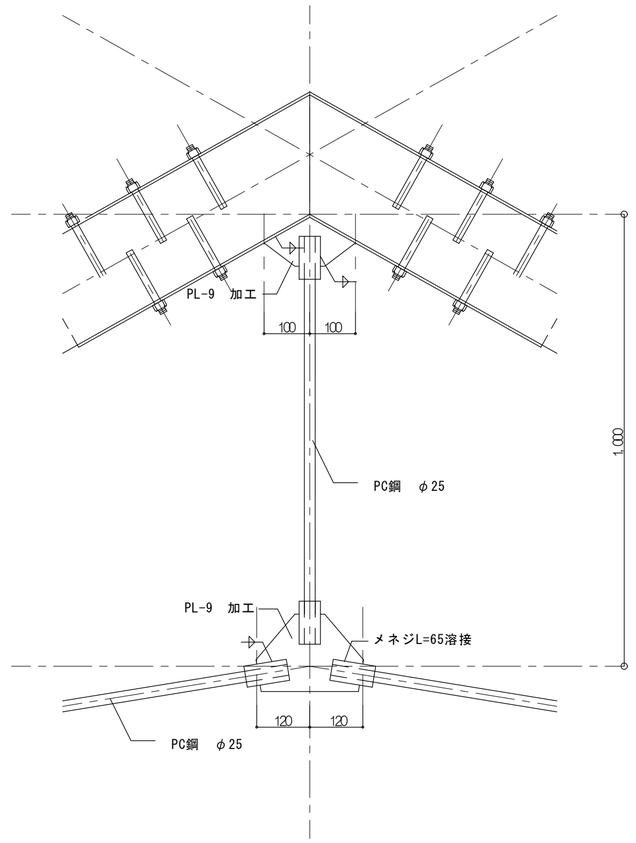
Ⓐ詳細図 S=1/10



Ⓑ詳細図 S=1/10



Ⓒ詳細図 S=1/10



備考	構造 ：(有) テラ構造設計 一級建築士登録 第１４６７０２号 高橋 一夫	Spirit of Race	関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡邉 宏 登録第 152538号	承認	調査	設計	設計年月 平成25年 6月	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 フレーム詳細図 / 縮尺 A-2 1/30・1/10	設計番号 － / 図面番号 S － 14

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事

２．工事場所

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
集会所	W	1	298.38	298.38	(一)項ロ	

４．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目＼建物別及び屋外	集会所	工事種別			屋外	備考
○電灯設備	新設一式					
・動力設備						
・電熱設備						
・雷保護（避雷）設備						
・受変電設備						
・静止形電源設備						
・発電設備						
・構内情報通信網設備						
○構内交換設備	新設一式					
・情報表示設備						
・映像・音響設備						
・拡声設備						
・誘導支援設備						
○テレビ共同受信設備	新設一式					
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						
・防犯・入退室管理設備						
○自動火災報知設備	新設一式					
・中央監視制御設備						
○構内配電線路					新設一式	外灯設備を含む
○構内通信線路					新設一式	
・電波障害調査	別紙仕様書による					

５．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、平成２２年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（２）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施行に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、請負者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出するこど。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調書、中止期間中の休刊及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	⑩ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は、受注時のみ）
	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑭ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	⑮ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　号・・・建築工事）
	⑯ 足場、さん橋類	○　建築工事で設けたものを使用できる。　・　本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑰ 工事表示板	※　設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑱ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	19．発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　PCB使用機器　・　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　） ・　再資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（km）	備考

・　その他安定型廃棄物　（　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

	㉘ 残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	㉙ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度＼施設分類	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

※重要機器類
○　配電盤　・　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置
・　交換機　・　受信機（自立型）　・　中央監視装置　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

	㉒ 風圧加重	※　風速６０m／ｓ　・　　m／ｓ ・　雷保護設備受雷部　・　照明ポール・基礎　○　テレビ共同受信装置アンテナ　○　アンテナマスト

一般共通事項	㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
	㉔ 保温、結露防止	外部に面する壁、天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。 本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉕ 電線類	
	㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ－25とする。
	27．二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉘ 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け決定してもさしつかえない。
	㉙ インサート	鋼鈑製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉚ 呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　・　樹脂製　）とする。
	㉜ フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋳合金製　・　アルミ合金製
	㉝ ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	㉞ 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
	㉟ あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ○　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㊱ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、ＥＢの長さは１，５００mmとする。 ただし、Ｄ＝１０は１，０００mm、Ｗ＝３０は１，２００mmとする。 偏社機器及び屋外灯用接地極の埋設構は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×　連一　組
・　共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
・　共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
・　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
・　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
○　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・			
・　構内交換機（陽極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー　組
・　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
○　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー　組
・			
・　測定用	Eo	――	ＥＢ(Ｄ＝10又は(Ｗ＝30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
・　避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×３連ー２組
・　避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は(Ｗ＝40)×１
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	㊲ 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・　受変電設備　・　発電設備　○　照明装置　・　構内交換設備　・
	㊳ 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　居室　・

電灯設備	① 工事範囲	○　配管　○　配線　○　分電盤類
	② 電気方式	○　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ○　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐　電灯　○　合成樹脂管配線　・　金属管配線　○　ケーブル配線 コンセント　○　合成樹脂管配線　・　金属管配線　○　ケーブル配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　○　合成樹脂製　・　金属製
	④ 蛍光灯	図面に特記がない場合のＨｆ型蛍光灯の入力電圧・周波数は、入力電圧100/200V、周波数50Hzとする。
	⑤ 非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑥ 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
	⑦ ハイテンションアウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製
	⑧ 人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
	９．予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備	１．工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	２．電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	３．施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	４．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	５．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込連用形配線器具　・
	６．機器への接続	電動機などの接続は本工事とする。
	７．電動機等の接地	動力以外は金属管接地とする。
	８．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	９．電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・ ・　定格容量　ｋＶＡ

電熱設備	１．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	２．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

雷保護設備	１．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	２．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	３．避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	４．接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	５．測定用補助接地極	・　設置

受変電設備	１．工事範囲	・　機器類　・
	２．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	３．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	４．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・
	５．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	６．高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	７．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2005適合品 乾式：JIS C4306-2005適合品）
	８．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６%　・　１３%
	９．リアクトル	・　６%　・　１３%
	10．自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置

電力貯蔵設備	１．直流電源装置	※　非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	２．交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）

発電設備	１．工事範囲	・　機器類　・
	２．形式	・　簡易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	３．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
	４．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上　（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	５．燃料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	６．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ

構内交換設備	① 工事範囲	・　交換機　・　電話機　・　配線（　・　全部　・　端子盤以降　）　○　配管
	② 電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	③ 電話機への配線	電話機１台につき、下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦＯ．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ＥＭ－ＥＢＴＯ．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	４．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋼合金製　・　アルミ製
	⑤ 保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

通信・情報設備	① 工事範囲図及び施工方法	工事範囲：配管・配線・機器類 施工方法：合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線 ・構内情報通信網設備：・・・ ・情報表示：・・・ ・映像・音響：・・・ ・拡声：・・・ ・誘導支援：・・・ ○　テレビ共同受信：○・○・○・○・・ ・監視カメラ：・・・・・○ ・駐車場管制設備：・・・・・ ・防犯・入退室管理：・・・・・・ ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	２．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・　ＡＴＭ ・
	３．情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	４．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備　（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　）
	５．拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	６．誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	⑦ テレビ共同受信設備	○　テレビアンテナ（　・　ＡＵ－２　・　ＣＳＢＡ－　・　ＣＳＡ－　） ○　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　○　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　）
	８．監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	９．駐車場管制設備	・　管制盤　・　検知器（　・　光線式　・　ループコイル式） ・　信号灯・警報灯　・　発券機　・　カーゲート　・　カードリーダー
	10．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

火災報知設備	① 工事範囲	○　配管　○　配線　○　機器類
	２．火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ・　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	③ 非常警報装置	○　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	４．自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構（電動式），ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	５．ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　感知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	６．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	１．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	２．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	３．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	４．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置　・　伝送端末局（子局） ・　作表用印字装置　・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ

構内配電線路	① 工事範囲	○　管路　○　配線　○　機器類
	② 電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ○　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ○　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	③ 布設方法	※　地中埋設式（○　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	４．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	５．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
	⑥ その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	⑦ 外灯設備	○　定格電圧　１００Ｖ　３６Ｗ
	⑧ 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
	⑨ 標識シート	・　高圧ケーブル　○　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路	① 工事範囲	○　管路　・　配線
	② 用途	○　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	③ 施工方法	※　地中埋設式（○　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	④ 標識シート	○　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
取引用計器	地上～窓中心	約　1,800	引込線留め高	地上～引込点	
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	電 集合保安器箱	天井下～上端	200
分電盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）	話 端子盤（扉下，室内）	床上～下端	300
			〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
			壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
			〃（和　室）	〃	150～200
スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300	時 壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上端2,000以下）
〃（和　室）	〃	1,200	計 子時計	〃	2,300
コンセント（一　般）	〃	800	・ 壁掛形スピーカ	〃	2,300
〃（和　室）	〃	800	拡 壁付アッテネータ	〃	1,300
〃（台　上）	台上～中心	100	声 壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端	・ 〃（身体障害者）	〃	1,300
〃（厨　房）	床上～中心	800	通 壁付アウトレット（一　般）	〃	300
〃（車　庫）	〃	1,300	話 〃（和　室）	〃	150～200
〃（機械室）	〃	500～1,000	設 機器収容箱	天井下～上端	200
〃（土　間）	〃	800～1,300	備 直列ユニット（一　般）	床上～中心	300
ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300	〃（和　室）	〃	200
〃（講　場）	〃	2,000～2,500	警 表示盤	床上～中心	2,300
〃（鏡　上）	鏡上端～中心	150	報 壁付発信機	〃	1,300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	・ ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	表 壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
			示 〃（身体障害者玄関）	〃	900
			等 ・		
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端2,000以下）	受信機	床上～中心	800～1,500
開閉器箱	〃	1,500	副受信機	〃	800～1,500
電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	火 機器収容箱	〃	800～1,500
非常ボタン（便所用）	床上～中心	900	災 発信機	〃	800～1,500
壁付インターホン（親機）	〃	1,300	報 表示灯	床上～中心	2,100
〃（玄関子機）	〃	1,100	知 ベル	〃	2,300
扉下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300	器 液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
身障者用ランプ	〃	1,500	都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
スイッチ	〃	1,100	〃（重質）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	1部	9　取扱説明書 ①保守に関する案内書（２　完成図書と合本可） ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 天井下～上端	1部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが９０mmを越える場合は分冊とする。）	1部	１０　管理の手引き	Ａ４版：チューブ式ファイル	1部
3　完成原図	三つ折りケース収納	1組			
4　完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	1部			
5　完成図（縮小）	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	2部	１１　工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真）	1部
6　完成図（電子データ）	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD 1枚	②完成写真	Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	1部
7　施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	1部			
8　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	1部	１２　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	1部

注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

備考

Spirit of Place　関・空間設計　宮城県知事登録　第 11X10168 号

管理建築士　一級建築士　渡辺　宏　登録第 152538号

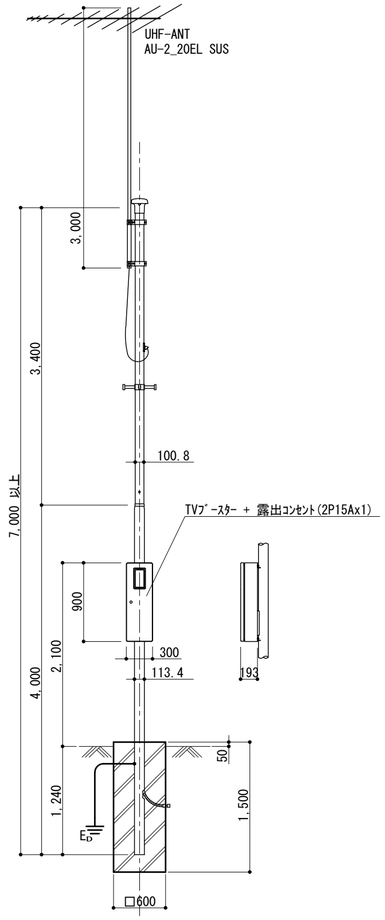
承認	調査	設計	設計年月	全業
渡辺	木皿	斉藤・小阪	H25.12	

工事名　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事

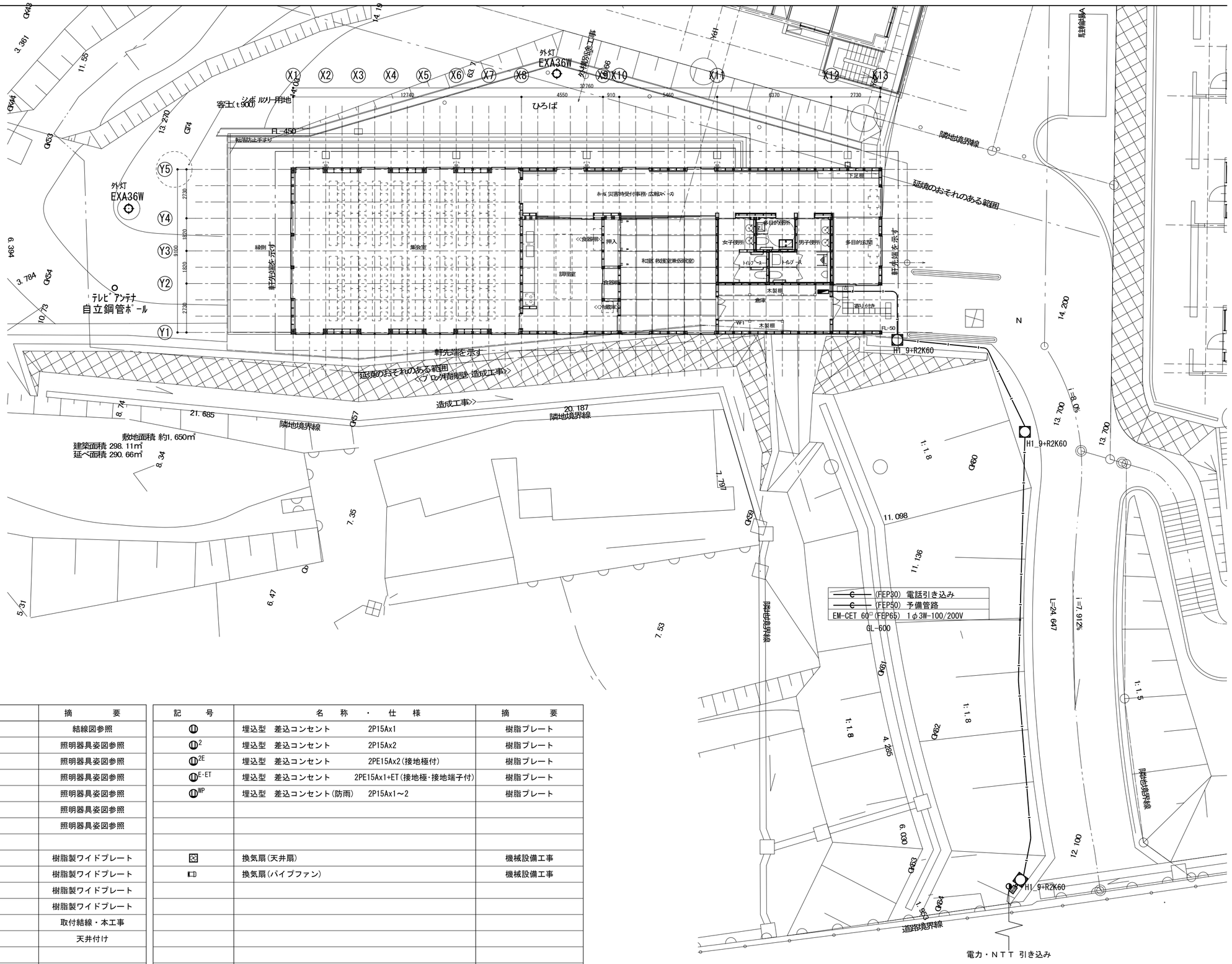
図面名称　電気設備工事特記仕様書

No　Ｅ－０１

Scale　1/－　1/－



用　途	TVｱﾝﾃﾅ	
全　長	7.0m 以上	
表面処理	ﾎﾟｰﾙ本体	ﾌﾛｰｺｰﾄ溶融亜鉛めっき後ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ樹脂被覆
	ﾎﾞｯｸｽ	溶融亜鉛めっき鋼板にﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ粉体塗装
色　調	ｱｲﾎﾞﾘｰ又はｺｰﾋｰﾌﾞﾗｳﾝ	



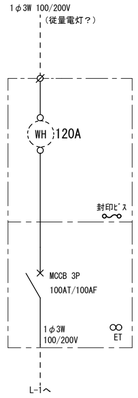
凡　例

記　号	名　称　・　仕　様		摘　要
	電灯分電盤	L-1	結線図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	天井付け　１灯型	照明器具姿図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	天井付け　２灯型	照明器具姿図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	壁横付け　１灯型	照明器具姿図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	壁縦付け　１灯型	照明器具姿図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	ダウンライト	照明器具姿図参照
	蛍光灯/ＬＥＤ照明器具	ブラケット	照明器具姿図参照
◆	高機能型スイッチ	1P15A	樹脂製ワイドプレート
◆3	高機能型スイッチ	3W15A	樹脂製ワイドプレート
◆T	高機能型スイッチ	1P15A 消し遅れ	樹脂製ワイドプレート
	調光器	AC100V 300W程度	樹脂製ワイドプレート
	換気扇コントロールスイッチ	換気扇付属品	取付結線・本工事
	人感センサースイッチ　親機　子機		天井付け

記　号	名　称　・　仕　様		摘　要
	埋込型　差込コンセント	2P15Ax1	樹脂プレート
2	埋込型　差込コンセント	2P15Ax2	樹脂プレート
2E	埋込型　差込コンセント	2PE15Ax2(接地極付)	樹脂プレート
E・ET	埋込型　差込コンセント	2PE15Ax1+ET(接地極・接地端子付)	樹脂プレート
WP	埋込型　差込コンセント(防雨)	2P15Ax1～2	樹脂プレート
	換気扇(天井扇)		機械設備工事
	換気扇(パイプファン)		機械設備工事

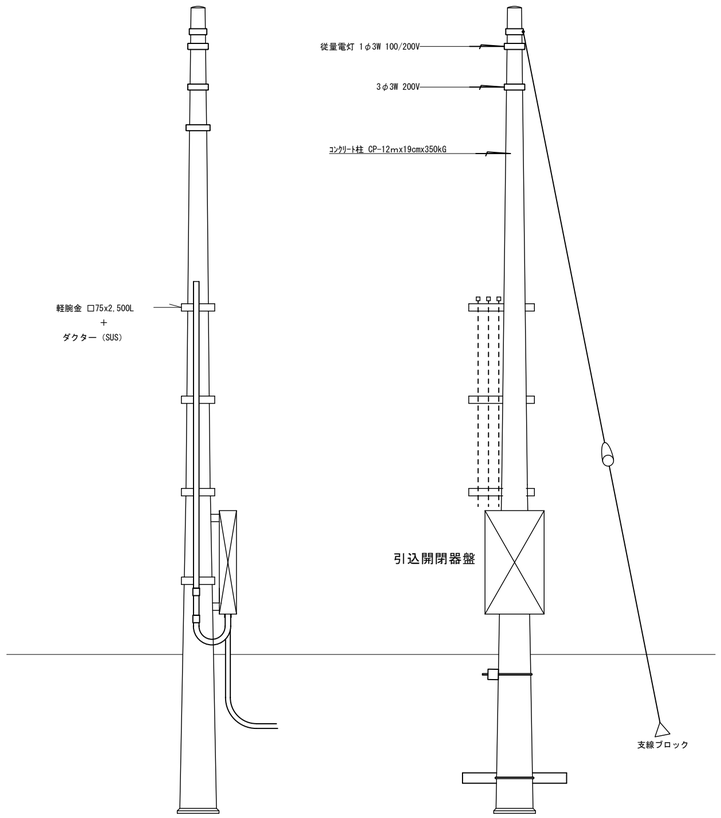
備　考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡辺　宏 登録第 152538号	承　認 渡辺	調　査 木皿	設　計 斉藤・小阪	設計年月 H25.12	全　葉

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No　Ｅ－０２
図面名称	構内配線図	Scale　1/150　1/－



引込開閉器盤

ＳＵＳ製 コンクリート柱取り付け 防水型



引 込 柱 参 考 図　　1/50

盤 名 称 | 鋼板製 屋内壁掛型 指定色塗装仕上げ | 設置室名 | 倉庫

AC 1Φ3W 100/200V

EM-CET60□

ELCB 3P
100AT/100AF

容量 (VA)	負荷名称	分岐開閉器 P	分岐開閉器 AF/AT	電圧 (V)	回路番号
150	非常警報複合装置	2P2E	50/20	100	A

負荷容量(VA)	165

1,845	エアコン	2P2E	50/20	200	1	2	200	2P2E	50/20	エアコン	1,125
	予備	2P2E	50/20	200	3	4	200	2P2E	50/20	予備	
1,300	電灯	2P1E	50/20	100	1	2	100	2P1E	50/20	電灯	1,529
576	電灯	2P1E	50/20	100	3	4	100	2P1E	50/20	電灯・コンセント	396
970	コンセント	2P1E	50/20	100	5	6	100	2P1E	50/20	コンセント	970
700	コンセント	2P1E	50/20	100	7	8	100	2P1E	50/20	コンセント	300
200	コンセント	2P1E	50/20	100	9	10	100	2P1E	50/20	コンセント	650
1,500	検診車	2P1E	50/20	100	11	12	100	2P1E	50/20	検診車	1,500
	予備	2P1E	50/20	100	13	14	100	2P1E	50/20	予備	
	予備	2P1E	50/20	100	15	16	100	2P1E	50/20	予備	

負荷容量(VA)	21,931

5.5□ ED　　5.5□ ED(ELCB)

:MCCB 1P 20AT/50AF　　:MCCB 2P 20AT/50AF

:ELCB 1P 20AT/50AF 30mA　　:ELCB 2P 20AT/50AF 30mA

照　明　器　具　姿　図

A　直付け笠無し型ＬＥＤ灯

SP-A36	LED 36W 4,000ﾙｰﾒﾝ	１６台

Ra83
昼白色(5000K)
定格出力型 ﾎﾞﾙﾄﾌﾘｰ(100～242V)
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ﾗｲﾄﾊﾞｰ(ｶﾊﾞｰ):ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(乳白)
光源寿命:40000時間

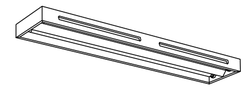
B　笠無し型蛍光灯

B321	FSS8-321 PH15	２台
B322	FSS8-322 PN15	４台

ﾎﾞﾙﾄﾌﾘｰ(100～242V)
ｴｺ電線(塩化ﾋﾞﾆﾙおよびﾊﾛｹﾞﾝ、鉛を含まない)
本体:鋼板(高反射白色粉体塗装)
反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装)

C　和風蛍光灯シーリングライト

C322	Hf 32Wx2 PH15	４台



枠:木製(白木)
反射板(ﾎﾜｲﾄ)
ﾊﾟﾈﾙ:ｱｸﾘﾙ(乳白)

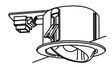
D　蛍光灯ダウンライト

D151	EFD 15Wx1	８台
D251	EFD 25Wx1	３０台

電球色
高気密SGI形
反射板(ﾎﾜｲﾄつや消し)
枠(ﾎﾜｲﾄつや消し)
埋込穴Φ150 埋込高さH=80

E　ユニバーサルダウンライト

E60	IL 60Wx1	８台



SGＩ形
枠:(ﾎﾜｲﾄつや消し)
反射板:ｱﾙﾐ(銀色鏡面仕上)
首振範囲25度
埋込穴Φ125 埋込高H=103

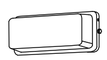
F　蛍光灯ダウンライト軒下灯

F251W	EFD 25Wx1	２台

昼白色
防雨型
枠:ｽﾃﾝﾚｽ(ｸｰﾙﾎﾜｲﾄつや消し仕上)
反射板:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(高反射ﾎﾜｲﾄ)
ﾊﾟﾈﾙ:強化ｶﾞﾗｽ(乳白つや消し仕上)
埋込穴φ150 埋込高H=101

G　蛍光灯ミラーライト

G151	EFD 15Wx1	５台



密閉型
ｶﾊﾞｰ:ｱｸﾘﾙ(乳白)
ﾂﾏﾐﾈｼﾞ方式
壁面(縦・横向き)・天井面取付専用
W=342　H=140 出しろ100

H　蛍光灯棚下灯

H21	FL 20Wx1	２台

昼白色
ｶﾊﾞｰ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(乳白)
(ﾎﾜｲﾄ仕上)
ｽｲｯﾁ付

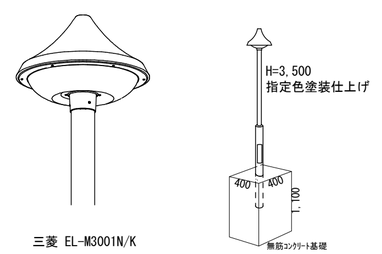
J　防雨型蛍光灯スポットライト

J251W	EFD 25Wx1 WP	３台

電球色
ﾊﾟﾈﾙ:ｶﾞﾗｽ(透明)
ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ｵﾌﾌﾞﾗｯｸ)
照射方向可動型
可動範囲上下80度・回転方向330度
点灯照度・点灯保持時間調整機能付

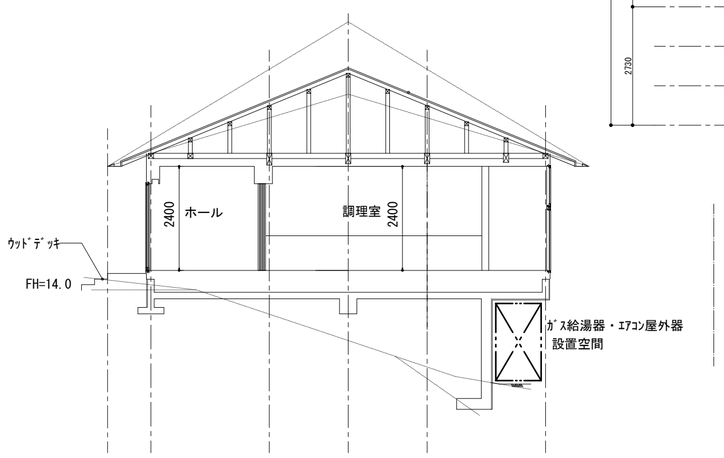
EXA　ＬＥＤ外灯

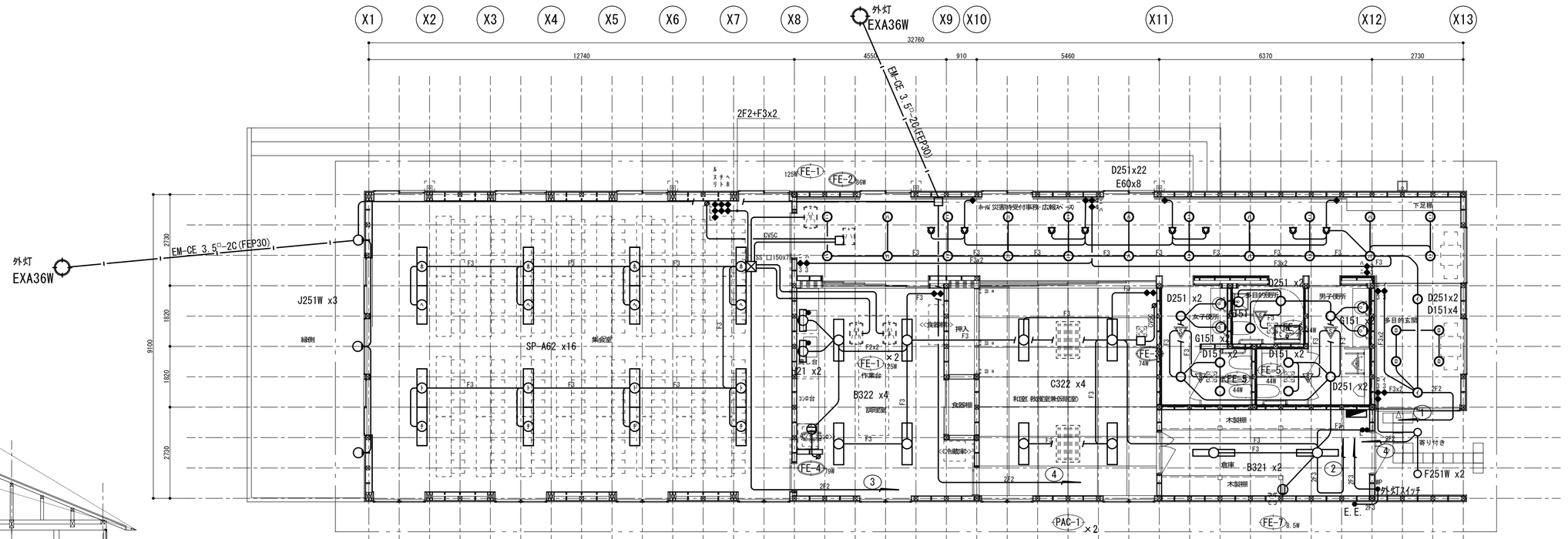
EXA36W	LED 36W (HF100W相当)	２台



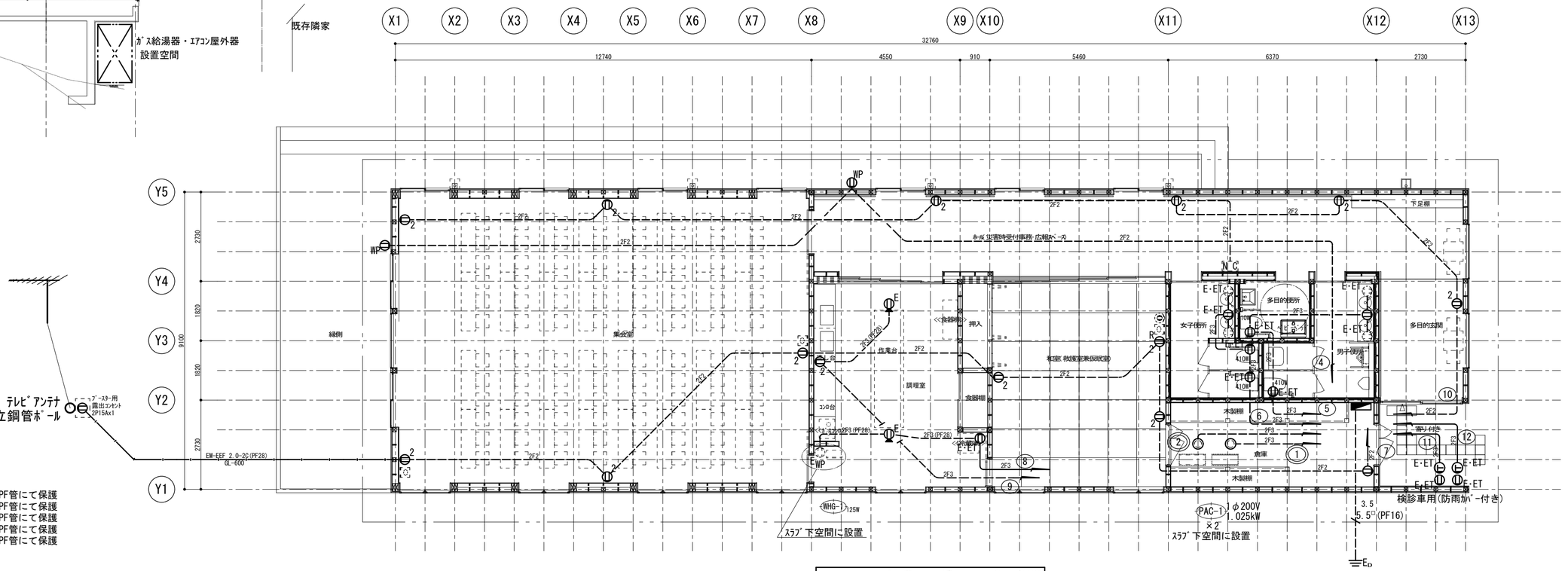
三菱 EL-M3001N/K

備考											
	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斉藤・小阪	設計年月 H25.12	全葉	工事名	平成２６年度花渕浜地区小塚避難所建築および環境整備工事	No Ｅ－０３
									図面名称	照明器具姿図・盤結線図・引き込み参考図	Scale 1/_ 1/_





電灯設備　配線図　S=1/100

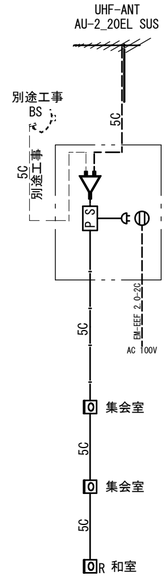


コンセント設備　配線図　S=1/100

配線凡例(電灯・コンセント 共通)

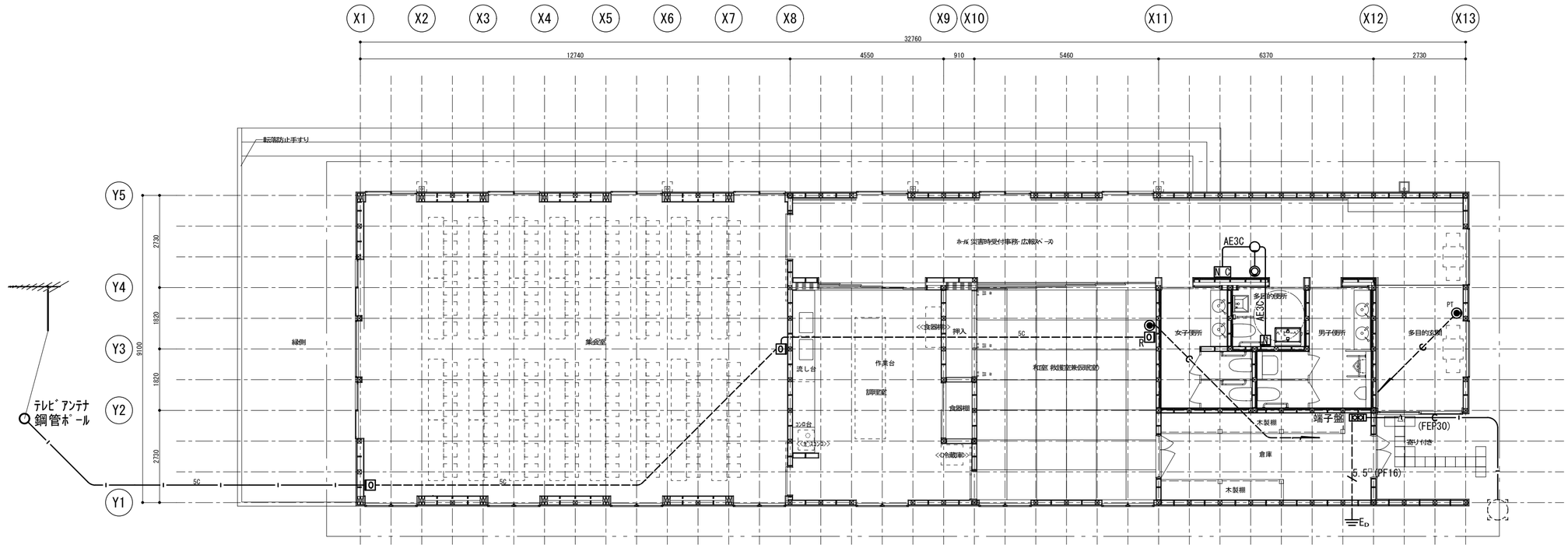
F3	EM-EEF 1.6-2C ころがし　壁内はPF管にて保護
F3	EM-EEF 1.6-3C ころがし　壁内はPF管にて保護
2F2	EM-EEF 2.0-2C ころがし　壁内はPF管にて保護
2F3	EM-EEF 2.0-3C ころがし　壁内はPF管にて保護
26F3	EM-EEF 2.6-3C ころがし　壁内はPF管にて保護

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斉藤・小阪	設計年月 H25.12	全葉	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 コンセント設備　配線図	No Ｅ－０４ / Scale 1/100 1/-



5C EM-S・5C-FB ころがし 壁内はPF管にて保護
5C EM-S・5C-FB アンテナポール部配線
5C EM-S・5C-FB (FEP30)

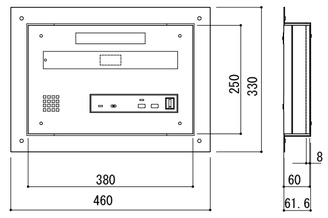
テレビ受信設備　系統図



電話配管・テレビ受信・トイレ呼び出し設備　配線図　S=1/100

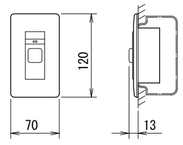
凡　例

NC	1窓用呼出表示器



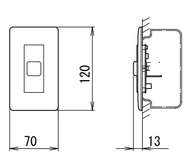
電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形　状	壁埋込形(埋込ﾎﾞｯｸｽ)
材　質	SPCC t1.2
窓　数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

N	呼出押ボタン



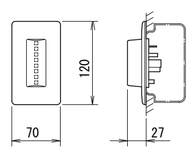
形　状	埋込形(JIS1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ)
材　質	樹脂
備　考	呼出確認ﾗﾝﾌﾟ付
	呼出保持式

	復旧ボタン

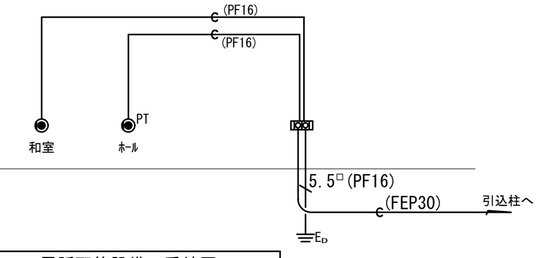


形　状	壁埋込形(JIS1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ)
材　質	ABS樹脂

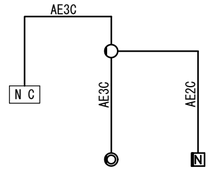
O	廊下灯



形　状	壁埋込形(JIS1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ)
材　質	ﾊﾟﾈﾙ:ABS樹脂、ﾗﾝﾌﾟｶﾊﾞｰ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ
表示灯	赤色LED



電話配管設備　系統図



AE2C EM-AE 0.9-2C ころがし 壁内はPF管にて保護
AE3C EM-AE 0.9-3C ころがし 壁内はPF管にて保護

トイレ呼び出し設備　系統図

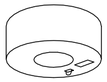
記　号	名　称　・　仕　様	摘　要
	端子盤　保安器５Ｐスペース　屋内露出型	
	電話ｱｳﾄﾚｯﾄ(壁付)	
	テレビ受信アンテナ　ＵＨＦ２０ＥＬ　ＳＵＳ（ＡＵ－２）	
PS	ブースター　ＵＨＦ－ＢＳ　家庭用	
	テレビ直列ユニット　ＣＳ－７Ｆ－７	樹　脂　ﾌﾟﾚｰﾄ
R	テレビ直列ユニット　ＣＳ－７Ｆ－Ｒ	樹　脂　ﾌﾟﾚｰﾄ
NC	トイレ呼び出し親機	
N	トイレ呼び出し押しボタン	
	トイレ呼び出し復旧ボタン	
O	トイレ呼び出し表示灯	
	天井隠蔽 配管配線 ｹｰﾌﾞﾙころがし配線	注　記　参　照
	床埋込 配管配線	注　記　参　照

備　考										
Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士　渡辺　宏 登録第 152538号	承　認 渡辺	調　査 木皿	設　計 斉藤・小阪	設計年月 H25.12	全　葉	工事名	平成２６年度花渕浜地区小塚避難所建築および環境整備工事	No　Ｅ－０５
								図面名称	電話配管・テレビ受信・トイレ呼び出し設備　配線図	Scale 1/100 1/-

防災照明器具姿図・照度範囲表

Y　直付型非常照明

Y9B	JD 9Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵
Y13B	JD 13Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵
Y30B	JD 30Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵



非常灯用ﾊﾛｹﾞﾝ電球 9W/13W/30W 点灯
ｿｹｯﾄ:ﾎﾟﾘﾌｪﾆﾚﾝｻﾙﾌｧｲﾄﾞ樹脂
電線:けい素ｺﾞﾑ絶縁電線
ﾆｯｹﾙ水素蓄電池使用
ｴｺ電線(塩化ﾋﾞﾆﾙおよびﾊﾛｹﾞﾝ、鉛を含まない)
枠:鋼板(ｵﾌﾎﾜｲﾄつや消し仕上)
反射板:ｱﾙﾐ(高効率ｼﾙﾌﾞﾗｲﾄ)、 Φ155 H=71

Y9B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	3.4m	3.1m	2.7m	1.5m	−	−	−	−
直線配置	A2	7.2m	7.6m	7.9m	7.1m	−	−	−	−
四角配置	A4	5.7m	6.4m	6.8m	7.1m	−	−	−	−

Y13B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	4.0m	4.4m	4.6m	4.7m	−	−	−	−
直線配置	A2	8.6m	9.5m	10.1m	11.2m	7.3m	−	−	−
四角配置	A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	7.3m	−	−	−

Y30B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	5.0m	5.5m	5.8m	6.4m	7.5m	6.2m	5.4m	−
直線配置	A2	10.6m	11.8m	12.6m	14.2m	17.3m	19.5m	19.5m	−
四角配置	A4	8.1m	9.0m	9.6m	10.9m	13.7m	16.1m	18.1m	−

Z　埋込型非常照明

Z9B	JD 9Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵
Z13B	JD 13Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵
Z30B	JD 30Wx1 ﾊﾞｯﾃﾘｰ内蔵

Z9B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	3.4m	3.1m	2.7m	1.5m	−	−	−	−
直線配置	A2	7.3m	7.8m	8.1m	7.3m	4.4m	−	−	−
四角配置	A4	5.7m	6.4m	6.8m	7.3m	−	−	−	−

Z13B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	4.0m	4.4m	4.6m	4.7m	0.2m	0.1m	−	−
直線配置	A2	8.6m	9.6m	10.2m	11.2m	7.3m	−	−	−
四角配置	A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	−	−	−	−

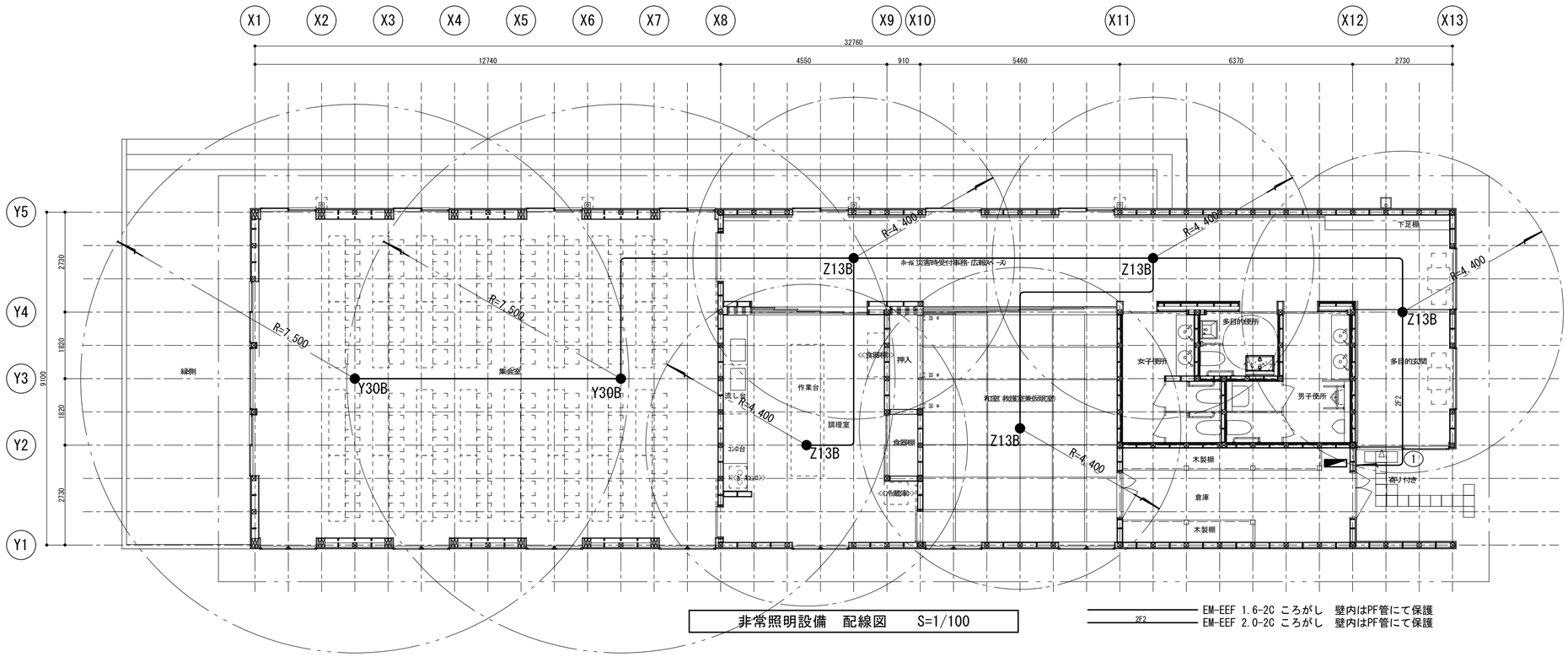
Z30B

配置＼取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	5.0m	5.5m	5.8m	6.4m	7.5m	6.2m	5.4m	2.3m
直線配置	A2	10.6m	11.9m	12.7m	14.2m	17.3m	19.5m	19.5m	17.4m
四角配置	A4	8.1m	9.0m	9.6m	10.9m	13.7m	16.1m	19.5m	17.4m

誘導標識板　緑地白文字　壁貼り付け　蓄光型
誘導標識板　白地緑文字　壁貼り付け　蓄光型

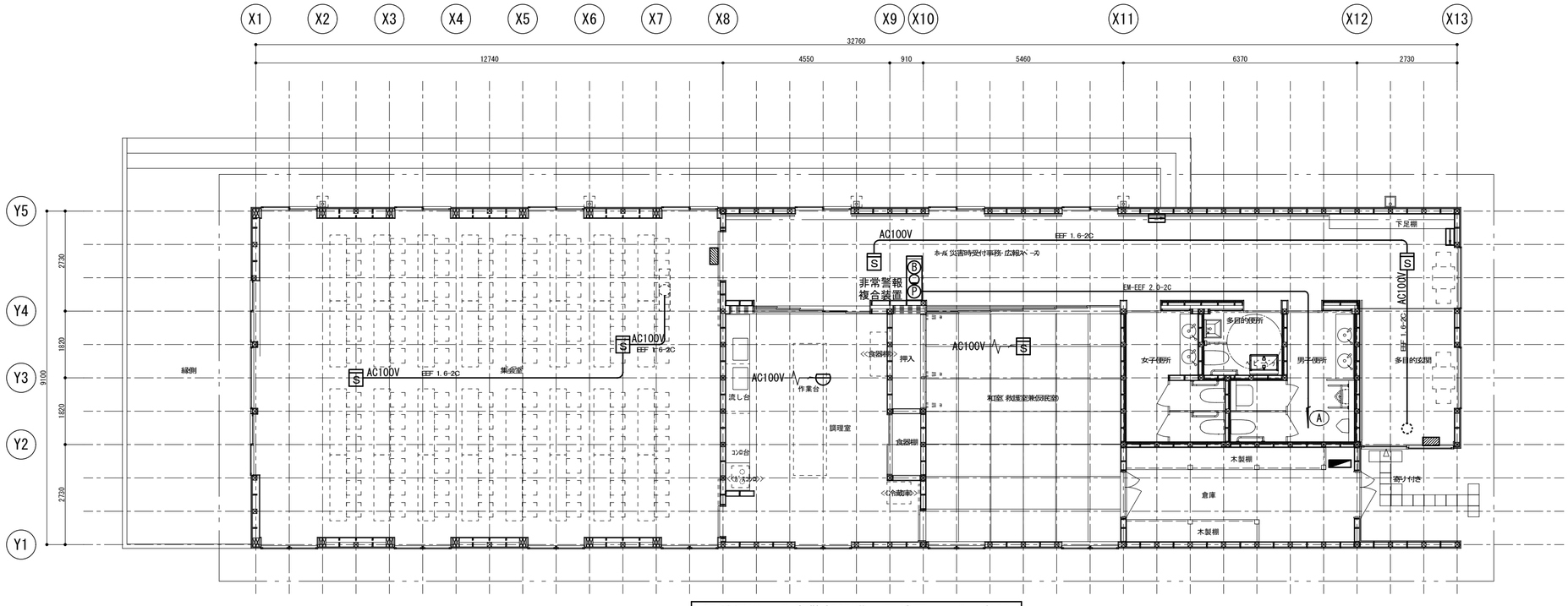
熱式住宅用火災警報器　AC100V　単独作動　現場鳴動型

煙式住宅用火災警報器　AC100V　単独作動　現場鳴動型



非常照明設備　配線図　S=1/100

EM-EEF 1.6-2C ころがし　壁内はPF管にて保護
EM-EEF 2.0-2C ころがし　壁内はPF管にて保護



誘導標識・非常警報設備　配線図　S=1/100

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 斉藤・小阪	設計年月 H25.12	全業

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No Ｅ－０６
図面名称	非常照明・誘導標識・非常警報設備　配線図	Scale 1/100 1/−

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事

2．工事場所　七ヶ浜町花渕浜字五月田１５－３の一部

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
地区避難所	木造	1	298.38	298.38	（1）項ロ	

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目＼建設別及び避難所	工事種別						屋外
○空気調和設備	新設一式						
○換気設備	新設一式						
・排煙設備							
・自動制御設備							
○衛生器具設備	新設一式						
○給水設備	新設一式						新設一式
○排水設備	新設一式						新設一式
○給湯設備	新設一式						
○消火設備	新設一式						
・厨房機器設備							
○ガス設備	新設一式						新設一式
・さく井設備							
・浄化槽設備							
・昇降機設備							

5．指定部分　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

6．設備概要　（○印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	○ 空気調和　・全空気方式　・ファンコイルユニット、ダクト併用方式　○ パッケージ方式
	・ 温風暖房　・全空気方式　・ファンコンベクター、ダクト併用方式
	・ 直接暖房　・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	○ 水道直結方式　・高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（○ 分流式　・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式　○ 合流式） 放流先　汚水（○ 下水道直放流　・浄化槽） 雑排水（○ 下水道直放流　・浄化槽　・側溝　・別途桝）
給湯方式	○ 局所式　・中央式
消火設備方式	・屋内消火栓（・ 湿式　・ 乾式）　・連結送水管　・屋外消火栓 ・スプリンクラー（・ 湿式　・ 乾式）　・不活性ガス消火　・泡消化 ・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火　○ 消火器
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　kJ／m３（N）（供給圧力　Pa）　○ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部整備の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。）、同部設備・環境調整監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　平成２２年版）」（以下「標準図という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、建築工事の工事仕様書は（　／　）図とする。

2．特記事項　（1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	○ 宮城県建築工事等真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ○ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画（実施）書を作成し、監督職員に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩ 電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・配管（配管工事）　○ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 ○ 建築工事で設けたものを使用できる。 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮ 工事用仮設物	構内作ることが　※　できる　・　できない
	⑯ 残土処理	・構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
	17．発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・なし　・あり（　　） （2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・なし　・あり（　　） （3）引渡しを要するもの　※なし　・あり（　　） （4）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※　なし　・　あり（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート（　　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・木　　材（　　） ・アスファルトコンクリート（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・木くず等の管理型の産業廃棄物（　　）

章	項目	特記事項
一般共通事項	⑱ 総合調整	建設リサイクル法 ・対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・対象外工事 ※　本工事において下記の項目の総合調整を行い、報告書を提出する。　・　別途 総合調整の項目 ○ 風量調整　・水量調整　・室内外空気の温湿度測定 ・室内気流及びよどみの測定　・騒音の測定　・初期運転状態の記録 ○ 末端ネガ枚の水質測定　・Ｌ形冷化槽放流水質の測定 ○ 機器の絶縁抵抗の測定　○ 水圧調整 測定箇所は、監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。

設置場所	設計用標準水平震度（Ｋｓ）			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上階際、屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）	
中階際	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
一階及び地下階	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（２）本工事の施設は（・一般の施設　・特定の施設）とする。
（３）地域係数は１．０とする。
（４）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
（５）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平和直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。	
22．電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　１．１．１　電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ、ＥＭ－ＵＴＰ、ＥＭ－ＭＥＥＳ、ＥＭ－ＥＢＴ）	
23．溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・蒸気（水用）　・油　・ガス 検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）	
24．はつり	既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則として躯体カッターによる。	
㉕ 支持及び固定	（1）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （2）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。	
㉖ 支持金物・固定金具	（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 （3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。	
㉗ 埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。 ○ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲には山砂の類）　○ 山砂の類	
㉘ 地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 （1）給水管　○ 地中埋設標　○ 埋設用表示テープ （2）ガス管　○ 地中埋設標　○ 埋設用表示テープ （3）油　管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ （4）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ	
㉙ 保温	・主機械室は下記の室とし、他は各機械室とする。 主機械室： ・ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール） 屋内露出　倉庫・書庫　・アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・アルミガラスクロス　・ 主機械室　・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・カラー亜鉛鉄板　・ 屋内隠ぺい　ＰＳ内　○ アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所（　）　・ステンレス鋼板 ・配管の保温の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール　・ポリスチレンフォーム） 屋内露出　倉庫・書庫　・アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・アルミガラスクロス　・ 主機械室　・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・合成樹脂製カバー　・ 屋内隠ぺい　ＰＳ内　○ アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所（　）　・ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・アスファルトプライマー　・	
㉚ 塗装	（1）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外露出　※　居室 （2）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。	
㉛ 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）	
32．山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが１．５ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。	
33．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。	
㉞ 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。	
㉟ 予備品等	ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する（種別ごと最低１個）。	
㊱ 施工条件	別添の施工条件明示書による。	

1．設計温湿度	外気　温度（DB）　湿度（RH） 夏期　31．8　℃　％ 冬季　-2．4　℃　％	屋内（調整目標値） 一般系統　温度（DB）　湿度（RH） ２６℃　％ ２２℃　％ コンピューター室系統　温度（DB）　湿度（RH） ℃　％ ℃　％
2．ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。	
3．煙突	※　別途　・本工事（鋼板厚　㎜、高さ　ｍ以上）	
4．煙道	※　煙道径３００ｍｍ以下は鋼板厚３．２ｍｍ、３００ｍｍを超えるものは４．５ｍｍとする。　・　図示による。 （煙道径が４００ｍｍを超えるものには、排除口に螺番を取り付ける。）	
⑤ ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）	
6．長方形ダクトの工法	・アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）	
7．風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。	
8．チャンバ	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは両水の滞留のないように施工する。	
9．防煙ダンパ	（1）復帰方式　※　通隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下） （2）復帰動作　※　順送り	
⑩ 配管材料	（1）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （2）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （3）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （温水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （4）油管、油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※　ポリエチレン外面被覆鋼管 （5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管　※　配管用炭素鋼鋼管　・ （6）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・	
⑦ 冷媒管	※　断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・　銅管	

11．弁類	※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。	
12．膨管用伸縮管継手	※　ベローズ形　・　スリーブ形	
13．温度計	※　共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付ける。（配管用は丸形、ダクト用は円形） ・空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト ・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口	
14．瞬間流量計	※　着脱可能形（※　全数　・　図示による） 着脱可能形の場合、その指示部（・４０Ａ用　個　・１００Ａ用　個　・２５０Ａ用　個）を付属する。 ・固定形（止水コック付）　・測定用タッピング（３２ｍｍピトー管流量計用）	
15．オイルタンク	（1）オイルタンク本体は図示による。 （2）遠隔油用指示計　※　取付ける　・　取付けない （3）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。	
16．積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。	
17．注油口及び揮ﾎﾞｯｸｽ	標準図（機材　６　）による。 ・単独形　・共用形（・　ローリーアース付）	
18．消音内貼り	（1）施工箇所は図示による。 （2）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。 （3）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。	
⑲ 保温	（1）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む）、仕様は冷温水管の場合による。 （2）屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 （3）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※　要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・　不要 （4）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） ⑤ 冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装 屋内露出部　○ 保温化粧ケース（樹脂製）　・外装なし　・ 屋外　○ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ （6）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　㎜とする。	
20．電気工事の範囲	（1）地震感知器の配管配線　※　別途　・本工事 （2）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※　別途　・本工事	
21．塗装	（1）屋内露出様ダクトの塗装（原室を除く）は　※　行わない　・　行う （2）屋内露出冷却水配管の塗装（原室は除く）は　※　行わない　・　行う	

① 準拠事項	［　空気調和　・冷房　・暖房設備　］の当該事項に準ずる。 ○ ５　・　６　・　７　・　９　・　１８　・　２１	
2．開放形湿漉器排気ﾀｰﾄ	※　別途　・本工事	
3．厨房用排気ダクト	※　亜鉛鉄板　・ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）	
4．厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）	
5．厨房用排気フード	（1）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・取り付けない （2）フードコック　※　取り付ける　・取り付けない （3）材質（天幕とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）　・亜鉛鉄板	
⑥ 多湿箇所の排気ﾀｰﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５、４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。 （　）	

1．ダクト	・亜鉛鉄板製　・鋼板製（１．６ｍｍ以上）	
2．排煙口の形式	・可動羽根（スリット共）　・可動パネル	
3．排煙口解放装置	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作機能　・要　・不要）	
4．排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。	

1．中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。	
2．計装工事の配線	（1）屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 （2）天井内隠ぺいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。	

① 大便器洗浄弁	○ 洗浄タンク方式　・洗浄弁方式（不凍結節水弁付）	
② 便器洗浄用タンク	※　手洗なし　○ 手洗付	
③ 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（○ 小便器一体型　・小便器分離型）	
④ 器具付属水栓	固定こま式（節水こま式）とする。	
⑤ 自動水栓	※　電源供給方式（※　ＡＣ１００Ｖ）　・乾電池　・自己給電	
⑥ 温水洗浄便座加熱方式	・瞬間式　○ 貯湯式	
7．大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）	

① 量水器	（1）親メーター　※　措用　・　買取り　（隔測メーター　・　有　○ 無） （2）子メーター　※　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）	
② 量水器桝	（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５３） （2）子メーター用　※　標準図（機材５３）　・　水道事業者の指定品	
③ 配管材料	（1）一般用 ・ステンレス鋼管（拡管） ・塩ビライニング鋼管　（・ＶＡ　・ＶＢ） ○ ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ） ○ （2）土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む） ・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ○ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・架橋ポリエチレン管 （3）屋外土中用 ・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ） ・　〃　（ＨＩＶＰ） ○ ポリエチレン管 ・水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・	
4．不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・　合成樹脂製　）	
⑤ 弁類	（1）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・水道事業所の規定による　Ｋ （2）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。	
⑥ 給水栓	（1）屋内（※　一般水栓　・耐寒水栓）　（2）屋外（※　耐寒水栓　・一般水栓） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。	
⑦ 埋設深さ	（1）一般敷地内（　0．45　ｍ以上）　（2）敷地内車両道路（　0．6　ｍ以上） （3）公道部分（※　水道事業者及び道路管理者規定による　）	
⑧ 保温	（1）量水器桝内の保温を行う。 （2）屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし 厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ、呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。	
9．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない	
⑩ 水道加入金等	水道加入金　・要（・本工事　○ 別途）　・不要 ・その他（　）	
11．ステンレス管の接合方法	（1）呼び径６ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５Ｓ以上　・溶接接合　・ハウジング形管継手による接合　・フランジ接合	
12．その他	給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし、器具接続部分を除く。	

① 配管材料	（1）屋内汚水管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・排水用鉛管 ○ ビニル管（ＶＰ） ・耐火二層管（ＶＰ） （2）屋内雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・排水用塩ビライニング鋼管 ○ ビニル管（ＶＰ） ・耐火二層管（ＶＰ） （3）屋外土中汚水、雑排水管 ○ ビニル管（ＶＰ） ・ビニル管（ＶＵ） ・ビニル管（再生ＶＵ） ・ （4）土間配管用 ・排水用塩ビライニング鋼管 ○ ビニル管（ＶＰ） （5）通気管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ ビニル管（ＶＰ） ○ 耐火二層管（ＶＰ） （6）ポンプアップ排水管 ・ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、ビニル管でもよい。	

② 排水桝	○ 桝リストは図面番号（　Ｍ-02　） ①材料　・ＲＣ　・硬質塩化ビニル　○ ポリプロピレン　・ＳＣ ②ふた　・鋳鉄製（・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・ＴＢＡ　） ○ 樹脂製 ※　流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付	
③ 規格	○ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ○ 市町村別基準（○ 有　・ 無　）	
3．グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。	
4．消火試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。	
⑤ 試験	○ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。	
⑥ 放流負担金等	○ 不要　・要（・別途工事　・本工事）	
7．基礎材	※　再生クラッシャーラン	

① 配管材料	○ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・耐熱性ライニング鋼管　・銅管　・被覆銅管 ・保温付被覆銅管　＜屋外設置及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞ ・水道用架橋ポリエチレン管（ＰＥ）※　さや管・ヘッダー工法	
② 弁類	給水設備の当該事項による。	
3．湯沸器の排気筒	厚さ０．５ｍｍ以上のステンレス鋼板とする。	
4．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんべい断保温を行う。（ｈ・(ｲ)・Ｘ）	
⑤ ステンレス管の接合方法	③ 呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５Ｓ以上　・溶接接合　・ハウジング形管継手による接合　・フランジ接合	

1．配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部 ・配管用炭素鋼鋼管（白）　・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）　・〃（ＳＧＰ－ＰＳ） ・〃（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・〃（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （3）二酸化炭素用 ・圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）	
2．屋内消火栓種別	・易操作性１号消火栓　・２号消火栓	
3．消火栓開閉弁	・ＪＩＳ１０Ｋ　・ＪＩＳ２０Ｋ	
4．保温	（1）屋外露出管については給水管に準ずる。 （2）充水タンクの保温　・施工しない　・施工する （3）消火配管の保温　屋内消火栓　・施工しない　・施工する スプリンクラー　・施工しない　・施工する	
⑤ 消火器類	（1）消火器　種別　・数量　（ＡＢＣ１０型　Ａ機９本　Ｂ機６本　Ｃ機６本　Ｄ機４本） （2）消火器収納箱　仕様　・材質・数量（樹脂製スタンド表示板付　Ａ機９本　Ｂ機６本　Ｃ機６本　Ｄ機４本）	

1．厨房機器類	（1）図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は参考とする。 （2）厨房機器据付要領は、標準図施工７３による。	

① 配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部 ※　配管用炭素鋼鋼管（白）　ポリエチレン被覆鋼管 ・ガス事業者の規定による　・ガス事業者の規定による ・ガス用フレキシブル管（SUS）　・ガス用ポリエチレン管 ・　・	
2．都市ガス	（1）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 （2）引込み負担金　・不要　・要（・別途工事　・本工事）	
③ 液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※　借用　・買い取り　（・１０ｋｇ・２０ｋｇ・５０ｋｇ　本）○ バルク （2）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （3）集合装置　○ 標準図（施工７１）による（　本組） （4）転倒防止等　○ 標準図（施工７２）（・(ａ)　・(ｂ)）　・ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。	
④ ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（・分離形　・一体形）　○ 別途電気工事 外部出力端子　（・あり　・なし）	
⑤ 埋設深さ	（1）一般敷地内（　0．45　ｍ以上）　（2）敷地内車両道路（　0．75　ｍ以上） （3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）	
⑥ その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　）	

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	宮城工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版） （作成は、主たる請負業者が、他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	1部	7 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は、履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	1部
			②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	1部
2 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版 （４機器完成図、５取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが、厚さ８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	1部	③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	1部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	1部	8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り） １部は設備課保管	2部	9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
④原図	三つ折りケース収納	1部			
⑤完成図書電子データ	ＪＷＷ又はＤＸＦ形式のＣＡＤデータもしくはＴＩＦＦ形式（解像度２００ＤＰＩ程度）	ＣＤ　1枚	10 工事に関する承諾確認書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1式
3 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は、完成図の二つ折り製本と合本可）	1部	①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物マニフェスト		
②原図	三つ折りケース収納	1部			
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２完成図と合本可）	1部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２完成図と合本可）	1部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書		1部
6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部	②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試

機　器　表

※・型番は参考型番とする。

記　号	名　　称	仕　　様	動力 φ	動力 V	動力 W	台　数	設 置 場 所	備　　考
WHG-1	ガス給湯器	型式　　屋外壁掛型　２０号　給湯専用形（凍結防止機能付）	1	100	125	1	外部	
		能力　　ガス消費量　４１．６ｋW						
		付属品　　リモコン、リモコンケーブル、据付架台カバー他付属品一式						
	ＬＰＧ設備	５０ｋｇボンベ×２　ガスメーター他付属品一式						納入業者設置（別途）
	消火器	ＡＢＣ１０型　樹脂製ｽﾀﾝﾄﾞ（表示板付）				3		

衛 生 器 具 表

器 具 名 称	仕様及び付属品 参考型番　TOTO	合計	1階 多目的便所	1階 女子便所	1階 男子便所	1階 調理室	屋外	備　　考
洋風大便器　便器･ﾀﾝｸ	CS20BA,SH30BA	1	1					
洗浄便座	TCF6331EV81	1	1					1φ100V　410W
紙巻器	YH702	1	1					
可動手摺	建築工事	1	1					
洋風大便器　便器･ﾀﾝｸ	CS670BA,SH670BA	3		2	1			
洗浄便座	TCF6321E	3		2	1			1φ100V　410W
紙巻器	YH702	3		2	1			
L型手摺	建築工事	4	1	2	1			
小便器	UFS800CE（自動洗浄）	2			2			
小便器用手摺	建築工事	1			1			
バリアフリー洗面器	L103A,TL105AGQ（ﾚﾊﾞｰ式水栓）	1	1					
洗面器	L830CRU,TLNW31BF（ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ水栓）	4		2	2			
同上カウンター	建築工事	2		1	1			
鏡	YM3580AC（350W×800H）	5	1	2	2			
ベビーベット	建築工事	1	1					
流し台	建築工事（排水トラップ共）	1				1		
同上用混合水栓	建築工事	2				2		
掃除用流し	SK22A,TK22,TKAE20	1			1			
不凍給水栓	D-EN2E-1313040CP,HAS-FB2（SUSBOX）（参考型番:竹村製作所）	2					2	（開閉防止型）
不凍水抜栓	MT-2-25050（ﾎﾞｯｸｽ共）（参考型番:竹村製作所）	1					1	

桝 リ ス ト

記号	名　称	数量	寸　法	計画地盤高 KBM±0	計画管底高 ±0の地盤より	桝深さ （管底深さ）	泥溜り	蓋寸法	蓋の種類	備　　考
				±0 桝天端						
S-ｲ	汚水桝	1	100-150φ　90L	0	３００	３００	0	150φ	塩ビ蓋	段差付
S-ﾛ	汚水桝	1	100-150φ　90Y	0	３５８	３５８	0	150φ	塩ビ蓋	段差付
S-ﾊ	汚水桝	1	100-150φ　90L	0	３９４	３９４	0	150φ	塩ビ蓋	
S-69	汚水桝	1								別途災害公営住宅工事にて設置
R-ｲ	雨水桝	5	３００×３００	0	３００	３００	１５０	300□	格子蓋	５００Ｋ
B-10	雨水集水桝	1		0	３００	３００	１５０			建築工事
R-ﾛ	雨水桝	1	ＲＡ－１	0	３９２	３９２	１５０	400φ	ＭＨＢ	
B-12	雨水桝	1	１２００×１２００			１０００	１５０	600φ		別途災害公営住宅工事にて設置
B-11	雨水桝	1								別途災害公営住宅工事にて設置

※・七ヶ浜町下水道条例により施行する。

備　考

Spirit Of Place

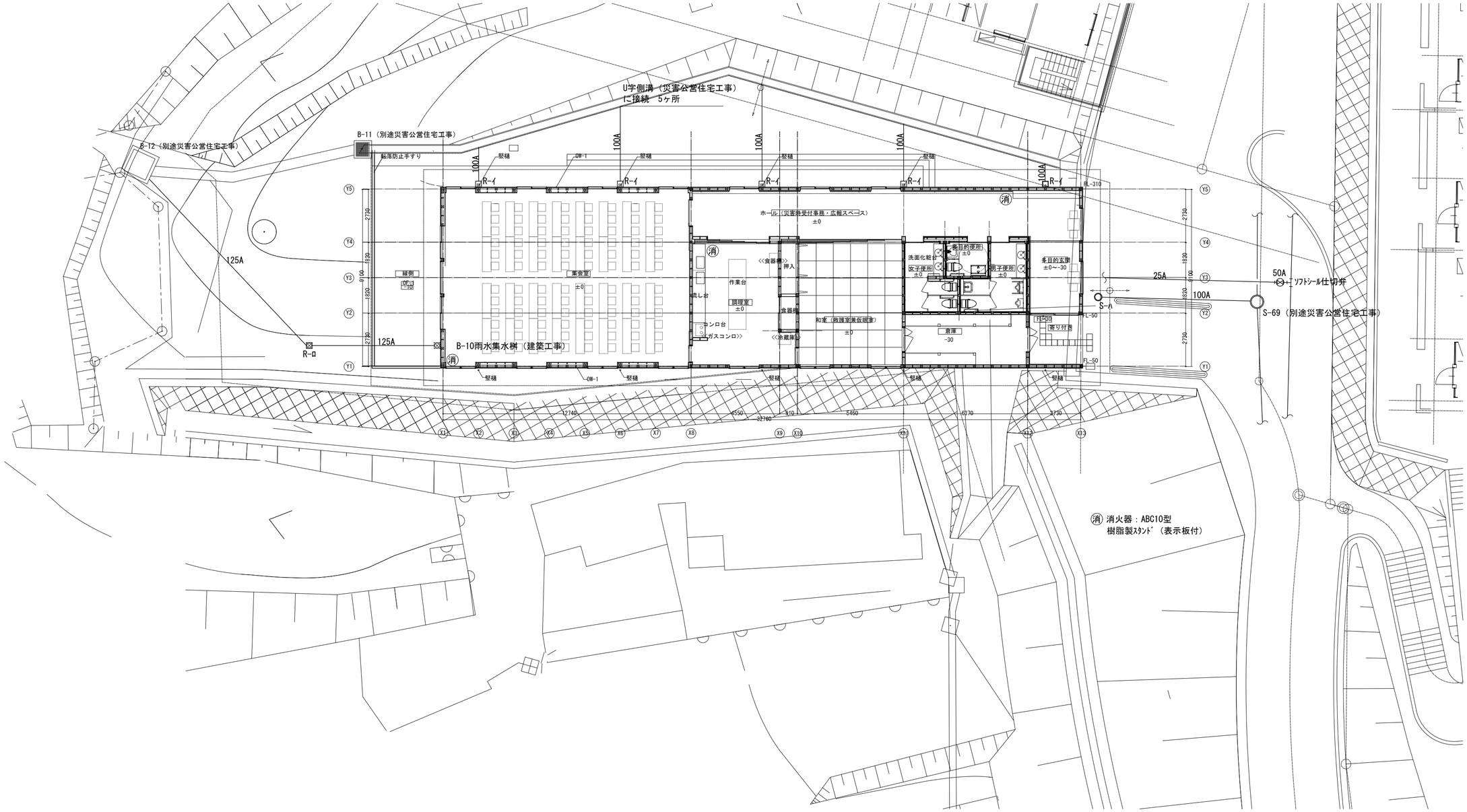
関・空間設計

宮城県知事登録 第 11X10168 号

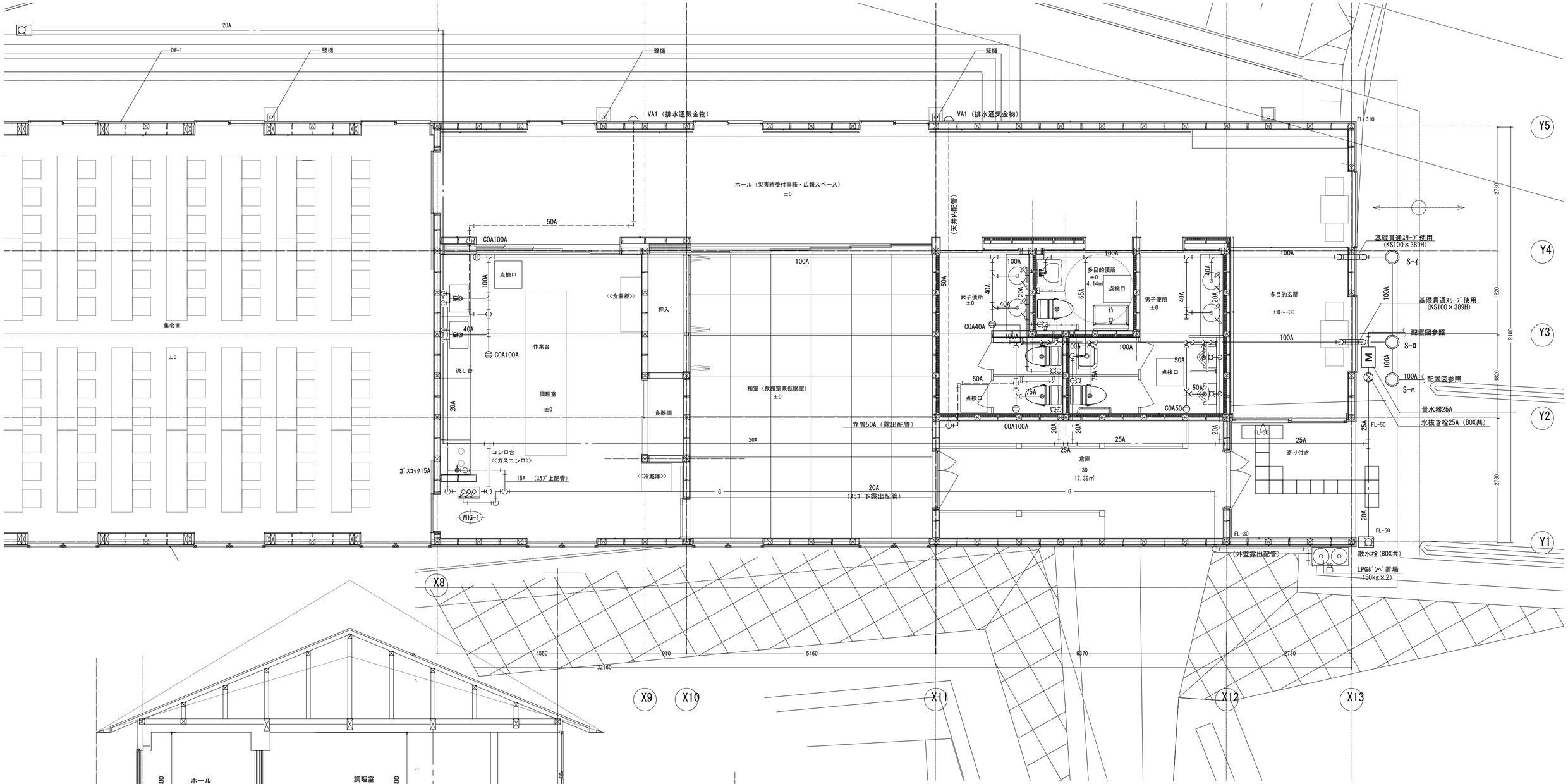
管理建築士 一級建築士　渡辺　宏 登録第 152538号

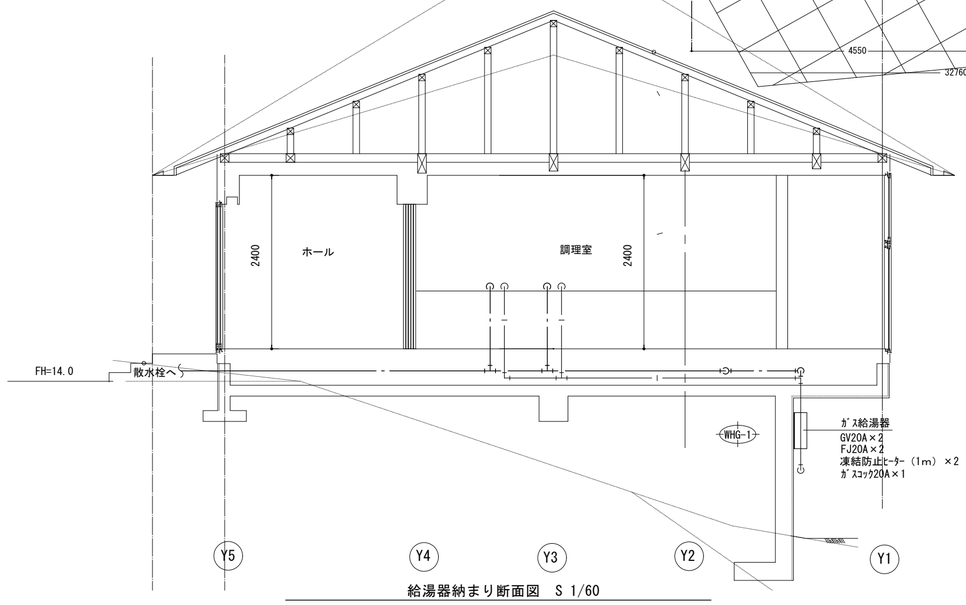
承　認	調　査	設　計	設計年月	全　葉
渡辺	木皿	小澤	H25.9	

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No	Ｍ－０２
図面名称	給排水設備　機器・器具表	Scale	1/－　1/－



備　考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承　認 渡辺	調　査 木皿	設　計 小澤	設計年月 H25.9	全　葉	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事	No M－０３
									図面名称 給排水設備　配置平面図	Scale 1/100 1/-





給湯器納まり断面図　S 1/60

既存隣家

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 小澤	設計年月 H25.9	全葉	工事名 平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事 / 図面名称 給排水設備　詳細図	No M－０４ / Scale 1/50 1/－

機　器　表

機器番号	機器名称	設置場所	台数	仕　様	電動機 電相	電動機 電圧(V)	電動機 電力	参考型番（同等品以上とする）
ＰＡＣ－１	冷暖房機	和室	２	ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ(2方向天井ｶｾｯﾄ形)　1対1　（塩害対策仕様）　COMP	1	200	0.95kW	室外機:RAS-AP56SHJ1
				冷房能力：5.0kw(2.2kw～5.6kw)　FAN(外)			35W	室外機重量　41kg
				暖房能力：5.6Kw(2.2kw～7.1kw)　FAN(内)			40W	室内機:RCID-AP56K2
				付属品　ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ,化粧ﾊﾟﾈﾙ他標準付属品一式　二次側配線工事共				室内機重量　33.0kg
				屋外機壁用架台　SUS製防振ｺﾞﾑ付				最大電流　12.6A
ＦＥ－１	換　気　扇	集会室	３	ストレートシロッコファン天吊埋込形	1	100	125W	三菱:BFS-80SC（本体重量 14.0kg）
				200φ×600m3/H×160Pa				
				付属品：防振吊金具,他付属品他一式				PS-5BK
ＦＥ－２	換　気　扇	集会室･ﾎｰﾙ	１	ストレートシロッコファン天吊埋込形	1	100	86W	三菱:BFS-60SL（本体重量 15.0kg）
		･多目的玄関		200φ×300m3/H×80Pa　24時間運転:200m3/H×20pa				
				付属品：24時間換気SW、防振吊金具　他付属品他一式				PS-04SWL2、PS-5BK
ＦＥ－３	換　気　扇	和室	１	天井埋込低騒音形	1	100	74W	三菱:VD-23ZLX9-CS（本体重量 8.2kg）
	(24時間対応)			150φ×360m3/H×150Pa　24時間運転:30m3/H×10pa				
				付属品：24時間換気SW、天吊金具　他付属品他一式				P-04SWL2、P-08TK
ＦＥ－４	換　気　扇	調理室	１	ブース形レンジフードファン	1	100	79W	三菱:V-754KD7（本体重量 19.5kg）
	(24時間対応)			150φ×260m3/H×120Pa　24時間運転:30m3/H×10pa				
				付属品：24時間換気SW、ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝSW　他付属品他一式				
ＦＥ－５	換　気　扇	女子便所,男子便所	２	天井埋込低騒音形	1	100	44W	三菱:VD-20ZC9（本体重量 4.2kg）
				150φ×250m3/H×90Pa				
				付属品：天吊金具、他付属品他一式				P-02TK
ＦＥ－６	換　気　扇	多目的便所	１	天井埋込低騒音形	1	100	14W	三菱:VD-15ZC9（本体重量 2.7kg）
				100φ×100m3/H×60Pa				
				付属品：天吊金具、他付属品他一式				P-02TK
ＦＥ－７	換　気　扇	倉庫	１	パイプ用ファン	1	100	8.5W	三菱:V-20PKS（本体重量 1.45kg）
				200φ×210m3/H×7Pa				
				付属品：他付属品他一式				

機器番号	機器名称	設置場所	台数	記号	電動機 電相	電動機 電圧(V)	電動機 電力	参考型番（同等品以上とする）
ＯＡ－１	給気ユニット	集会室,調理室	１１	自然給気グリル				三菱:P-23GHF4
		和室,玄関		接続口径　：φ200				
				付属品　:ﾌｨﾙﾀｰ他付属品一式				三菱:P-23GNET
ＥＡ－１	排気ユニット	集会室	４	インテリアグリル				
				接続口径　：φ200				三菱:P-23GX2-C
VC1-200φ	丸形防風板付ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ		１１	接続口径　：φ200　SUS製　（網付）　（給気用）				ﾒﾙｺｴｱﾃｯｸ:AT-20OTUNSJ
VC2-200φ	薄形ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ		５	接続口径　：φ200　SUS製　（縦ｷﾞｬﾗﾘ付）　（排気用）				AT-200UGST4
VC-150φ	薄形ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ		４	接続口径　：φ150　SUS製　（縦ｷﾞｬﾗﾘ付）				AT-150UGST4
VC-100φ	薄形ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ		１	接続口径　：φ100　SUS製　（縦ｷﾞｬﾗﾘ付）				AT-100UGST4

換　気　量　の　算　定

階	室　名	床面積 m2	天井高 m	気　積 m3	換気回数による算定 換気回数 回/h	換気回数による算定 換気風量 m3/h	在室人員による算定 人員密度 人/m2	在室人員による算定 人員 人	在室人員による算定 単位量 m3/h･人	在室人員による算定 換気風量 m3/h	法定換気量による算定 基準値 m3/h	法定換気量による算定 Ａｆ m2	法定換気量による算定 Ｎ値 m2/人	法定換気量による算定 20Af/N m3/h	必要風量 m3/h	設計風量 常時風量 m3/h	設計風量 24時間換気風量 m3/h	機器仕様 機器記号	機器仕様 設置台数	２４時間換気による必要換気量の算定 常時風量 m3/h	２４時間換気による必要換気量の算定 24時間風量 m3/h	２４時間換気による必要換気量の算定 対象範囲 対象(○) 対象外(－)	２４時間換気による必要換気量の算定 必要換気量 m3/h	２４時間換気による必要換気量の算定 判　定 [0.3以上]	備　考
1	集会室	115.93	平均4.01	464.879			0.9	105	20.0	2,100.0	20.0	115.93	1.11	2,088.8	2,088.8	2,100.0	200.0	FE-1	3	600.0					
	ホール	54.65	2.7	131.16																					
	多目的玄関	9.93	2.3	41.736																					
	計			619.871														FE-2	1	300.0	200.0	○	185.96	0.322　OK	
																				計2,100.0					
	調理室	30.63	2.7	73.512			0.2	7	20.0	140.0	20.0	30.63	5.0	122.52	122.52	260.0	30.0	FE-4	1	260.0	30.0	○	38.01	0.408　OK	調理室機器類の換気　別途算定
	和室	34.78	2.7	83.472			0.5	18	20.0	360.0	20.0	34.78	2.0	347.8	347.8	360.0	30.0	FE-3	1	360.0	30.0	○	38.01	0.359　OK	
	女子便所	9.03	2.3	21.672	10.0	216.72									216.72	250.0		FE-5	1	250.0		－			
	男子便所	10.01	2.3	24.024	10.0	240.24									240.24	250.0		FE-5	1	250.0		－			
	多目的便所	4.14	2.7	9.936	10.0	99.36									99.36	100.0		FE-6	1	100.0		－			

火気使用室換気量の算定（1）

系統名	設置場所	換気種別	器具名	燃料種別	理論排ｶﾞｽ量 K [m3/kW･h]	燃料消費量 Q [kW]	排気装置別定数	有効換気量 [m3/h]	換気回数による換気量 [m3/h]	系統別風量 [m3/h]
FE-4	調理室	３	ガステーブル	LPG	0.93	9.0	30	254.0		260.0

火気使用室換気量の算定（2）

系統名	設置場所	換気種別	器具名	燃料種別	電気式厨房器具の換気係数 α [m3/kW･h]	電気式厨房器具の電気容量 α [kW]	有効換気量 [m3/h]	換気回数による換気量 [m3/h]	系統別風量 [m3/h]

火気使用室換気量の算定（2）

系統名	設置場所	換気種別	器具名	燃料種別	フードの面風速 V [m/s]	フードの面積 A [m²]	有効換気量 [m3/h]	換気回数による換気量 [m3/h]	系統別風量 [m3/h]

〔排気装置別定数〕
1. 外壁の開口部に直接換気扇を設ける場合　…40
2. 煙突に換気扇を設ける場合　…2
3. 排気フードを有する排気筒に換気扇を設ける場合
   ｲ). 建告1403号第3第4号(ｲ)のﾌｰﾄﾞ
   (排気ﾌｰﾄﾞ) Ⅰ型)　…30
   ﾛ). 建告1403号第3第4号(ﾛ)のﾌｰﾄﾞ
   (排気ﾌｰﾄﾞ) Ⅱ型)　…20

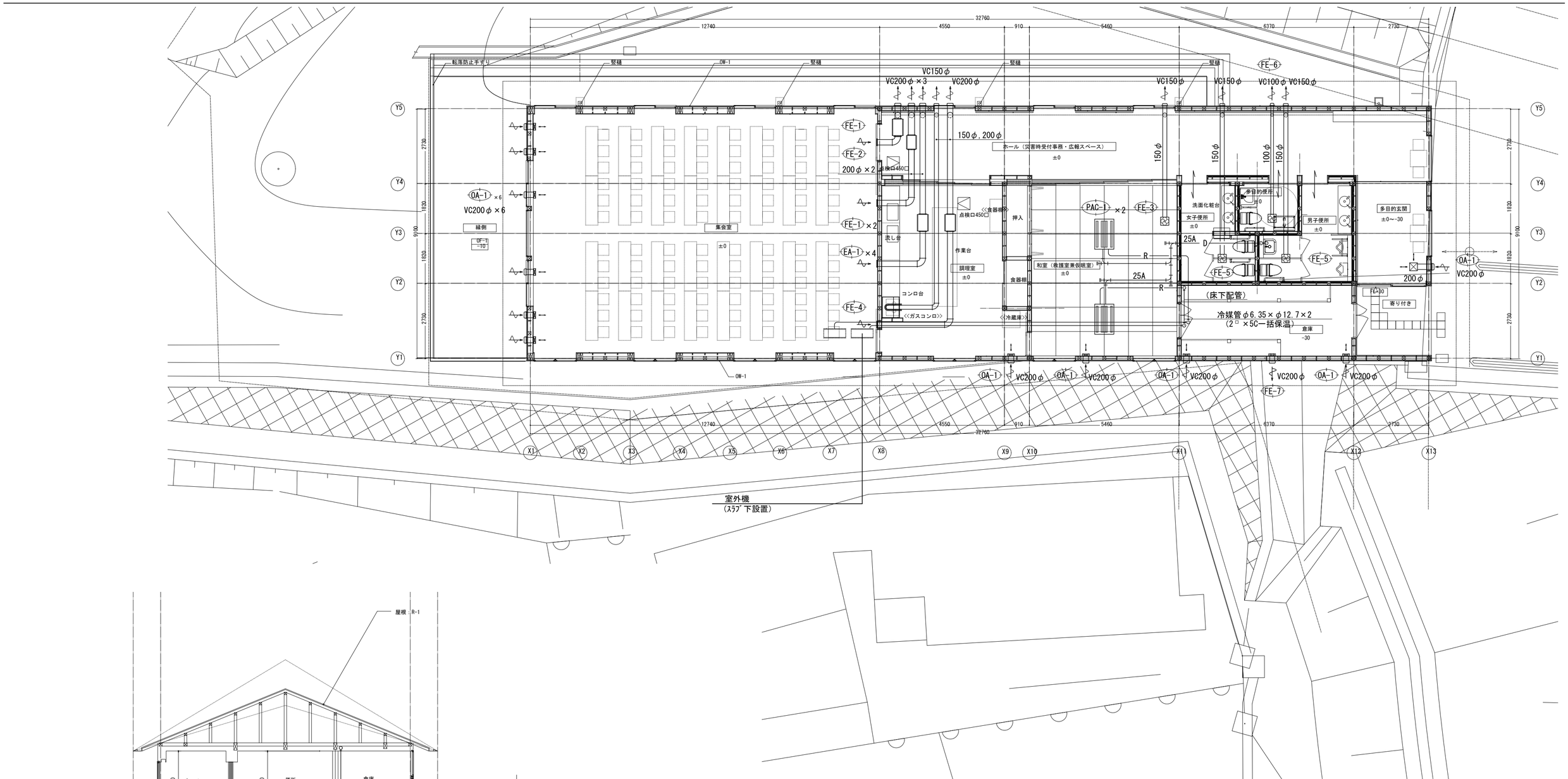
備　考

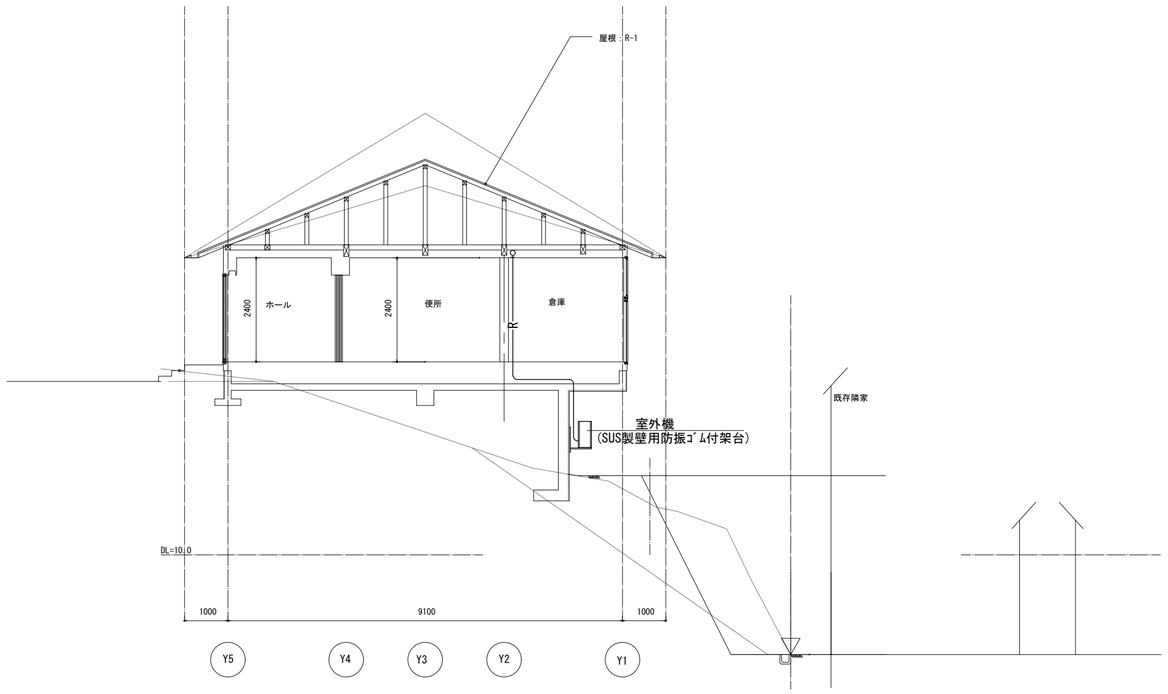
Spirit Of Place　関・空間設計　宮城県知事登録 第 11X10168 号

管理建築士 一級建築士　渡辺　宏 登録第 152538号

承認	調査	設計	設計年月	全業
渡辺	木皿	小澤	H25.9	

工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
図面名称	冷暖房・換気設備　機器表
No	Ｍ－０５
Scale	1/－　1/－





室外機納まり断面図　S 1/100

200φ
OA-1 ：給気口

※ 給気口の設置高さ　H=1,800×4、3,800H×2（芯寸法）

：引戸

※ ・排気ダクトは、外壁から2mまでグラスウール@25mmにて防露施工する。
給気ダクトは全て防露施工する。
・レンジフードよりの排気ダクトは、ロックウール@50mmを被覆する。

備考	Spirit Of Place 関・空間設計	宮城県知事登録 第 11X10168 号	管理建築士 一級建築士 渡辺 宏 登録第 152538号	承認 渡辺	調査 木皿	設計 小澤	設計年月 H25.9	全業	工事名	平成２６年度花渕浜地区避難所建築及び環境整備工事
									図面名称	冷暖房・換気設備　平面図

No M－０６

Scale 1/100